ハンドボール
競技規則
問題集

2026年【改訂版】

Catalogue of Rules Questions

（公財）日本ハンドボール協会
競技・審判本部

Japan Handball Association
Playing Rules and Referees Commission

目　次

第１条　コート 1

第２条　競技時間、終了合図、タイムアウト 3

第３条　ボール 32

第４条　チーム、交代、服装、プレーヤーの負傷 34

第５条　ゴールキーパー 65

第６条　ゴールエリア 71

第７条　ボールの扱い方、パッシブプレー 81

第８条　違反、スポーツマンシップに反する行為 98

第９条　得点 138

第１０条　スローオフ 142

第１１条　スローイン 151

第１２条　ゴールキーパースロー 153

第１３条　フリースロー 158

第１４条　７ｍ スロー 165

第１５条　スローの実施に関する一般的な指示
（スローオフ、スローイン、ゴールキーパースロー、
フリースロー、７ｍ スロー） 176

第１６条　罰則 187

第１７条　レフェリー 200

第１８条　タイムキーパー、スコアキーパー 204

交代地域規定 208

解答および関連条文 209

＜本書の活用方法について＞

１）　問題番号の前に ★ 印がついた朱書き（太字）の問題文は、2026 年 2 月の発行の際に、追加等のあった問題です（解答のみ変更の場合あり）。

２）　★★ 印がついた緑色（太字）の箇所が、今回、修正された箇所です。

★★ ３）　本問題集内で使用されている用語のうち、以下の用語とその意味もご確認ください。

TO ：「テクニカルオフィシャル」の略称となります

タイムキーパー ：「開催地タイムキーパー」のことを示します

スコアキーパー ：「開催地スコアキーパー」のことを示します

第 1 条　コート

1-1　競技規則でコートの広さはどのように規定されているか。

(a) 40 × 20 m

(b) 42 × 20 m

(c) 38 × 18 m

(d) 長さ 38 ～ 42 m、幅 18 ～ 22 m

1-2　ゴールの内のりの正しい寸法はどれか。

(a) 1.92 × 2.92 m

(b) 2.00 × 3.00 m

(c) 2.05 × 3.05 m

(d) 2.08 × 3.08 m

1-3　ゴールポスト間のゴールラインの幅は、どれが正しいか。

(a) 5 cm

(b) 6 cm

(c) 8 cm

(d) 10 cm

Ⅰ−4　　スローオフエリアについて、正しい記述はどれか。

(a) スローオフエリアは、直径 3 m の円からなる。

(b) スローオフエリアは、直径 4 m の円からなる。

(c) スローオフエリアを設置する際には、プレーイングエリアの床と異なる色のスローオフエリアを設置することができる。

(d) スローオフエリアは、円形の線で描くことができる。

(e) スローオフエリアの設置は、全てのハンドボールの大会で、必須である。

第 2 条　競技時間、終了合図、タイムアウト

2-1　白チームのゴールキーパー 1 番が止めたボールは、自動終了の合図の直前に、アウターゴールラインからそのまま外に出た。レフェリーは、競技が 5 分早く終了したことに気付いた。プレーヤーがコート上に残っている場合、どのようにして競技を再開するか。

(a) 白チームのゴールキースロー

(b) 白チームのフリースロー

(c) 笛の合図なしに

(d) 笛の合図の後に

2-2　前半の自動終了合図があった。すぐにレフェリーは、前半が 1 分早く終了したことに気付いた。

(a) 後半を 1 分間延長する

(b) この 1 分間を無効とし、補わない

(c) 休憩時間の終了後に、前半と同じサイドで 1 分間競技を行い、それからサイドを交代して通常どおり後半を開始する

(d) プレーヤーをコートにとどまらせ、残りの 1 分間競技をさせる

2-3　白チームの 11 番がシュートし、黒チームのゴールキーパー 1 番がボールをキャッチした。ちょうどそのときに自動終了合図があったが、レフェリーは後半がまだ 30 秒残っていることをタイムキーパーに指摘した。すべてのプレーヤーはコートに残っている。どのようにして競技を再開するか。

(a) 黒チームのフリースロー

(b) 黒チームのゴールキーパースロー

(c) 白チームのフリースロー

(d) 笛の合図の後に

(e) 笛の合図なしに

2-4　競技の終了合図の後、白チームがフリースローを行おうとしている。まず白チームの 3 番が、次に白チームの 4 番がコートから出て交代地域へ戻った。それから白チームの 5 番が、次いで白チームの 6 番がコートに入場した。以下のうち、正しいものはどれか。

(a) タイムキーパーは笛を吹いて、白チームに不正交代があったことを告げる

(b) 白チームの 4 番を、不正交代により 2 分間退場とする

(c) 白チームの 6 番を、不正交代により 2 分間退場とする

(d) 違反はないので、タイムキーパーは笛を吹かない

(e) 白チームのフリースロー

(f) 相手チームのフリースロー

2-5　競技の終了直前に、黒チームがフリースローにより直接ゴールを狙った。ボールがゴールに入る寸前に自動終了の合図があった。

(a) 競技の終了

(b) 黒チームのフリースローを、笛の合図なしに再度実施

(c) 黒チームのフリースローを、笛の合図の後に再度実施

(d) 黒チームの 7 m スロー

2-6　競技の終了直前に、黒チームの 2 番が白チームのゴールエリアライン付近でボールをキャッチして、明らかな得点チャンスを得た状態でシュートを打とうとしたが、違反により妨害された。黒チームの 2 番がボールを手から離す前に、自動終了の合図があった。

(a) 競技の終了

(b) 黒チームのフリースロー

(c) 黒チームの 7 m スロー

(d) 競技の終了とし、記録用紙にその旨を記載

2-7　前半の終了直前に、白チームの 9 番が 7 m スローを行った。白チーム 9 番が投げたボールはクロスバーに当たり、ゴールの手前およそ 3 m のところに立っているゴールキーパーの背中に当たった。その後、黒チームのゴールの中へ入った。ボールがクロスバーからゴールキーパーの背中へと向かう途中に、自動終了の合図があった。

(a) 得点

(b) 7 m スローを再度実施

(c) 休憩時間（判定しない）

2-8　競技時間の終了後に、7 m スローを行うことになった。レフェリーは、7 m スローの直接の結果を待った。どちらのレフェリーが競技を終了させるか。

(a) 第 1 レフェリー

(b) どちらかのレフェリー

(c) コートレフェリー

(d) ゴールレフェリー

2-9　いつ競技の開始となるか。

(a) 第 1 レフェリーが笛を吹いたとき

(b) スローオフを行うプレーヤーがボールを手から離したとき

(c) タイムキーパーがストップウォッチまたは公示時計を始動させたとき

(d) コートレフェリーがスローオフ実施のための笛を吹いたとき

2-10　7 m スローコンテストを行う場合、使用するゴールを決定するのは誰か。

(a) コイントスに勝ったチーム

(b) コイントスに負けたチーム

(c) 両レフェリー

(d) 第 1 レフェリー

2-11　競技の終了合図の後、黒チームがフリースローを行おうとしていた。スローの実施前に、白チームの 8 番と白チームの 9 番が同時にコートから出て交代地域へ戻った。代わりに白チームの 10 番が、その直後に白チームの 11 番がコートに入場した。

(a) タイムキーパーは、笛を吹いて白チームに不正交代があったことを告げる

(b) 白チームの 10 番を、不正交代により 2 分間退場とする

(c) 白チームの 11 番を、不正交代により 2 分間退場とする

(d) 違反はないので、タイムキーパーは笛を吹かない

(e) 白チームの 11 番は交代地域に戻らなければならない。白チームの 8 番または白チームの 9 番のどちらかは、コートに戻ることができる

2-12　前半の終了直前に白チームの 7 番は、黒チームの 5 番への暴力行為により明らかな得点チャンスを妨害した。レフェリーが笛を吹く前に、自動終了の合図があった。

(a) 前半の終了とし、白チームの 7 番に罰則は適用しない

(b) 前半の終了とし、7 m スローやフリースローを行わない

(c) レフェリーは、白チームの 7 番にレッドカードとブルーカードを示し、報告書を伴う失格とする

(d) 黒チームの 7 m スローとする

(e) レフェリーは、白チームの 7 番にレッドカードを示し、失格とする

2-１３　得点を認めた後、レフェリーがその得点を取り消すことができるのは、どの時点までか。

(a) スローオフの笛まで

(b) 競技の終了合図まで

(c) タイムキーパーが競技を中断した後の得点は、たとえ次のスローオフの笛を吹いていたとしても取り消さなければならない

(d) 得点の取り消しは不可能

2-１４　レフェリーが白チームへのスローインを判定した。このとき、白チームのチーム責任者がチームタイムアウトを請求した。

(a) 競技は中断中であり、チームタイムアウトは認められない

(b) タイムキーパーは笛を吹いて時計を止め、ジェスチャー 15 を示す

(c) レフェリーは、白チームのチームタイムアウトを認める

(d) スコアキーパーは、記録用紙にチームタイムアウトを記入する

2-１５　タイムアウトを必ず取らなければならない状況はどれか。

(a) 7 m スロー

(b) 2 分間退場

(c) 外的な要因

(d) 失格

2-16　白チームの 9 番がシュートしたボールを、黒チームのゴールキーパー 12 番がキャッチした。ちょうどそのときに自動終了合図があったが、レフェリーは後半がまだ 30 秒残っていることをタイムキーパーに指摘した。すべてのプレーヤーはコート内に残っている。どのような方法で競技を再開するか。

(a) 黒チームのフリースロー

(b) 黒チームのゴールキーパースロー

(c) 白チームのフリースロー

(d) 笛の合図の後に

2-17　後半が終了し 20 対 20 の同点であった。勝敗を決定しなければならない場合、どのような方法で競技を続けるか。

(a) 1 分間の休憩時間の後に、延長戦を開始

(b) 5 分間の休憩時間の後に、延長戦を開始

(c) 延長戦、前後半の間の休憩時間は 1 分間

(d) 延長戦、前後半の間の休憩時間は 5 分間

2-18　タイムアウトを必ず取らなければならない状況はどれか。

(a) 2 分間退場

(b) フリースロー

(c) パッシブプレー

(d) 不正交代

(e) 警告

(f) スローイン

2-１９　延長戦を終えても同点の場合、７ ｍ スローコンテストに参加できないのは誰か。

(a) 延長戦の終了直後にレフェリーを侮辱したプレーヤー

(b) ゴールキーパー

(c) 延長戦の終了時点で、2 分間の退場時間が満了していないプレーヤー

(d) 失格となったプレーヤー

(e) コート上で治療行為を受けた後、まだ自チームの攻撃回数が 3 回に達していないプレーヤー

2-２０　白チームのゴールキーパー 12 番は、競技終了の 5 秒前にシュートを止めた。その後ボールは、ゴールエリア上空の天井に当たった。黒チームがスローインを行う直前に、自動終了合図があった。

(a) 笛の合図の後に、黒チームのスローイン

(b) タイムアウト

(c) 競技の終了

(d) スローインの結果が確定してから競技の終了

2-２１　黒チームの 8 番はすでに警告となっていた。チームタイムアウト中に黒チームの 8 番は、ベンチに座りながらスポーツマンシップに反する態度でレフェリーに話しかけた。

(a) レッドカードを示し、黒チームの 8 番を失格とする

(b) 黒チームの 8 番を、2 分間退場とする

(c) 黒チームの 8 番を、警告とする

(d) 罰則の適用は不可能

(e) チームタイムアウト終了後、競技の再開から 2 分間、黒チームはコート上のプレーヤーを、1 名減らす

2-２２　７ｍ スローコンテストの参加資格について、正しい記述はどれか。

(a) 記録用紙に記載のある、すべてのプレーヤーが参加できる

(b) 失格となったプレーヤーは参加できない

(c) 延長戦が終了したとき、2 分間退場中のプレーヤーは参加できない

(d) レフェリーの許可を得たプレーヤーが参加できる

2-２３　自動終了合図の後にフリースロー（最後の一投）を行うべき状況になった。黒チームの 9 番は正しい位置につき、白チームのゴールへシュートを打とうとしている。黒チームの 9 番がボールを手から離した瞬間に、タイムキーパーが笛を吹いた。この笛によってゴールキーパーはプレーを止めたため、ボールはゴールの中に入った。タイムキーパーは「今、コート上で防御を行っている白チームの 7 番は、フリースローの実施直前に白チームの 6 番と交代してコートに入場した」と説明した。

(a) 白チームの 7 番を、2 分間退場とする

(b) レッドカードを示し、白チームの 7 番を失格とする

(c) 黒チームの得点

(d) 黒チームの 7ｍ スロー

(e) 笛の合図の後に、黒チームはフリースローを再度実施

2-２４　延長戦の終了後も同点であったため、大会規定により 7ｍ スローコンテストを行うことになった。白チームの 7 番は、第 2 延長の後半 4 分 00 秒に 2 分間退場となった。白チームのチーム責任者は、7 番を 7ｍ スローコンテストに参加するよう指名した。

(a) 白チームの 7 番の参加は、認められる

(b) 白チームの 7 番の参加は、認められない

2-２５　タイムアウトを必ず取らなければならないのはいつか。

(a) チーム役員が 2 分間退場となったとき

(b) プレーヤーが 3 回目の 2 分間退場となったとき

(c) プレーヤーがスポーツマンシップに反する行為を繰り返した後

(d) 両レフェリーでの協議が必要になったとき

(e) 著しくスポーツマンシップに反する行為をした後

(f) チーム役員を警告とした後

2-２６　前半の終了直前に白チームの 7 番は、黒チームの 5 番への暴力行為により明らかな得点チャンスを妨害した。レフェリーが笛を吹く前に、自動終了の合図があった。

(a) 前半を終了とする（罰則は不要）

(b) レッドカードを示し、白チーム 7 番を失格とする（報告書は不要）

(c) 黒チームの 7 m スロー

(d) 黒チームのフリースロー

(e) レッドカードとブルーカードを示し、白チーム 7 番を報告書を伴う失格とする

(f) 後半開始から 2 分間、白チームはコート上のプレーヤーを、1 名減らす

2−２７　前半の競技終了の合図の後にフリースローを行う場合、どのプレーヤーが交代できるか。

(a) 両チームのすべてのプレーヤー

(b) 防御側チームのプレーヤーのみ

(c) 攻撃側チームのプレーヤーのみ

(d) **攻撃側チームの** １ 名のプレーヤーだけ

(e) 終了の合図のとき、防御側チームのゴールキーパーが不在の場合、１ 名のコートプレーヤーとゴールキーパーが交代できる

2−２８　競技終了の合図の後にフリースローを行う場合、それぞれのプレーヤーは、どの位置にいなければならないか。

(a) スローを行うプレーヤーの味方のプレーヤーは、相手チームのフリースローラインの外側にいなければならない

(b) スローを行うプレーヤーの味方のプレーヤーは、自陣のコートにいなければならない

(c) 相手チームのプレーヤーは、スローを行うプレーヤーから ３ m 以上離れる、あるいは自陣のゴールエリアラインの外側に沿っていなければならない

(d) スローを行うプレーヤーの味方のプレーヤーは、スローを行うプレーヤーから ３ m 以上離れなければならない

(e) スローを行うプレーヤーの味方のプレーヤーは、スローを行うプレーヤーと共に、相手チームのフリースローラインに沿って位置を取ってもよい

2-29　白チームの 7 番は、味方の 8 番にパスを出している。このとき、白チームがチームタイムアウトの請求をしたため、タイムキーパーは笛を吹いた。両レフェリーとプレーヤーはこの笛の合図に気づかず、競技を続けた。白チームの 8 番からパスをもらった 10 番が明らかな得点チャンスを得た際に、黒チームの 5 番から不当な妨害を受けた。レフェリーは白チームへ 7 m スローを判定し、黒チームの 5 番を 2 分間退場とした。ここでようやくレフェリーは、チームタイムアウトの請求によりタイムキーパーがすでに笛を吹いていたことに気付いた。

(a) 白チームの 7 m スロー

(b) 黒チームの 5 番を、2 分間退場とする

(c) 白チームのチームタイムアウト

(d) 黒チームのゴールキーパースロー

(e) 競技再開の笛の合図

(f) タイムキーパーが笛を吹いたときに白チームの 7 番がいた位置から、白チームのフリースローで競技を再開

2-３０　前半の終了合図の笛が１分早かった。笛の合図があったとき、どちらのチームもボールを所持しておらず、また、規則違反もなかった（ボールはプレーイングエリアの床の上にあった)。両チームプレーヤーは、まだコート内に残っていた。

(a) その１分は、実施しない

(b) その１分は、休憩時間の前に実施する

(c) その１分は休憩時間の後、後半が始まる前に実施する

(d) その１分は、後半の競技時間に付加する

(e) この１分を実施するとき、どちらのチームがボールを所持するかは、コイントスで決定する

(f) 競技を再開する際は、最後にボールを所持していたチームがボールを所持する

2-３１　前半が１分早く終了した。そのとき競技規則に違反はなく、ボールはゴールエリア上空にあった。終了の合図の後、ゴールキーパーがボールをキャッチした。両チームのプレーヤーは、まだコート内に残っていた。

(a) その１分は、実施しない

(b) その１分は、休憩時間の前に実施する

(c) その１分は休憩時間の後、後半が始まる前に実施する

(d) その１分は、後半の競技時間に付加する

(e) 競技を再開する際は、最後にボールを所持していたチームがボールを所持する

(f) ゴールキーパースローで競技を再開する

2-３２　前半が 1 分早く終了した。そのとき競技規則に違反はなく、ボールはゴールエリア上空にあった。終了の合図の後、ボールはアウターゴールラインを通過してコート外へ出た。両チームのプレーヤーは、まだコート内に残っていた。

(a) その 1 分は、実施しない

(b) その 1 分は、休憩時間の前に実施する

(c) その 1 分は休憩時間の後、後半が始まる前に実施する

(d) その 1 分は、後半の競技時間に付加する

(e) 競技を再開する際は、最後にボールを所持していたチームがボールを所持する

(f) ゴールキーパースローで競技を再開する

2-３３　白チームが得点を決めた。クイックスローオフを行うため、黒チーム 5 番は、センターラインに向かってボールを素早くドリブルした。黒チーム 5 番が白チーム 3 番の前を通り過ぎようとしたとき、白チーム 3 番は、開いた片手で黒チーム 5 番からボールを払い落とした。ボールは黒チーム 5 番の足に当たり、センターラインを越えて相手チームのコート奥まで転がっていった。

(a) タイムアウト

(b) 黒チームのスローオフ

(c) 白チームの 3 番に、段階的罰則を適用する

(d) 白チームのフリースロー

(e) 白チームの 3 番を、即座に 2 分間退場とする

2−３４　必ずしもタイムアウトを取る**必要がない**状況はどれか。

(a) ボールがコートから遠く離れたとき

(b) タイムキーパーから笛の合図があったとき

(c) プレーヤーが負傷したと思われるとき

(d) どちらのチームがボールを所持するかで、両レフェリーの判定が異なったとき

(e) ゴールキーパースローを行うために、コートプレーヤーとゴールキーパーが交代するとき

2−３５　チームタイムアウトを請求できるのは誰か。

(a) チーム役員のうちの一人

(b) プレーヤー

(c) チーム責任者のみ

(d) キャプテン

２－３６　チームタイムアウトに関する正しい記述はどれか。

(a) チーム責任者だけが、チームタイムアウトを請求できる

(b) 相手チームがボールを所持しているときにチームタイムアウトの請求があったなら、タイムキーパーはチーム役員にグリーンカードを返さなければならない

(c) １ 分間のチームタイムアウトは、タイムキーパーが笛を吹いたときから計測し始める

(d) チームタイムアウト中の違反は、競技時間中の違反と同等に判定する

(e) チームタイムアウト終了後は常に、チームタイムアウトを請求したチームのスローで競技を再開する

2-３７　白チームがボールを所持していた。黒チームのチーム役員 C は、タイムキーパーの目の前(机の上)にグリーンカードを置いてチームタイムアウトを請求した。

(a) グリーンカードを机の上に立てておく

(b) 黒チームがボールを所持したら、タイムキーパーは直ちに笛を吹く

(c) タイムキーパーは、グリーンカードをチーム役員に返す

(d) チーム責任者だけが、チームタイムアウトを請求できる

2-３８　黒チームの 3 番がシュートを打った。しかし、ボールは誰にも触れられることなくゴールエリア内の床で止まった。それと同時に、黒チームのチーム責任者がチームタイムアウトを請求した。

(a) タイムキーパーは笛を吹くと同時に時計を止め、黒チームのチームタイムアウトをレフェリーに示す

(b) タイムキーパーは、グリーンカードを黒チームのチーム責任者に戻す

(c) 黒チームのフリースローで競技を再開する

(d) 相手チームのゴールキーパースロー

2-３９　白チームのゴールキーパー 1 番は、黒チームのゴールエリア近くで黒チームのゴールキーパー 12 番と 1 対 1 の状況にある味方のプレーヤー 8 番に、パスをした。ボールが白チームの 8 番に届く直前に、タイムキーパーが笛を吹き、白チームのチーム役員 A がチームタイムアウトを請求したことを示した。どのようにして競技を再開するか。

(a) 白チームのゴールエリアの外から、白チームのフリースロー

(b) 白チームの交代地域から、白チームのフリースロー

(c) 白チームの 7 m スロー

(d) 黒チームのフリースローラインから、白チームのフリースロー

2-40　白チームの 4 番は、黒チームの 11 番のシュートをブロックした。ブロックしたボールは、ゴールエリア上方の天井に触れた。その直後、黒チームのチーム役員 A は、タイムキーパーの目の前（机の上）にグリーンカードを置いた。

(a) 直ちに黒チームのチームタイムアウトとする

(b) ボールは天井に触れていることから、黒チームのチームタイムアウトは認められない

(c) 白チームのボールから競技が再開となるため、黒チームのチームタイムアウトは認められない

(d) 一度競技を再開させ、その後、黒チームのチームタイムアウトを認める

2-41　白チームがボールを所持しているときに、チームタイムアウトを請求した。しかし場内が騒がしかったため、両レフェリーはタイムキーパーの笛の合図に気が付かなかった。10 秒ほどして黒チームがボールを所持したときに、ようやくレフェリーは笛の合図に気が付いた。

(a) チームタイムアウトを認める

(b) 黒チームのフリースローで競技を再開

(c) チームタイムアウトは認められない

(d) 白チームのフリースローで競技を再開

2-４２　第 2 延長の後半 3 分 00 秒に、白チームの 7 番は 2 分間退場となった。その後、競技は同点のまま終了し、規定により 7 m スローコンテストを実施することになった。白チームのチーム役員は、自チームの 7 番を 7 m スローコンテストに指名し、7 番はシュートを決めた。

(a) 白チーム 7 番の参加は認められるため、得点は有効である

(b) 白チーム 7 番の参加は認められず、得点は無効である

(c) このシュートは外したものとしてカウントする

(d) 白チーム 7 番を、失格とする

2-４３　後半 25 分 00 秒に、白チームのチーム責任者が、この試合 2 回目のチームタイムアウトを請求した。後半 29 分 00 秒、同じチームのチーム責任者が 3 回目のチームアウトを請求した。

(a) チームタイムアウトは、有効である

(b) チームタイムアウトは、無効である

2-４４　白チームの攻撃中、白チームのチーム役員 A がチームタイムアウトを請求するためにジャッジーズテーブルに行き、タイムキーパーの目の前（机の上）にグリーンカードを置いた。ちょうどそのときに白チームの 4 番がシュートを打ち、得点を決めた。タイムキーパーは、ボールが黒チームのゴールラインを通過した直後に、チームタイムアウトの笛を鳴らした。

(a) 白チームの得点

(b) 白チームがチームタイムアウトを請求したため、得点は認められない

(c) 白チームのチームタイムアウト

(d) 白チームはもはやボールを所持しておらず、このチームタイムアウトは認められない

(e) 白チームにグリーンカードを返さなければならない

(f) 黒チームのスローオフ

2-４５　後半 25 分 10 秒に、白チームは 2 回目のチームタイムアウトを請求した。後半 29 分 25 秒、白チームがボールを所持しているときに、白チームのチーム役員 A が 3 回目のチームタイムアウトを請求するため、タイムキーパーの目の前（机の上）にグリーンカードを置いた。タイムキーパーは笛で合図をし、時計を止め、白チームのチームタイムアウトを示した。

(a) 白チームのチームタイムアウト

(b) 白チームのチームタイムアウトは、認められない

(c) 白チームのチーム役員 A に、段階的罰則を適用

(d) 白チームのフリースローで競技を再開

(e) 相手チームのフリースローで競技を再開

2-４６　白チームのチーム役員 A は、チームタイムアウトを請求するためにジャッジーズテーブルに行き、タイムキーパーの目の前（机の上）にグリーンカードを置いた。ちょうどそのとき、白チームの 9 番が黒チームのゴールにシュートを打った。タイムキーパーがチームタイムアウトの笛を吹いたとき、ボールは空中にあった。笛の合図の直後、黒チームのゴールキーパー 12 番は、ボールをキャッチした。

(a) 白チームはボールを所持していないため、チームタイムアウトを請求することはできない

(b) 白チームのチームタイムアウト

(c) 白チームにグリーンカードを返す

(d) 黒チームのゴールキーパースローで競技を再開

(e) 白チームのフリースローで競技を再開

2-４７　白チームのチーム役員 A は、チームタイムアウトを請求するためにジャッジーズテーブルに行き、タイムキーパーの目の前（机の上）にグリーンカードを置いた。タイムキーパーがチームタイムアウトの笛を吹く前に、白チームの 9 番はシュートを打った。黒チームのゴールキーパー 12 番がシュートを止め、ボールがゴールエリア内を転がっているときに、タイムキーパーがチームタイムアウトの笛を吹いた。

(a) 白チームはボールを所持していないため、チームタイムアウトを請求することはできない

(b) 白チームのチームタイムアウト

(c) 白チームにグリーンカードを返す

(d) 黒チームのゴールキーパースローで競技を再開

(e) 白チームのフリースローで競技を再開

(f) 黒チームのフリースローで競技を再開

2-４８　白チームのチーム役員 A は、チームタイムアウトを請求するためにジャッジーズテーブルに行き、タイムキーパーの目の前（机の上）にグリーンカードを置いた。タイムキーパーがチームタイムアウトの笛を吹く前に、白チームの 9 番はシュートを打った。黒チームのゴールキーパー 12 番がシュートを止め、ボールがゴールエリア上の空中にあるときに、タイムキーパーがチームタイムアウトの笛を吹いた。

(a) 白チームはボールを所持していないため、チームタイムアウトを請求することはできない

(b) 白チームのチームタイムアウト

(c) 白チームにグリーンカードを返す

(d) 黒チームのゴールキーパースローで競技を再開

(e) 白チームのフリースローで競技を再開

(f) 黒チームのフリースローで競技を再開

2-４９　白チームのチーム役員 A は、チームタイムアウトを請求するためにジャッジーズテーブルに行き、タイムキーパーの目の前（机の上）にグリーンカードを置いた。タイムキーパーがチームタイムアウトの笛を吹く前に、白チームの 11 番はオフェンシブファールの違反をした。レフェリーがオフェンシブファールの笛を吹く直前に、タイムキーパーはチームタイムアウトの笛を吹いた。

(a) タイムキーパーからのチームタイムアウトの合図の前に、オフェンシブファールの違反が起きていることから、レフェリーは、チームタイムアウトを認めることはできない

(b) 白チームのチームタイムアウト

(c) 白チームにグリーンカードを返す

(d) 相手チームのフリースローで競技を再開

(e) 白チームのフリースローで競技を再開

2-５０　チームタイムアウト電子申請システムを採用する試合で、白チームは後半 25 分 10 秒に 2 回目のチームタイムアウトを請求した。後半 29 分 35 秒、白チームがボールを所持している際に、白チームのチーム役員 A は 3 回目のチームタイムアウトを請求するため、ブザーを鳴らした。公示時計の計測は、ブザーと同時に停止された。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 白チームのチームタイムアウト

(b) 白チームのチームタイムアウトは、認められない

(c) 白チームのチーム役員 A に、段階的罰則を適用する

(d) 白チームのフリースローで競技を再開

(e) 相手チームのフリースローで競技を再開

(f) 相手チームは、フリースローまたは 7 m スローのいずれかを選択できる

2-5 I　チームタイムアウト電子申請システムを採用する試合で、後半 28 分 40 秒に、白チームの 7 番は攻撃側の違反をした。レフェリーが攻撃側の違反への笛を吹く前に、白チームのチーム役員 A はチームタイムアウトを請求するため、ブザーを鳴らした。その直後レフェリーは、白チームの 7 番の攻撃側の違反の笛を吹いた。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 白チームはもはやボールを所持しておらず、チームタイムアウトを請求することはできない

(b) 白チームのチームタイムアウト

(c) 白チームは、チームタイムアウトの請求権を 1 つ失う

(d) 相手チームのフリースローで競技を再開

(e) 白チームのフリースローで競技を再開

(f) 相手チームの 7 m スローで競技を再開

(g) 相手チームは、フリースローまたは 7 m スローのいずれかを選択できる

(h) 白チームのチーム役員 A に、段階的罰則を適用する

2-５２　チームタイムアウト電子申請システムを採用する試合で、前半 29 分 50 秒に、白チームの 9 番はシュートを打った。シュートは、黒チームのゴールキーパー 12 番によって止められた。ボールがゴールエリア上の空中にあるとき、黒チームのチーム役員 A はチームタイムアウトを請求するため、ブザーを鳴らした。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 黒チームはボールを所持していないため、チームタイムアウトを請求することはできない

(b) 黒チームのチームタイムアウト

(c) 黒チームは、チームタイムアウトの請求権を 1 つ失う

(d) 黒チームのゴールキーパースローで競技を再開

(e) 白チームのフリースローで競技を再開

(f) 黒チームのフリースローで競技を再開

(g) 白チームは、フリースローまたは 7 m スローのいずれかを選択できる

(h) 白チームの 7 m スローで競技を再開

(i) 黒チームのチーム役員 A に、段階的罰則を適用する

2-５３　黒チームの攻撃で、レフェリーはパッシブプレーの予告合図を示した。2 回目のパスの後、黒チームのチーム役員 A がチームタイムアウトの請求をしたため、TO は笛を吹いた。両レフェリーとプレーヤーはこの笛の合図に気づかず、競技は続いた。4 回目のパスで、明らかな得点チャンスを得ている黒チームのウィングプレーヤーに渡った。ウィングプレーヤーは、ジャンプシュートを打つ際に白チームの 4 番によって押されたため、身体の一部のコントロールを失い、シュートはゴールキーパーに止められた。ここでようやくレフェリーとプレーヤーは、チームタイムアウトの請求により TO がすでに競技を中断していたことに気付いた。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 黒チームのチームタイムアウト

(b) 黒チームのフリースローで競技を再開

(c) 黒チームの 7 m スローで競技を再開

(d) 白チーム 4 番を、2 分間退場とする

(e) 罰則は不要

(f) パッシブプレーの予告合図はまだ有効であり、黒チームは 2 回のパスが完了している

(g) パッシブプレーの予告合図はまだ有効であり、黒チームは 4 回のパスが完了している

(h) 白チームの 4 番が 2 分間退場となったため、パッシブプレーの予告合図は取り消される

2-５４　白チームが打ったシュートを、黒チームのゴールキーパー 1 番が止めた。止めたボールがゴールエリア内をバウンドしている最中に、白チームのチーム役員 A がチームタイムアウトを請求するため、タイムキーパーの目の前（机の上）にグリーンカードを置いた。ボールがまだゴールエリア内をバウンドしているときに、タイムキーパーはチームタイムアウトの笛を吹いた。このときボールは、ゴールエリアのすぐ外側で一人待ち構えている白チームの 13 番の近くまできていた。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 白チームのチームタイムアウト

(b) チームタイムアウトは認められないため、白チームのチーム役員 A にグリーンカードを返す

(c) 白チームのフリースロー

(d) 黒チームのゴールキーパースロー

(e) 黒チームのフリースロー

(f) 白チームの 7 m スロー

★2-５５　チームタイムアウト電子申請システムを採用する試合で、競技終了 20 秒前、得点が 31 対 31 の状況で、白チーム 7 番はシュートを決めた。黒チームのチーム役員 A は、ブザーボタンを押しチームタイムアウトを請求するために、ジャッジーズテーブルに走って行った。黒チームのチーム役員 A がブザーボタンを押す前に、黒チームの 10 番は交代地域で立ち上がり、ブザーボタンを押した。このとき黒チームは、スローオフを実施する直前であった。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 黒チームのチームタイムアウト

(b) 黒チームのチームタイムアウトは、認められない

(c) 黒チームのスローオフで競技を再開

(d) 白チームのフリースローで競技を再開

(e) 白チームの 7 m スローで競技を再開

(f) 白チームは、フリースローまたは 7 m スローのいずれかを選択できる

(g) 黒チームのチーム役員 A に、段階的罰則を適用する

(h) 黒チーム 10 番を、2 分間退場とする

(i) （レッドカードを示し）黒チームの 10 番を、報告書を伴わない失格とする

(j) 黒チームは、チームタイムアウトの請求権を 1 つ失う

★2-５６　ビデオ判定システムおよびチームタイムアウト電子申請システムを採用する試合で、試合終了 20 秒前に、白チームの 7 番はボールを持って走っている。レフェリーが白チームの 7 番に対してオーバーステップの判定をした際に、白チームの 7 番はボールを床に置く前に、2 秒間持ち続けた。黒チームの 4 番がボールを拾い上げた瞬間、黒チームのチーム役員 B はチームタイムアウトを請求するため、ブザーボタンを押した。レフェリーは競技規則 8：11a に該当する可能性があったことから、ビデオ判定システムの使用を要請した。ビデオ判定システムを使用した結果、白チームの 7 番は、3 歩しか歩いていないことがわかった。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) ビデオ判定システムを使用することができる

(b) 直ちに黒チームのチームタイムアウトを開始する

(c) ビデオによる検証が終わるまで、チームタイムアウトの決定は延期される

(d) タイムアウト

(e) ビデオによる検証の後、黒チームのチームタイムアウト

(f) ビデオによる検証の後、黒チームのチームタイムアウトは認められない

(g) （レッドカードを示し）白チームの 7 番を、報告書を伴わない失格とする

(h) 白チームの 7 番を、2 分間退場とする

(i) 黒チームのフリースローで競技を再開する

(j) 黒チームの 7 m スローで競技を再開する

(k) 白チームのフリースローで競技を再開する

(l) 黒チームは、チームタイムアウトの請求権を 1 つ失う

(m) 黒チームのチーム役員 B に、段階的罰則を適用する

第 3 条　ボール

3−1　ボールの色彩は何種類認められるか。

(a) 1 種類

(b) 2 種類

(c) 3 種類

(d) 制限なし

3−2　成年・高校生の男子用のボールはどれか。

(a) 外周 57 cm、重さ 450 g

(b) 外周 58 cm、重さ 400 g

(c) 外周 59 cm、重さ 425 g

(d) 外周 60 cm、重さ 500 g

3−3　成年・高校生の女子用のボールはどれか。

(a) 外周 53 cm、重さ 350 g

(b) 外周 54 cm、重さ 300 g

(c) 外周 55 cm、重さ 425 g

(d) 外周 56 cm、重さ 375 g

3−4　　レフェリーが予備のボールを使用すると判断した場合、いつ元のボールに戻すべきか。

(a) 次の競技中断時

(b) 予備のボールが使用不能にならなければ、元のボールを再び使用することはできない

(c) レフェリーが必要と考えたとき

(d) どちらかのチームから要求されたとき

第 4 条　チーム、交代、服装、プレーヤーの負傷

4-1　白チーム 11 番は競技の開始直前に重傷を負ったため、プレーできなくなった。

(a) 白チームの 11 番は交代できない

(b) 相手チームが了承すれば、白チームの 11 番は交代できる

(c) 通常、白チームの 11 番は、記録用紙に記載した名前を変更し交代できる。また、代わりに参加するプレーヤーは 11 番をつけてもよいが、レフェリーは、各大会における特別な規定を守らなければならない場合もある

(d) 白チームの 11 番は交代できるが、代わりに参加するプレーヤーは 11 番をつけることはできない

4-2　競技の開始時間になっても黒チームは 5 名のコートプレーヤーしか到着しておらず、ゴールキーパーはいなかった。黒チームはコートプレーヤー 5 番をゴールキーパーとして指名した。黒チームの 5 番は、その後どうなるか。

(a) 正しく交代すれば、いつでも黒チームの 5 番はコートプレーヤーとして出場できる

(b) もはや黒チームの 5 番は、コートプレーヤーとして出場できない

(c) 相手チームのチーム役員が了承すれば、黒チームの 5 番はコートプレーヤーとして出場できる

(d) 正規のゴールキーパーが到着すれば直ぐに、黒チームの 5 番はコートプレーヤーとして出場できる

4−3　競技の開始とともに、白チームの会長は 2 名のチーム役員、トレーナー、そしてコーチとともに交代地域のベンチに腰を下ろした。

(a) 控えのゴールキーパーは、ベンチの後方で立っていなければならない

(b) 会長は、交代地域から去らなければならない

(c) 役員のうち誰か 1 名が、交代地域から去らなければならない

(d) 記録用紙に記載されていない者はすべて、交代地域から去らなければならない

(e) チーム責任者に、段階的罰則を適用する

4−4　記録用紙に記載されており、競技の開始時にコート上にいなければならないプレーヤーは、少なくとも何名か。

(a) 5 名のプレーヤー

(b) 4 名のコートプレーヤーと 1 名のゴールキーパー

(c) 5 名のコートプレーヤーと 1 名のゴールキーパー

(d) 6 名のコートプレーヤー

4−5　プレーヤーの競技への参加資格に関する正しい記述はどれか。

(a) 競技の開始時にいて、記録用紙に記載されているプレーヤー

(b) 競技の開始時にいなくても、記録用紙には記載されているプレーヤー

(c) 競技の開始時にいて、記録用紙に記載されていないプレーヤー

(d) タイムキーパーから参加の許可を得てはいるが、記録用紙に記載されていないプレーヤー

4−6　競技の開始時、白チームは 6 名のプレーヤーしかいなかったが、競技開始直後に、白チームのプレーヤー 7 番が遅れて会場に到着した。白チームの 7 番はそのまま自陣の交代地域を通ってコート内に入った。白チームの 7 番は、記録用紙に記載されていなかった。

(a)（レフェリーはレッドカードを示し）白チームの 7 番を失格とする

(b) 白チームの 7 番を 2 分間退場とし、記録用紙に追加で記載しなければならない

(c) 主催者が定める規定に一致するなら、白チームの 7 番を記録用紙に追加で記載しなければならない

(d) 白チームのチーム責任者に、段階的罰則を適用する

4−7　レフェリーが白チームに、黒チームのフリースローラインからのフリースローを与えた。その直後にタイムキーパーが笛を吹き、時計を止めた。レフェリーが競技中断の理由を尋ねると、タイムキーパーは「白チームの 9 番が不正交代をした」と答えた。

(a) 黒チームのフリースローラインに沿って、白チームのフリースロー

(b) 黒チームのフリースローラインに沿って、黒チームのフリースロー

(c) 白チームの交代地域前から、黒チームのフリースロー

(d) 白チームの 9 番を、2 分間退場とする

4-8　競技の中断中に黒チームの 14 番は、正しく交代した。しかし、タイムキーパーは笛を吹き、黒チームの 14 番は記録用紙に記載されていないと説明した。黒チームの 14 番 は、黒チームの 18 番として記録用紙に記載されていることが判明した。

(a) 黒チームのチーム責任者に、段階的罰則を適用する

(b) ジャッジーズテーブルの前から、相手チームにフリースローを与える

(c) 背番号を記録用紙に記載されている通りとし、黒チームの 14 番は、18 番のユニホームに着替える

(d) 競技の中断の理由に相応しいスローで競技を再開し、記録用紙にその旨を特記する

4-9　参加資格のある者のうち 2 名（チーム役員またはプレーヤー）に対して、コートへの入場許可が与えられるのは、どのような場合か。

(a) 競技の中断中

(b) 競技の中断中にレフェリーが許可を与えたとき

(c) プレーヤーが負傷したとき

(d) タイムキーパーが許可を与えたとき

4-１０　白チームの 2 番が 3 回目の 2 分間退場となったため、レフェリーは笛を吹いてタイムアウトを取った。レフェリーがジャッジーズテーブルに失格を伝えにいく途中、白チームのチーム責任者がコート内に入り、この退場に関して抗議をした。白チームは、チーム役員 B が、すでに警告となっていた。

(a)（レフェリーはレッドカードを示し）白チームのチーム責任者を失格とし、白チームはコート上のプレーヤーを、新たに 2 分間 1 名減らす

(b) 白チームのチーム責任者を、警告とする

(c)（レフェリーはレッドカードおよびブルーカードを示し）白チームのチーム責任者を、報告書を伴う失格とする

(d) 白チームのチーム責任者を、2 分間退場とする

(e) 白チームはコート上のプレーヤーを、新たに 2 分間 1 名減らす

4-１１　プレーヤーの負傷によるタイムアウト中に、レフェリーが入場許可を与えていないにもかかわらず、白チームの 2 番がコート内に走り込んだ。

(a) 白チームの 2 番を、警告とする

(b) 白チームのチーム責任者に、段階的罰則を適用する

(c)（レフェリーはレッドカードを示し）白チームの 2 番を、失格とする

(d) 白チームの 2 番を 2 分間退場とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

4-１２　白チームの 5 番が負傷したため、コートレフェリーはタイムアウトを取り、白チームの 5 番の救護のため、白チームにコート内への入場許可を与えた。黒チームのチーム役員 B もまた、自チームのゴールキーパーに指示するためにコート内に入った。

(a) 問題はない。なぜならコート内への入場を許可する合図は、両チームのプレーヤーとチーム役員の全員に適用されるからである

(b) 黒チームのチーム役員 4 名全員を警告とし、その違反を繰り返した場合は失格とする

(c) 黒チームのチーム責任者を、警告とする

(d) 黒チームのチーム役員 B に、段階的罰則を適用する

(e) コート上での治療行為を受けた後、白チームの 5 番は速やかにコートを出なければならない。白チームの 5 番はその後、自チームが 3 回の攻撃を終えた後、コート内に戻ることができる

4-１３　白チームのゴールキーパー 16 番が負傷したため、白チームの 5 番が代わりを務めることになり、ユニホームを着替えた。20 分後、白チームの 16 番は再びプレーできるようになり、白チームのチーム役員 A は、白チームの 5 番と交代させた。白チームの 5 番は元のユニホームに着替えた後、スコアキーパーに告げずにコートプレーヤーとして再びコートに入場した。

(a) 競技規則で認められているので、問題はない

(b) 相手チームのフリースロー

(c) 白チームの 5 番を、2 分間退場とする

(d) （レフェリーはレッドカードを示し）白チームの 5 番を、失格とする

4－１４　白チームの 4 番が交代ラインの外側を通ってコートから出た。白チームの 4 番が交代地域にたどり着く前に、白チームの 11 番は正しい場所からコート内に入った。タイムキーパーからの笛の合図の後に取る処置はどれか。

(a) 白チームの 4 番がコートを出た場所から、相手チームのフリースロー

(b) 白チームの交代ラインから、相手チームのフリースロー

(c) 白チームの 4 番を、2 分間退場

(d) 白チームの 11 番を、2 分間退場

(e) 白チームの 4 番と 11 番を、2 分間退場

4－１５　競技の中断中に、黒チームの 3 番は黒チームで初めての不正交代をした。これは、黒チームへのフリースローが判定された後であった。この試合で黒チームの 3 番は、まだ警告も 2 分間退場も適用されていなかった。

(a) 黒チームの 3 番を、警告

(b) 黒チームの 3 番を、2 分間退場

(c) 相手チームのフリースロー

(d) 黒チームのフリースロー

4－１６　レフェリーが白チームに 7 m スローを判定した後、7 m スローを行うように指示された白チームの 27 番が、不正交代をした。

(a) 相手チームのフリースロー

(b) 白チームの 7 m スロー

(c) 相手チームのゴールキーパースロー

(d) 白チームの 27 番を、2 分間退場

4－１７　白チームが得点した。レフェリーはまだスローオフの笛を吹いていなかったが、黒チームの 10 番は、黒チームの 6 番がコートから出る前に、不正にコートの中に入った。

(a) スローオフ

(b) 白チームのフリースロー

(c) 黒チームの 10 番を、2 分間退場

(d) 黒チームの 6 番を、2 分間退場

4－１８　競技の開始時に、白チームは 12 名のプレーヤーしかいなかった。いつもゴールキーパーとしてプレーしている 2 名のプレーヤーは、まだ到着していなかった。そこで、白チームは 12 名のコートプレーヤーのうち 1 名をゴールキーパーとし、競技を開始した。

(a) 競技の開始時にゴールキーパーとして出場するコートプレーヤーは、1、12、16 のいずれかの番号で記録用紙に記載されなければならない

(b) 競技の開始時にゴールキーパーとして出場するコートプレーヤーは、競技中、コートプレーヤーとして出場することができる

(c) 遅れてきた白チームのゴールキーパーは、1、12、16 のいずれかの番号で記録用紙に記載されなければならない

(d) 遅れてきたゴールキーパーのうち 1 名だけが、コートプレーヤーとして出場できる

4-１９　タイムアウト中に、白チームの 5 番はチームで初めての不正交代をした。タイムアウトが取られたとき、白チームがボールを所持していた。

(a) 罰則は不要

(b) 白チームの 5 番を、警告

(c) 白チームの 5 番を、2 分間退場

(d) 相手チームのフリースロー

(e) 白チームが引き続きボールを所持

4-２０　白チームのゴールキーパー 3 番は、7 m スローを行おうとしていた。無人のゴールを守るため白チームの 15 番は、ゴールキーパーのユニホームを着て、コートプレーヤーのうちの 1 名と交代し、コート内に入った。

(a) 白チームの 3 番を、2 分間退場

(b) 白チームの 15 番を、2 分間退場

(c) 罰則は不要

(d) 白チームの 7 m スロー

(e) 白チームの交代ラインから、相手チームのフリースロー

★★4−２１　白チームが速攻で明らかな得点チャンスを得たとき、黒チームの 3 番が不正交代をした。タイムキーパーとスコアキーパーはこれに気づかなかったが、コートレフェリーはこれに気付いた。

(a) 直ちに黒チームの 3 番を 2 分間退場とし、白チームのフリースローとする

(b) 直ちに黒チームの 3 番を 2 分間退場とし、白チームの 7 m スローとする

(c) 明らかな得点チャンスが終わるまで待ち、黒チームの 3 番を 2 分間退場とし、白チームのフリースローとする

(d) 明らかな得点チャンスが終わるまで待ち、黒チームの 3 番を 2 分間退場とし、競技の中断の状況に相応しいスローで競技を再開

4−２２　白チームのゴールキーパー 1 番がシュートを止め、ボールは白チームの交代ベンチ近くのサイドラインに向かって転がっていった。ベンチに座っていた白チームの 5 番がコート内に片足を入れてボールを止めたので、ボールがサイドラインを越える前に白チームの 4 番はボールを所持することができた。

(a) 相手チームのフリースロー

(b) 相手チームのスローイン

(c) 白チームの 5 番を、2 分間退場とする

(d) （レフェリーはレッドカードを示し）白チームの 5 番を、失格とする

(e) 白チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 1 名減らす

4−２３　退場時間が満了する 30 秒前に、白チームの 3 番は競技を妨害することなくコート内に入った。このとき、白チームがボールを所持していた。

(a) 相手チームのフリースローとする

(b) 白チームのフリースローとする

(c) 白チームの 3 番を、新たに 2 分間退場とする。そして、白チームはコート上のプレーヤーを 30 秒間さらに 1 名減らす

(d) 白チームの 3 番を、30 秒間退場とする。そして、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間さらに 1 名減らす

(e) （レフェリーはレッドカードを示し）白チームの 3 番を、失格とする。そして、白チームはコート上のプレーヤーを 30 秒間さらに 1 名減らす

4−２４　白チームの 5 番が 2 分間退場となった。退場時間が 1 分 45 秒経過した時点で、白チームのチーム役員 A は、5 番をコートへ戻した。

(a) 白チームの 5 番を新たに 2 分間退場とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分 15 秒間さらに 1 名減らす

(b) （レフェリーはレッドカートを示し）白チームの 5 番を失格とし、白チームはコート上のプレーヤーを 15 秒間 2 名減らし、その後、1 分 45 秒間 1 名減らす

(c) 白チームの 5 番を新たに 2 分間退場とし、白チームはコート上のプレーヤーを 15 秒間 2 名減らし、その後、1 分 45 秒間 1 名減らす

4−２５　黒チームのゴールキーパー １ 番は、2 分間の退場時間を満了した後に防御中のチームに戻るため、ゴールキーパーのユニホームを着たままコート内に入り、6 人目のコートプレーヤーとしてサイドのポジションについた。

(a) そのまま競技を続行

(b) 相手チームの ７ m スロー

(c) 相手チームのフリースロー

(d) 黒チームのゴールキーパー １ 番を、2 分間退場

4−２６　出血しているプレーヤーがコート内にいる場合、正しい記載は次のうちどれか。

(a) 出血しているプレーヤーは、自主的に速やかにコートから出なければならない

(b) 次の競技の中断まで、出血しているプレーヤーはコート内にいてもよい

(c) 出血しているプレーヤーと交代するプレーヤーは、交代ラインを通らずにコート内に入ってもよい

(d) 次の競技の中断まで、そのプレーヤーは再びコートに入ることができない

(e) 出血しているプレーヤーが、コートから出るようにというレフェリーの指示に従わない場合、スポーツマンシップに反する行為として罰則を適用しなければならない

★4-２７　白チームの 5 番は黒チームのゴールキーパー 1 番に対してノーマークの状態となり、明らかな得点チャンスを得た。白チームの 5 番がシュートを打とうとした瞬間に、黒チームの 9 番がコートを出る前に黒チームの 11 番が不正にコート内に入ったため、タイムキーパーは笛を吹いた。

(a) 黒チームの 11 番を、2 分間退場

(b) （レフェリーはレッドカードとブルーカードを示し）黒チームの 11 番は、報告書を伴う失格

(c) 白チームのフリースロー

(d) 白チームの 7 m スロー

(e) タイムキーパーは、明らかな得点チャンスの状況が終了するまで、不正入場を知らせるための笛の合図は待つべきであった

4-２８　黒チームのゴールキーパー 1 番はシュートを止めて、味方の 4 番にボールを投げた。その後、黒チームの 1 番は交代地域に向かい、明らかにサイドラインを越えてタオルを手に取り、ボトルの水を飲んだ。黒チームの 1 番は、他のゴールキーパーやコートプレーヤーと交代していない。

(a) この行為は許されるので、競技をそのまま続行

(b) 不正交代により、黒チームの 1 番を、2 分間退場

(c) 黒チームの交代地域前から、相手チームのフリースロー

4-２９　黒チームのチーム役員 A は、すでに警告となっていた。そして今、レフェリーの判定に対して黒チームのチーム役員 D が、レフェリーの許可なくコート内に数 m 走り込んだ。

(a) 罰則は不要

(b) 黒チームのチーム役員 D を、警告とする

(c) 黒チームのチーム役員 D を、2 分間退場とする

(d) （レフェリーはレッドカードを示し）黒チームのチーム役員 D を、失格とする

4-３０　白チームの 6 番が負傷し、タイムアウトとなった。レフェリーはこの事象に対して、黒チームのプレーヤーへ段階的罰則を示していなかった。レフェリーは、白チームの 6 番の救護のためにコート内へ 2 名までの入場許可を与え、白チームのチーム役員 C が処置をしていた。一方、白チームのチーム役員 A は、負傷させたと思われる黒チームの 5 番を黒チームの交代地域まで追いかけていき、黒チームの 5 番の顔を殴った。

(a) （レッドカードとブルーカードを示し）白チームのチーム役員 A を、報告書を伴う失格とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

(b) 笛の合図の後に、中断の理由に相応しいスローで競技を再開する

(c) 白チームのチーム役員 A を 2 分間退場とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

(d) 黒チームのフリースローとする

(e) （レッドカードを示し）白チームのチーム役員 A を、報告書を伴わない失格とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

(f) コート上で治療行為を受けた後、白チームの 6 番はコートを出なければならない。白チームの 6 番はその後、自チームが 3 回の攻撃を終えた後、コートに戻ることができる

★4-３１　黒チームのスローオフ直後、レフェリーは記録用紙に記載されていない人物 F が黒チームの交代地域にいるのに気付いた。F は黒チームの理事の一人であることが判明したが、記録用紙にはすでに別の 5 名のチーム役員が記載されていた。

(a) F は交代地域から去らなければならない

(b) 黒チームのチーム責任者に、罰則を適用する

(c) 余計なチーム役員 1 名が、交代地域から去らなければならない

(d) 相手チームのフリースローで競技を再開する

(e) 黒チームのフリースローで競技を再開する

4-３２　ユニホームに関する正しい記述はどれか。

(a) 各チームのゴールキーパーとして出場するすべてのプレーヤーは、同色のユニホーム（シャツ）を着用しなければならない

(b) 縦が 20 cm 以上の胸番号と背番号を、ユニホームにつけなければならない

(c) ゴールキーパーは、柔らかい素材でできた頭部用プロテクターをつけてもよい

(d) （ゴールキーパーを含めて)プレーヤーは、1 から 100 番までの好きな番号を使ってよい

4−３３　白チームの 10 番は、21 分 00 秒に 1 回目の 2 分間退場となった。競技の再開後に、白チームの 10 番は抗議（スポーツマンシップに反する行為）をしたため、レフェリーは 21 分 30 秒で競技を止め、2 分間退場を追加した。

(a) 白チームの 10 番を、2 分間退場とする

(b) 白チームの 10 番を、失格とする

(c) 白チームは、25 分 00 秒まで 1 名減らして競技する

(d) 白チームは、23 分 00 秒まで 2 名減らし、23 分 30 秒まで 1 名減らして競技する

4−３４　チーム責任者に段階的罰則を適用するのは、どのような場合か。

(a) 自チームのプレーヤーが、タイムキーパー・スコアキーパーに告げることなく交代地域を去ったとき

(b) 記録用紙に記載されていない者が、競技の開始時に交代地域にいたとき

(c) プレーヤーが余計にコートに入ったとき

(d) 参加資格のないプレーヤーがコートに入ったとき

(e) 競技開始後に、コート上のプレーヤーが許されない装具を身に着けていることを確認したとき

(f) 交代地域で違反があったものの、違反をした者が特定できないとき

(g) 競技開始後に、交代地域内のプレーヤーが許されない装具を身に着けていることを確認したとき

4-３５　白チームのプレーヤーが負傷したので、レフェリーはコートへの入場許可を示すジェスチャーをした。コート内に入ることを許されるのは誰か。

(a) 白チームから 2 名のチーム役員（他は誰も許されない）

(b) 白チームと相手チームの両方から各 2 名のチーム役員

(c) 白チームから 2 名（チーム役員またはプレーヤー）

(d) 白チームと相手チームの両方から各 2 名（チーム役員またはプレーヤー）

(e) 白チームの医師（4 名のチーム役員に含まれていなくてもよい）

4-３６　白チームのチーム役員 C は、抗議によりすでに警告となっていた。その後、スポーツマンシップに反する態度ではなかったものの、白チームのチーム役員 B がレフェリーの許可を得ずにコート内に入場した。

(a) 白チームのチーム役員 B を、警告とする

(b) 白チームのチーム役員 B を 2 分間退場とし、チーム役員 B は 2 分間、交代地域から去らなければならない

(c) （レフェリーはレッドカードを示し）白チームのチーム役員 B を失格とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

(d) 白チームのチーム役員 B を 2 分間退場とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす。チーム役員 B は、交代地域に留まることができる

4-３７　負傷したプレーヤーを救護するために、レフェリーが白チームに対してコートへの入場許可を与えたとき、**許されない**行為はどれか。

(a) 相手チームのプレーヤーが、コーチから指示を受けるためにサイドラインの近くに立つ

(b) 白チームのプレーヤーが、交代ラインの外側を通って交代する

(c) コートへ入場した白チームのチーム役員の一人が、負傷したプレーヤーから遠く離れた所に行き、自チームのプレーヤーに指示を出す

4-３８　競技開始前に TO は、白チームの 7 番が硬い部分を柔らかい素材で覆っていない足首の装具を着用していることに気付いた。

(a) 白チームの 7 番は、足首の装具を着用し試合に出場することができる。ただし TO は、大会本部に報告書を提出する必要がある

(b) 白チームの 7 番は、装具の硬い部分を覆わなければ、出場できない。TO は、白チームのチーム責任者に対して、足首の装具を取り外すか、柔らかい素材で覆わなければならないことを伝えなければならない

(c) 白チームの 7 番を警告とする

(d) 白チームのチーム責任者を警告とする

(e) 上記(a)～(d)のいずれも当てはまらない

4-３９　前半の 29 分 00 秒に、白チームの 5 番は 2 分間退場となった。休憩時間の後、コートレフェリーは笛を吹いて後半を開始させた。その 3 秒後、タイムキーパーが笛を吹いて「白チームはコート上にプレーヤーが 7 名いる」と伝えた。

(a) 白チームのプレーヤー 1 名はコートから去らなければならないが、罰則は付加されない

(b) 白チームのプレーヤーをさらにもう 1 名、2 分間退場とする

(c) 白チームは 57 秒間 2 名減らし、その後、1 分 3 秒間 1 名減らして競技する

4-４０　後半 13 分 27 秒で、白チーム 15 番が得点を決めた。スローオフが実施された後、タイムキーパーは競技を中断し「白チーム 15 番は記録用紙に記載されていない」とレフェリーに伝えた。記録用紙には、白チームのプレーヤー 14 名が記載されていたが、レフェリーは、白チーム 11 番がいないことに気付いた。

(a) 得点を取り消す

(b) 得点は有効である

(c) 主催者が定める規定に一致するなら、白チーム 11 番を削除し、代わりに白チーム 15 番を記録用紙に記入する

(d) 白チーム 15 番は競技への参加資格がなく、コートから去らなければならない

(e) 白チームのチーム責任者に、段階的罰則を適用する

(f) 連盟や大会の規定に従い、報告書にその旨を特記

4-41　白チームのゴールキーパー 12 番は、黒チームのシュートを止めた後に膝を負傷し、横たわっている。

(a) コート上での治療の後、白チームの 12 番は、そのまま競技を続けることができる

(b) 一方のレフェリーがジェスチャー 15 と 16 を示した後、参加資格のある者のうち白チームの 2 名が、コート上での治療行為のためコート内へ入場できる

(c) 一方のレフェリーがジェスチャー 15 と 16 を示した後、参加資格のある者のうち白チームの 1 名だけが、コート上での治療行為のためコート内へ入場できる

(d) コート上での治療の後、白チームの 12 番は、自チームが 3 回の攻撃を終えた後、コートに戻ることができる

(e) 攻撃回数にかかわらず、休憩時間後の後半には、白チームの 12 番はコートに戻ることができる

(f) もしもチーム役員が、白チームの 12 番への必要な処置を拒否した場合、チーム責任者に対して段階的罰則を適用する

4-42　白チームのゴールキーパー 1 番は、黒チームのシュートを止めたことにより、ゴールポストに頭をぶつけ、コート上での治療が必要となった。

(a) 頭部を負傷したことによる治療であるため、コート上での治療の後、白チーム 1 番はそのまま競技を続けることができる

(b) コート上での治療の後、白チーム 1 番は、自チームが 3 回の攻撃を終えた後、コートに戻ることができる

4-4３　白チーム 7 番はコート上での治療を受けた後、コートを出てベンチに座った。白チームの 1 回目の攻撃のとき、黒チーム 2 番がボールをインターセプトし、白チームのゴール前でノーマークの状態となった。黒チーム 2 番がシュートを打つ前に、白チーム 7 番は白チーム 9 番に代わってコートに入った。

(a) 白チームの不正交代であるため、タイムキーパーは、黒チーム 2 番がシュートを打つまで競技の中断を待つ

(b) 白チームの不正交代であるため、タイムキーパーは、直ちに競技を中断する

(c) タイムアウト

(d) 白チーム 7 番を、2 分間の退場とする

(e) （レッドカードを示し）白チーム 7 番を、報告書を伴わない失格とする

(f) 黒チームの 7 m スロー

(g) 黒チームのフリースロー

(h) 攻撃回数にかかわらず、白チーム 7 番は 2 分間の退場時間の満了とともに、コートに戻ることができる

4-4４　コート上での治療行為の後、黒チームの 11 番は交代地域からレフェリーの判定に抗議をしたため、2 分間退場（1 回目）となった。自チームの 2 回目の攻撃の後に 2 分間の退場時間が終了し、黒チームの 11 番はコートに入った。

(a) タイムアウト

(b) 黒チームの 11 番を、2 分間の退場

(c) そのまま競技を続行

(d) 白チームのフリースロー

4-４５　黒チームの 10 番は、フリースローライン付近でボールをキャッチした。その直後、白チームの 3 番によって引き倒された。そのため、黒チームの 10 番は肘を痛め、コート上での治療が必要となった。

(a) 白チーム 3 番を、警告とする

(b) 白チーム 3 番を、2 分間の退場とする

(c) 一方のレフェリーがジェスチャー 15 と 16 を示した後、参加資格のある者のうち黒チームの 2 名が、黒チーム 10 番に対するコート上での治療行為のため、コート内へ入場できる

(d) コート上での治療の後、黒チーム 10 番は、そのまま競技を続けることができる

(e) コート上での治療の後、黒チーム 10 番は、自チームが 3 回の攻撃を終えた後、コートに戻ることができる

(f) タイムアウト

4-４６　黒チームの 9 番は、速攻で走っていた黒チームの 10 番にパスを出した。その直後、黒チームの 9 番は、白チームの 11 番によって引き倒された。さらに黒チームの 10 番は、ボールをキャッチした際に転倒し、負傷した。

(a) 白チーム 11 番を、警告とする

(b) 白チーム 11 番を、2 分間の退場とする

(c) 一方のレフェリーがジェスチャー 15 と 16 を示した後、参加資格のある者のうち黒チームの 2 名が、黒チーム 10 番に対するコート上での治療行為のため、コート内へ入場できる

(d) コート上での治療の後、黒チーム 10 番は、そのまま競技を続けることができる

(e) コート上での治療の後、黒チーム 10 番は、自チームが 3 回の攻撃を終えた後、コートに戻ることができる

(f) タイムアウト

4−４７　競技終了まで残り 3 分。スコアは 21－21 の場面で、黒チームで一番得点を取っていた 2 番は、不運なことに足首をひねり倒れた。レフェリーは黒チームの 2 番に「プレーを続けますか？」と尋ねた。しかし黒チームの 2 番は質問に答えず、床に倒れたままであった。そのためレフェリーは競技を中断し、ジェスチャー 15 と 16 を示し、黒チーム 2 番への治療行為のために黒チームに 2 名の入場許可を与えた。しかし黒チームは処置を拒否し、レフェリーが次の行動に移る前に、黒チームの 2 番は競技を続けるために立ち上がった。

(a) 黒チームの 2 番は、そのまま競技を続けることができる

(b) 黒チームの 2 番はコートから出なければならず、自チームが 3 回の攻撃を終えた後、コートに戻ることができる

(c) 黒チームのチーム責任者に、段階的罰則を適用する

4−４８　前半終了まで残り 30 秒で、白チーム 5 番はコート上で治療を受けていた。治療後、白チーム 5 番はコートを出なければならず、再びコートに戻ってくることができるのは自チームが 3 回の攻撃を終えた後となる。後半開始から 1 分後、白チームにとって（白チーム 5 番が治療後にコートを出てから）2 回目の攻撃中に、白チーム 5 番は白チーム 4 番と交代でコートに入った。

(a) そのまま競技を続行

(b) （コート上での治療行為の後、自チームの 3 回の攻撃終了を待たずにコートに入ったことによる）不正交代のため、白チーム 5 番を 2 分間退場とする

(c) タイムアウト

4-４９　白チームの 4 番と黒チームの 5 番が、競技中に衝突し負傷した。レフェリーは直ちに競技を中断（ジェスチャー 15）し、コート上での治療行為のために両チームから参加資格のある者のうち 2 名までの入場許可を与えた（ジェスチャー 16)。許可された者がコートに入る前に、黒チームの 5 番は競技を続行するため立ち上がった。白チームの 4 番は治療を受け、20 秒後、競技を継続することが可能となった。

(a) コート上の治療を受けた後、白チームの 4 番はコートから出なければならず、自チームが 3 回の攻撃を終えた後、コートに戻ることができる

(b) コート上の治療を受けなかった黒チームの 5 番は、そのまま競技を続けることができる

(c) 黒チームの 5 番はコートから出なければならず、自チームが 3 回の攻撃を終えた後、コートに戻ることができる

4-５０　白チームの 2 番は、負傷したためコート上で治療を受けた。(白チームの 2 番がコートを出て）1 回目の攻撃中に、前半が終了した。レフェリーが後半開始の笛を吹いたとき、白チームの 2 番はコート上にいた。

(a) タイムキーパーは直ちに競技を中断し、違反があったことをレフェリーに知らせる

(b) 白チームの 2 番を、2 分間退場とする

(c) そのまま競技を続行

(d) 交代地域前から、相手チームのフリースロー

(e) 白チームの 2 番はコートから出なければならないが、罰則は不要。白チームのボールで競技を続行（タイムキーパー・TO のミスである）

4-５１　白チームの 4 番は、コート上で治療を受けていた。治療を受けた後、白チームの 4 番はコートから出なければならず、自チームが 3 回の攻撃を終えた後、コートに戻ることができる。（白チームの 4 番がコートを出て）白チームの 2 回目の攻撃終了後に、白チームのチーム役員 A は、防御だけを行わせるために白チームの 6 番と交代で、白チームの 4 番をコートに入れた。

(a) 白の 4 番の防御活動は許されるので、競技をそのまま続行

(b) 入場可能になる前にコートに入ったため、白チームの 4 番を警告とする

(c) 入場可能になる前にコートに入ったため、白チームの 4 番を 2 分間の退場とする

4-５２　白チームの 11 番はコート上でスリップし倒れ、交代地域とは逆のサイドからコートの外に出て、広告ボードに頭を打った。レフェリーは速やかに競技を中断し、白チームの 11 番への治療行為のために白チームに入場許可を与えた。20 秒後、白チームの 11 番は競技可能となった。

(a) 白チームの 11 番はコートの外に横たわり、そこで治療を受けていたので、そのまま競技を続けることができる

(b) 白チームの 11 番は速やかにコートから出なければならず、自チームが 3 回の攻撃を終えた後、コートに戻ることができる

4-５３　競技開始 1 分後、黒チームの 3 番と白チームの 6 番との攻防で、黒チームの 3 番は負傷し倒れた。レフェリーは白チームの 6 番に対し、口頭で注意をした。黒チームの 3 番はレフェリーに治療を求め、コート上での治療を受けた後、競技可能となった。

(a) 黒チームの 3 番は、そのまま競技を続けることができる

(b) 黒チームの 3 番は、速やかにコートから出なければならず、自チームが 3 回の攻撃を終えた後、コートに戻ることができる

4-５４　黒チームの速攻中、黒チームの 2 番がドリブルをしていたら、白チームの 10 番に押された。黒チームの 2 番は身体のコントロールを失いながらも、黒チームの 4 番へパスをし、黒チームの 4 番は得点を決めた。得点後、防御のため戻る最中に、黒チームの 4 番は足首を捻った。レフェリーは競技を中断し、白チームの 10 番を 2 分間の退場とし、黒チームの 4 番への治療行為のために、参加資格のある者のうち 2 名までの入場許可を与えた。30 秒後、黒チームの 4 番は競技可能となった。

(a) 黒チームの 4 番は、そのまま競技を続けることができる

(b) 黒チームの 4 番は、速やかにコートから出なければならず、自チームが 3 回の攻撃を終えた後、コートに戻ることができる

4-５５　白チームの 11 番が打ったシュートが、防御をしていた黒チームの 2 番の顔に当たり、治療が必要となった。20 秒後、黒チームの 2 番は競技可能となった。

(a) 黒チームの 2 番は、ボールが顔に当たったことによる治療行為のため、そのまま競技を続けることができる

(b) 黒チームの 2 番は、速やかにコートから出なければならず、自チームが 3 回の攻撃を終えた後、コートに戻ることができる

4−５６　黒チームの 2 番はシュートを打った後、脚を負傷したため白チームのゴールエリア内に倒れ、治療を要求した。ちょうどそのとき白チームは、クイックスローオフを開始した。

(a) レフェリーはジェスチャー 15 と 16 を示し直ちに競技を中断し、黒チームの 2 番への治療行為のため、黒チームに入場許可を与える

(b) レフェリーは白チームの速攻の結果を待って競技を中断し、黒チームの 2 番への治療行為のため、黒チームに入場許可を与える

4−５７　白チームの 2 番は肘のサポーターなしに、ウォーミングアップをしていた。ゲーム開始から 5 分後、白チームがボールを保持した際に、白チームの 2 番は正しく交代しコート内に入った。そのときレフェリーは、白チームの 2 番が硬い素材部分が覆われていない肘のサポーターを着用していることに気付いた。

(a) 硬い素材部分が覆われていない肘のサポーターの着用は許されるので、競技をそのまま続行する

(b) レフェリーは競技を中断。白チームの 2 番はコートから去らなければならない。白チームの 2 番は、肘のサポーターを外すか、硬い素材部分を覆うなど違反を正すことで、コートに戻ることができる

(c) レフェリーは競技を中断。白チームの 2 番はコートから去らなければならない。白チームの 2 番は、肘のサポーターを外すことで、コートに戻ることができる

(d) 白チームの 2 番に、段階的罰則を適用する

(e) 白チームのチーム責任者に、段階的罰則を適用する

(f) 白チームのフリースローとする

(g) 相手チームのフリースローとする

4-５８　白チームが、黒チームのフリースローライン付近で攻撃中、白チームの 7 番が白色のユニホームの上から黄色のジャージを着たまま､通常の交代によりコートの中に入った。

(a) レフェリーは競技を中断。白チームの 7 番はプレーを続ける前に、黄色のジャージを脱がなければならない

(b) 黒チームのフリースローとする

(c) 白チームの 7 番を、2 分間退場とする

(d) 白チームのフリースローとする

4-５９　白チームの攻撃中、タイムキーパーが競技を中断した。タイムキーパーはレフェリーに対し、「今、コート上にいる白チームの 11 番は、記録用紙に記載されていない」と説明した。チーム役員 A が、誤って 13 番としてメンバー表を提出していたことが分かった。

(a) 白チームのフリースロー

(b) 相手チームのフリースロー

(c) 白チームの 11 番の参加は、認められない

(d) 間違いを正し、白チームの 11 番の参加を認める

(e) 連盟や大会の規定に従い、記録用紙または報告書にその旨を特記

(f) 白チームのチーム役員 A に、段階的罰則を適用する

4-60　競技終了 10 秒前、スコアは 29 対 29 であった。白チームのゴールキーパー 12 番はゴールキーパースローを実施し、白チームの 11 番にパスをした。パスを受けた白チームの 11 番は、黒チームのゴールエリアライン近くでノーマークの状態にある白チームの 9 番を見つけた。白チームの 9 番にパスをする前にタイムキーパーが競技を中断し、「黒チームの 4 番がコートから出るよりも先に、黒チームの 2 番がコート内に入った」と説明した。

(a) タイムアウト

(b) 白チームのフリースロー

(c) 白チームの 7 m スロー

(d) 黒チームの 2 番を、2 分間退場とする

(e) （レッドカードを示し）黒チームの 2 番を、報告書を伴わない失格とする

★4-61　競技終了 10 秒前、スコアは 29 対 29 であった。白チームのゴールキーパー 12 番はゴールキーパースローを実施し、白チームの 11 番にパスをした。パスを受けた白チームの 11 番は、黒チームのゴールエリアライン近くでノーマークの状態にある白チームの 9 番を見つけた。白チームの 11 番は、白チームの 9 番にパスをした。パスを受け取った白チームの 9 番がシュートを打つ前に、TO が競技を中断し、「黒チームの 4 番がコートから出るよりも先に、黒チームの 2 番がコート内に入った」と説明した。

(a) タイムアウト

(b) 白チームのフリースロー

(c) 白チームの 7 m スロー

(d) 黒チームの 2 番を、2 分間退場とする

(e) （レッドカードを示し）黒チームの 2 番を、報告書を伴わない失格とする

(f) TO は、明らかな得点チャンスの状況が終了するまで、競技の中断は待つべきであった

★4-62　ビデオ判定システムを採用する試合で、白チームの速攻中、白チームの 7 番がセンターラインでボールを持った瞬間、黒チームの 9 番が余計なプレーヤーとしてコートに入った。白チームの 7 番からパスを受けた白チームの 11 番が明らかな得点チャンスを得た瞬間、TO は余計なプレーヤーがコートに入ったため、笛を吹いた。

(a) ビデオ判定システムを使用して、どのプレーヤーがいつ入場したのか確認する

(b) 黒チームの 9 番を、2 分間退場とする

(c) タイムアウト

(d) 黒チームの 9 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカード）

(e) 黒チームの 9 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）

(f) 白チームのフリースロー

(g) 白チームの 7 m スロー

(h) TO は、明らかな得点チャンスの状況が終了するまで、競技の中断は待つべきであった

第 5 条　ゴールキーパー

5－1　　黒チームのゴールキーパー 1 番は、シュートを止めた。すぐに速攻を開始するために走り出した味方のプレーヤーにボールを投げようとしたが、その際、左足でゴールエリアラインを踏み越した。

(a) そのまま競技を続行

(b) 相手チームのフリースロー

(c) 笛の合図の後に、ゴールキーパースローを再度実施

5－2　　白チームのゴールキーパー 12 番はゴールエリアを出て、プレーイングエリアに立っていた。味方からのボールを受け取るときに、片足がゴールエリアに入ってしまった（他方の足は、プレーイングエリアに残っていた)。

(a) 相手チームの 7 m スロー

(b) そのまま競技を続行

(c) 相手チームのフリースロー

(d) 白チームのゴールキーパー 12 番を、2 分間退場

★5－3　　白チームのゴールキーパー 12 番は、プレーイングエリアに向かって転がっているボールに飛びついた。白チームの 12 番はボールに追いついたが、そのままゴールエリアラインを滑り越え、プレーイングエリアで味方のプレーヤーにパスをした。

(a) 相手チームのフリースロー

(b) そのまま競技を続行

(c) 笛の合図の後に、白チームのゴールキーパースロー

5-4　黒チームのゴールキーパー 1 番は、シュートを止めた。ボールはプレーイングエリアに向かって転がっていった。ゴールエリアライン近くで待ち構えている白チームの 15 番がボールをキャッチすることを防ぐため、ボールに届く直前に、黒チームのゴールキーパー 1 番は、片足でボールの転がる向きを変えてアウターゴールラインの外へ出した。

(a) 白チームの 7 m スロー

(b) 白チームのフリースロー

(c) そのまま競技を続行

(d) 相手を危険にさらしたため、黒チームのゴールキーパー 1 番に、段階的罰則を適用

5-5　ゴールエリア内にいる白チームのゴールキーパー 12 番は、ボールをコントロールし損なってしまい、ボールはゴールエリアからサイドラインの方へと向かっていった。そのため白チームのゴールキーパー 12 番は、片足を使ってボールをアウターゴールラインの外へと出した。

(a) 白チームのゴールキーパースロー

(b) 相手チームのフリースロー

(c) 相手チームのスローイン

(d) 白チームのゴールキーパー 12 番に、段階的罰則を適用

5-6　白チームのゴールキーパー 1 番はシュートを止めたが、ボールはプレーイングエリアで一人待ち構えていた黒チームの 6 番の方へと向かって転がっていった。ボールがゴールエリアライン上にきたとき、白チームのゴールキーパー 1 番は、片足でそのボールを止めた。

(a) 笛の合図の後に、白チームのゴールキーパースロー

(b) 白チームのゴールキーパー 1 番に、段階的罰則を適用

(c) 黒チームのフリースロー

(d) 黒チームの 7 m スロー

5-7　黒チームの 18 番が打ったシュートは、白チームの 7 番によってブロックされた。それによりボールは方向を変えて、明らかにゴールエリア内のアウターゴールラインを通ってコートの外に出ようとしていた。白チームのゴールキーパー 1 番はボールの後を追いかけていき、アウターゴールラインからボールを蹴り出した。

(a) 白チームのゴールキーパースロー

(b) 黒チームのスローイン

(c) 黒チームのフリースロー

(d) 白チームのゴールキーパー 1 番に、段階的罰則を適用

★5-8　黒チームのゴールキーパー 12 番は、白チーム 7 番からのロングパスをインターセプトするため、ゴールエリア内でジャンプした。黒チーム 12 番は空中でボールをキャッチしそのまま着地したが、片足はゴールエリア内、他方の足はプレーイングエリアであった。この位置から、黒チーム 3 番へボールを投げた。

(a) 白チームの 7 m スロー

(b) そのまま競技を続行

(c) 白チームのフリースロー

(d) 位置を正し、笛の合図の後にゴールキーパースロー

5-9　白チームの 9 番がプレーイングエリアにいる白チームのゴールキーパー 1 番にパスをしようとした。白チームの 9 番は黒チームのプレーヤーにパスコースを狭められたため、パスが高くなりすぎた。その結果、白チームの 1 番は後ろに下がらなければならず、ボールをキャッチした直後に、片足がゴールエリア内に入った。

(a) そのまま競技を続行

(b) タイムアウト

(c) 黒チームの 7 m スロー

(d) 黒チームのフリースロー

5－１０　白チームのゴールエリアライン近くで、レフェリーは白チームにフリースローを与えた。白チームのゴールキーパー 1 番は片足をゴールエリア内に、他方の足をプレーイングエリアの正しい位置に置いて立ち、白チームの 8 番にボールを投げた。そのボールをキャッチした白チームの 8 番は、シュートを決めた。

(a) 白チームの得点

(b) 白チームのゴールエリアの外から、白チームのフリースローを再度実施

(c) 白チームのゴールエリアラインに沿って、相手チームのフリースロー

(d) 相手チームのゴールキーパースロー

(e) 白チームの 7 m スロー

5－１１　黒チームの 21 番が 4 歩以上歩いたため、レフェリーは笛を吹いた。黒チームの 21 番は、直ちに白チームのゴールエリアライン近くにボールを置いた。白チームのゴールキーパー 12 番は早くフリースローを行いたかったので、片足をゴールエリア内に残したまま、プレーイングエリアに片手をついて身体を支え、この姿勢で白チームの 3 番にボールを出した。速攻を行うため走り出していた白チームの 3 番は、ボールをキャッチしシュートを決めた。

(a) 笛の合図の後に、白チームのフリースローを再度実施

(b) 白チームの得点

(c) 白チームの 12 番が行なったフリースローは違反であり、黒チームのフリースローとする

(d) タイムアウト

5-I２　黒チームのゴールキーパー 1 番は、ゴールエリアを離れてプレーイングエリアにいた。味方のプレーヤーからのパスをキャッチするため、黒チームの 1 番はプレーイングエリアでジャンプした。その後、空中でボールをキャッチし、ゴールエリア内に両足で着地した。

(a) そのまま競技を続行

(b) 黒チームのゴールキーパースロー

(c) 相手チームのフリースロー

(d) 相手チームの 7 m スロー

(e) タイムアウト

5-I３　白チームのゴールエリアのすぐ外側の床に、ボールが止まっていた。白チームのゴールキーパー 1 番は、黒チームにボールを取られないよう、ゴールエリア内からそのボールを拾い上げた。

(a) 黒チームのフリースロー

(b) 黒チームの 7 m スロー

(c) 白チームのゴールキーパー 1 番に、段階的罰則を適用

(d) この行為は許されており、競技をそのまま続行

第 6 条　ゴールエリア

6-1　ゴールエリアライン上に止まっているボールを、攻撃側の白チームの 7 番が拾い上げた際に明らかな得点チャンスを得たが、違反によって妨害された。

(a) 相手チームのフリースロー

(b) 白チームのフリースロー

(c) 白チームの 7 m スロー

(d) 相手チームのゴールキーパースロー

6-2　白チームのゴールエリアの中を転がっているボールを、黒チームの 8 番が拾い上げ、得点を決めた。

(a) 白チームのフリースロー

(b) 白チームのゴールキーパースロー

(c) 得点

(d) スローオフ

6-3　プレーイングエリアに立っていた白チームの 3 番は、白チームのゴールキーパーが弾いたボールをキャッチした。黒チームの 10 番が正当なプレーで防御したため、白チーム 3 番は自陣のゴールエリア内にボールを数回バウンドさせた。

(a) そのまま競技を続行

(b) 黒チームの 7 m スロー

(c) 黒チームのフリースロー

(d) 白チームのフリースロー

6-4　黒チームのゴールエリア際で立っていた白チームの 7 番は、黒チームのゴールエリア上の空中にあるボールをキャッチし、シュートを決めた。

(a) 白チームの得点

(b) 黒チームのフリースロー

(c) 黒チームのゴールキーパースロー

(d) 笛の合図の後に、黒チームのゴールキーパースロー

6-5　ボールを所持していた白チームの 8 番は、数名の黒チームのプレーヤーから正当に防御されたため、故意に自陣のゴールエリア内へとボールを転がしたところ、ボールがゴールエリア内で止まってしまった。白チームのゴールキーパー 1 番は、そのボールを拾わなかった。

(a) 白チームのゴールキーパースロー

(b) 笛の合図の後に、白チームのゴールキーパースロー

(c) 黒チームの 7 m スロー

(d) 黒チームのフリースロー

6-6　白チームの 5 番は、故意に自陣のゴールエリア内にボールを戻した。ボールはゴールポストに当たって跳ね返り、プレーイングエリアに向かって転がっていった。白チームのゴールキーパー 12 番は、ゴールエリア内でそのボールを拾い上げて白チーム 7 番にパスをし、7 番はシュートを決めた。

(a) 相手チームの 7 m スロー

(b) 得点

(c) 相手チームのフリースロー

(d) 白チームのゴールキーパースロー

6-7　黒チームの得点後、引き続き白チーム 10 番がスローオフの位置についた。白チーム 10 番は、ボールを受け取る用意ができている味方のプレーヤーを見つけることができず、ゴールエリア内にいる白チームのゴールキーパー 12 番にボールを投げた。驚いた 12 番はボールをキャッチし、白チーム 9 番に投げた。

(a) そのまま競技を続行

(b) 黒チームの 7 m スロー

(c) 黒チームのフリースロー

(d) 位置を正し、再度スローオフ

6-8　防御側の黒チーム 7 番は、白チームのピボットプレーヤー 9 番にボールが渡るとゴールキーパーと 1 対 1 になると判断したため、パスを妨害するために先ほどと同じように白チームの 9 番に向かってゴールエリアの中を走り出した。9 番がボールをキャッチしたとき、すでに黒チームの 7 番はゴールエリアを出て、プレーイングエリアにいた。次の瞬間に 9 番は振り向き、正面から黒チームの 7 番にぶつかった。

(a) 白チームの 7 m スロー

(b) 白チームのフリースロー

(c) 黒チームのフリースロー

(d) 黒チームの 7 番に、段階的罰則を適用

6-9　ボールは黒チームのゴールキーパー 1 番に当たって跳ね返り、ゴールエリアライン近くで待ち構えている白チームの 4 番に向かっていった。防御側の黒チーム 2 番は、明らかな得点チャンスを妨害するためゴールエリアに侵入し、白チーム 4 番がボールをキャッチするのを妨害した。

(a) 白チームのフリースロー

(b) 白チームの 7 m スロー

(c) 黒チームの 2 番に、段階的罰則を適用

(d) 黒チームの 2 番を、失格（レフェリーはレッドカードを示す）

6-10　白チームの 10 番は、自陣のゴールエリアの方向にボールを戻した。白チームのゴールキーパー 1 番は、ゴールエリア上でジャンプして空中でボールをキャッチした。ボールをしっかりと持ったままゴールエリアの外側へと着地した。

(a) そのまま競技を続行

(b) 白チームのゴールキーパースロー

(c) 相手チームのフリースロー

(d) 相手チームの 7 m スロー

6-11　白チームの 11 番は、自陣のゴールエリアの方向にボールを戻した。白チームのゴールキーパー 1 番は、ゴールエリア上でジャンプして空中でボールをキャッチした。ボールを持ったまま着地したが、片足はゴールエリアの中、他方の足はプレーイングエリア上であった。

(a) そのまま競技を続行

(b) 白チームのゴールキーパースロー

(c) 相手チームのフリースロー

(d) 相手チームの 7 m スロー

6－１２　白チーム 7 番は、ボールを持ったまま黒チームのゴールエリアに侵入した。

(a) 黒チームのフリースロー

(b) 黒チームのゴールキーパースロー

(c) 笛の合図の後に、黒チームのゴールキーパースロー

(d) 笛の合図の後に、黒チームのフリースロー

6－１３　ボールが白チームのゴールエリア内で止まっているときに、白チームの 5 番が不正交代したため、タイムキーパーが笛を鳴らした。

(a) 白チームのゴールキーパースロー

(b) 白チームの 5 番を、2 分間退場

(c) 白チームのフリースローラインから、相手チームのフリースロー

(d) 白チームの交代地域前から、相手チームのフリースロー

6－１４　ゴールキーパースローを判定すべき状況は、次のうちどれか。

(a) ボールを持っている攻撃側チームのプレーヤーが、相手チームのゴールエリアに侵入したとき

(b) ボールを持っていない攻撃側チームのプレーヤーが、相手チームのゴールエリアに侵入し、これによって有利になったとき

(c) 攻撃側チームのプレーヤーが、相手チームのアウターゴールラインを越えて、コート外にボールを出したとき

(d) ボールを持っているプレーヤーが、自チームのゴールエリアに侵入したとき

6-15　白チームの攻撃中、ゴールエリアラインに沿って立っていた黒チームの 4 番は、手を伸ばして、空中にあったボールをゴールエリア内に向けてはたいた。ボールは黒チームのゴールキーパー 1 番が触れた後、アウターゴールラインを通過してコートの外に出た。

(a) 白チームのスローイン

(b) 白チームのフリースロー

(c) 白チームの 7 m スロー

(d) 黒チームのゴールキーパースロー

(e) 黒チームの 4 番に、段階的罰則を適用

6-16　白チームのゴールキーパー 12 番はシュートを防ぎ、ゴールエリア内でボールをコントロールしている。12 番がまだ手にボールを持っている時に、白チームの 10 番が不正交代をしたためタイムキーパーが笛を吹いた。

(a) 白チームの交代地域前から、相手チームのフリースロー

(b) タイムアウト

(c) 白チームのゴールキーパースロー

(d) 白チームの 10 番を、2 分間退場

(e) 白チームのフリースローラインから、相手チームのフリースロー

6-17　白チームの 4 番がゴールエリアの方向へ投げたボールに対し、白チームのゴールキーパー 12 番は、ゴールエリアのすぐ外側からジャンプして空中でボールをキャッチした。そしてそのまま、ボールをアウターゴールラインからコート外に投げ出し、ゴールエリア内に着地した。

(a) 白チームのゴールキーパースロー

(b) 相手チームのスローイン

(c) 相手チームのフリースロー

(d) 白チームの 12 番に、警告

6-18　黒チームのゴールキーパー 1 番は、白チーム 9 番が放ったシュートを防いだ際に負傷してしまった。ボールがプレーイングエリアで待ち構えている黒チームのプレーヤーの方へとゴールエリア内を転がっている最中に、レフェリーは競技を中断した。

(a) 白チームのフリースロー

(b) 黒チームのゴールキーパースロー

(c) 黒チームのフリースロー

6-19　白チームのゴールエリア内をボールが転がっているとき、白チームの 5 番が不正交代をしたためタイムキーパーが笛を吹いた。

(a) 白チームのゴールキーパースロー

(b) 白チームの 5 番を、2 分間退場

(c) 白チームのフリースローラインから、相手チームのフリースロー

(d) 白チームの交代地域前から、相手チームのフリースロー

6-２０　白チームの 5 番が放ったシュートは、黒チームのゴールキーパー 12 番によって止められた。そのボールは、一人で待ち構えている白チームのピボットプレーヤー 11 番の方へと向かいながら、ゴールエリア上の空中にある。防御側の黒チーム 2 番は、このボールに向かってジャンプし、サイドライン方向にボールを弾こうとしたが、ボールについている松やにのため、ゴールキーパーが触れることなくゴールエリア内に止まってしまった。

(a) 黒チームのゴールキーパースロー

(b) 白チームのフリースロー

(c) 白チームの 7 m スロー

(d) 黒チームの 2 番に、段階的罰則を適用

6-２１　黒チームのゴールキーパー 1 番はシュートを防ぎ、速攻を仕掛けようとしている黒チームの 6 番にパスをしようとしている。黒チームの 1 番は、パスをする際にゴールエリアラインに触れていたが、ボールを受け取った黒チームの 6 番は、得点を決めた。

(a) 得点は有効

(b) 相手チームのフリースロー

(c) 笛の合図の後に、再度ゴールキーパースローを実施

(d) 得点は無効

6-２２　速攻を仕掛ける白チームの 6 番は、ジャンプシュートを打ち黒チームのゴールエリア内に倒れこんだ。シュートは黒チームのゴールキーパー 12 番に止められたが、白チームの 11 番はリバウンドを拾い、白チーム 6 番が彼自身とゴールキーパーとの間にまだ倒れている状態でシュートを打ち、得点を決めた。

(a) 白チームの得点

(b) 黒チームのゴールキーパースロー

(c) 黒チームのフリースロー

6-２３　白チームはゴールキーパーが不在の状況で、攻撃を行っている。白チーム 11 番が打ったシュートを止めた黒チームのゴールキーパー 1 番は、ゴールキーパー不在のゴールを狙ってボールを投げた。白チーム 10 番は、ボールがゴールに入るのを阻止するために自チームのゴールエリアの外側からジャンプし、ゴールエリア内の空中でボールに触れた。ボールはアウターゴールラインから出ていき、ボールに触れた白チーム 10 番は、その後ゴールエリアの中に着地した。

(a) 白チームのゴールキーパースロー

(b) 黒チームのフリースロー

(c) 黒チームの 7 m スロー

(d) 黒チームのスローイン

(e) 白チームの 10 番に、段階的罰則を適用

6-２４　白チームはゴールキーパーが不在の状況で、攻撃を行っている。白チームの 11 番が打ったシュートを止めた黒チームのゴールキーパー 1 番は、ゴールキーパー不在のゴールを狙ってボールを投げた。白チームの 10 番は、ボールがゴールに入るのを阻止するために自チームのゴールエリアの外側からジャンプし、ゴールエリア内の空中でボールをキャッチした。そして、ボールを持ったままゴールエリアの中に着地した。

(a) 黒チームのフリースロー

(b) 黒チームの 7 m スロー

(c) 白チームの 10 番を、即座に 2 分間退場

(d) 罰則は不要

★6-２５　白チームのゴールキーパー 12 番は、黒チームの 5 番が打ったシュートを止めた際に、ゴールポストに頭をぶつけ負傷し、床に倒れた。黒チームの 3 番は、跳ね返ってきたボールをゴールエリア際で拾い、明らかな得点チャンスを得た。

(a) 黒チームの 3 番へ、アドバンテージを適用する

(b) 直ちに競技を中断する

(c) 黒チームの 7 m スローで競技を再開する

(d) 黒チームのフリースローで競技を再開する

(e) タイムアウト

(f) レフェリーは、白チーム 12 番の救護のために、コート内へ白チーム 2 名の入場許可を与えることができる

(g) コート上での治療の後、白チームの 12 番はコートから出なければならず、自チームが 3 回の攻撃を終えた後、コートに戻ることができる

(h) コート上での治療の後、白チームの 12 番は、そのまま競技を続けることができる

第 7 条　　ボールの扱い方、パッシブプレー

7-1　　空中でサイドラインの方へと向かっているボールを、白チーム 3 番はサイドラインから出る前に、手で白チーム 7 番にパスをしたが、その際、片足がサイドラインの外に出た。白チーム 7 番はそのボールを受け取り、得点を決めた。

(a) 相手チームのスローイン

(b) 相手チームのフリースロー

(c) 得点

(d) 白チームの 3 番を、2 分間退場

7-2　　黒チームの 3 番は、黒チームの 11 番にパスが成功するかどうか分からないリスクを伴うパスを出した。黒チーム 11 番は、ボールが空中にある時点でキャッチできないと判断し、コート中央にいた黒チームの 9 番に向けてボールをこぶしで叩いた。

(a) そのまま競技を続行

(b) 黒チームの 9 番の位置から、相手チームのフリースロー

(c) 黒チームの 11 番の位置から、相手チームのフリースロー

(d) 黒チームの 11 番を、2 分間退場

7−3　白チームの 4 番が立った状態でボールをキャッチした。その状態からジャンプして右足で着地し、次に左足でジャンプしてボールを投げた。何歩動いたことになるか。

(a) 1

(b) 2

(c) 3

(d) 4

7−4　プレーヤーが味方からのパスをジャンプしてキャッチし、両足同時に着地した。その後、右足をあげて横に 1 歩ステップを踏み、左足を右足のところまで引きずり寄せた。このプレーヤーは何歩動いたことになるか。

(a) 1

(b) 3

(c) 0

(d) 2

7−5　プレーヤーが空中で味方からのパスをキャッチし、右足で着地した。そのままその足で移動し、まず左足で着地、それから右足を床に下ろしてからパスをした。このプレーヤーは何歩動いたことになるか。

(a) 3

(b) 2

(c) 1

(d) 0

7-6　白チームの 5 番はボールをファンブルしたが、その後しっかりとキャッチした。そして 3 歩動き、一度ボールを弾ませてからさらに 3 歩動いてシュートを決めた。

(a) 相手チームのフリースロー

(b) 得点

(c) 相手チームのゴールキーパースロー

(d) 相手チームのスローイン

7-7　白チームの 5 番は、攻撃を開始しようとボールをドリブルしながら 5 歩進み、それからボールを再びキャッチし、パスをした。

(a) 相手チームのフリースロー

(b) 白チームのフリースロー

(c) そのまま競技を続行

(d) 相手チームの 7 m スロー

7-8　黒チームの 6 番はボールをキャッチしたが滑って倒れてしまい、そのまま仰向けの状態で黒チームの 9 番にパスをした。

(a) 相手チームのフリースロー

(b) そのまま競技を続行

(c) 黒チームのフリースロー

7-9　白チームの 3 番は、走りながら前方にボールを放り投げて相手プレーヤー 2 人の間をすり抜け、ボールが床につく前に再びキャッチした。そのため黒チームのゴール前でノーマークの状態となり、そこからボールを一度弾ませてシュートを決めた。

(a) 得点

(b) 黒チームのフリースロー

(c) 黒チームのゴールキーパースロー

7-10　白チームの 7 番は、ボールを一度ドリブルして白チームの 5 番にパスをしようとしたが、白チームの 5 番は黒チームのプレーヤーに防御されている。白チームの 7 番は、戸惑ってボールを手から落としてしまったが、床に落ちる前に再びキャッチした。

(a) そのまま競技を続行

(b) 黒チームのフリースロー

(c) 白チームのフリースロー

7-11　パッシブプレーの違反を繰り返した場合、どのように対処するか。

(a) フリースローと警告

(b) フリースローと 2 分間退場

(c) フリースロー

(d) フリースローと失格（レフェリーはレッドカードを示す）

7-I２　白チームの 4 番がシュートしたボールは、黒チームのゴールポストに当たって跳ね返り、ゴールエリア内のゴール近くに立っていたレフェリーに当たった。そのためボールは、アウターゴールラインではなく、サイドラインを越えてコートの外に出てしまった。

(a) 白チームのフリースロー

(b) 黒チームのスローイン

(c) 黒チームのゴールキーパースロー

7-I３　白チーム 5 番がスローインを行なったが、コート内でレフェリーに当たり、黒チームのゴールに入ってしまった。

(a) 笛の合図の後に、再度スローインを実施

(b) 黒チームのフリースロー

(c) 白チームのフリースロー

(d) 白チームの得点

7-I４　黒チーム 3 番が打ったジャンプシュートは、白チームの 9 番によってブロックされた。コートに落ちたボールを白チームの 9 番が両手で拾い上げ、ドリブルで速攻を開始、そのまま黒チームのゴールにシュートを決めた。

(a) 白チームの得点

(b) 黒チームのフリースロー

(c) 白チームの 9 番を、2 分間退場

(d) タイムアウト

7-15　白チームの 5 番が、サイドラインに沿ってドリブルをしていた。白チームの 5 番は、正当に進路を塞いだ黒チームの 2 番をかわそうと、ドリブルをしながら片方の足がサイドラインを踏み越えた。

(a) 白チームのフリースロー

(b) 黒チームのスローイン

(c) 黒チームのフリースロー

(d) そのまま競技を続行

7-16　白チームの 3 番が白チームの 9 番へのパスに失敗し、ボールは白チームの交代地域近くのサイドラインに向かって転がっていった。1 m 先で黒チームの 10 番がボールを待ち構えていたため、白チームの 9 番はボールに飛びつきコート中央にいる白チームの 3 番に向けてボールをこぶしで叩いた。その後、白チームの 9 番は、勢い余ってサイドラインを滑り越えた。

(a) そのまま競技を続行

(b) 黒チームのフリースロー

(c) 白チームの 9 番に、段階的罰則を適用

(d) 黒チームのスローイン

7-17　攻撃中の黒チーム 7 番は、ボールを持たずにコートの外に位置を取っている。レフェリーがコート内に戻るよう指示したが、彼はそれに従わなかった。

(a) そのまま競技を続行

(b) 相手チームのフリースロー

(c) 黒チームの 7 番に、段階的罰則を適用

(d) 相手チームのスローイン

7-１８　プレーヤーは、ボールも身体も十分にコントロールした状態で、相手チームのゴールエリア上に飛び込んだ。絶好のシュートチャンスとなったが、シュートを打たずに空中で向きを変え、味方のプレーヤーにボールを戻した。ボールを受け取ったプレーヤーはさらにパスをした。

(a) パッシブプレーの予告合図を示す

(b) パッシブプレーにより、直ちにフリースローを判定する

(c) スポーツマンシップに反する行為により、直ちにフリースローを判定する

(d) 段階的罰則を適用

7-１９　白チーム 3 番は黒チームのゴールに向かってシュートを打ったが、ボールはゴールポストに当たって跳ね返ってきた。フリースローライン付近で、白チームの 3 番と黒チームの 4 番は、互いに危害を加えることなくボールに飛びついた。黒チームの 4 番はかろうじて黒チームの 6 番に向けてボールをたたき、黒チームの 6 番は速攻を開始してシュートを決めた。

(a) 黒チームの 4 番に警告

(b) 黒チームの得点

(c) 状況に応じて、白または黒チームのフリースローとする

(d) 黒チームのゴールキーパースロー

7-２０　白チーム 10 番は、黒チームのゴールライン近くにいる白チーム 8 番にパスを出したが、白チームの 8 番の前に静止の状態で立っていた黒チーム 10 番の足にボールが当たった。

(a) 白チームのフリースロー

(b) そのまま競技を続行

(c) その後、誰がボールを保持したかによる

7-21　白チームの 15 番は黒チームの 9 番からのパスをブロックした後、ボールは床を転がっている。両者がそのボールに飛びつき、白チームの 15 番がキャッチして床を滑った後、立ち上がってボールを持ったまま 3 歩動いてから味方にパスをした。パスを受けたプレーヤーは、シュートを決めた。

(a) 白チームの得点

(b) 黒チームのフリースロー

7-22　後半 27 分に白チームが 24 対 23 でリードしているが、コート上、白チームのプレーヤーは 1 名少ない状態だった。コートレフェリーが白チームにフリースローを与えたが、レフェリーが正しい位置をはっきりと示しているにも関わらず、白チームの 6 番は、明らかに数 m 離れた位置からフリースローを行おうとした。

(a) レフェリーは誤った位置を正し、再開の笛の合図をするだけでよい

(b) レフェリーは誤った位置を正し、再開の笛の合図をし、パッシブプレーの予告合図を示す

(c) レフェリーは誤った位置を正し、白チームの 6 番に段階的罰則を適用、その後再開の笛の合図とパッシブプレーの予告合図を示す

7−２３　黒チームのプレーヤーは、1 人少ない状態でプレーしている。黒チームは攻撃隊形を整え組立て局面に入ったが、この段階で黒チームの 6 番と 8 番は、交代のためにコートを離れることにした。

(a) パッシブプレーの予告合図を示す

(b) 5 秒以内に攻撃のペースが上がらなければ、パッシブプレーの予告合図を示す

(c) パッシブプレーにより、直ちに相手チームにフリースローを与える

(d) 繰り返しであった場合、黒チームの 6 番または 8 番を警告とする

(e) 繰り返しであった場合、黒チームの 6 番または 8 番を 2 分間退場とする

7−２４　パッシブプレーの予告合図が取り消されるのはどのような場合か。

(a) ゴールキーパーが 7 m スローを防いだ後、攻撃側チームがボールを再び保持したとき

(b) クロスバーかゴールポストに当たったリバウンドボールが、再び攻撃側チームへ戻ったとき

(c) チームタイムアウトを申請したとき

(d) チームが再び消極的になる前に、力強いプレーを行なったとき

(e) 上記（a）～（d）のすべての状況

7-２５　パッシブプレーの予告合図（ジェスチャー 17）に関する正しい記述はどれか。

(a) パッシブプレーの兆候が見られたら、最初にゴールレフェリーがジェスチャー 17 を示し、続いてコートレフェリーが同じように予告合図を示す

(b) 予告合図の後に攻撃側がチームタイムアウトを請求した場合、競技の再開時には再び、予告合図を示さなければならない

(c) 予告合図の後に攻撃側チームにシュートを打とうとする動きが見られない場合、コートレフェリーまたはゴールレフェリーのどちらかが、パッシブプレーの違反により相手チームにフリースローを与える

(d) 予告合図が示され、攻撃側チームが 4 回のパスの後にゴールに向かってシュートを打つことなく味方にパスをしたならば、レフェリーは 5 回目のパスをキャッチした際にパッシブプレーの違反を判定する

7-２６　白チームがスローオフの実施を遅らせている。チームはこの行為に対して、すでに注意を受けていた。

(a) そのまま競技を続行

(b) タイムアウトを取り、笛の合図の後にスローオフ

(c) タイムアウトを取り、スローオフの笛の合図の後に、直ちにパッシブプレーの予告合図を示す

(d) スローオフの笛の合図の後に、直ちにパッシブプレーの予告合図を示す

(e) 白チームのチーム責任者に、段階的罰則を適用

7−２７　パッシブプレーの予告合図に関して、次の中で正しいものはどれか。

(a) 攻撃中に防御側のチーム役員が段階的罰則を受けた場合、予告合図は常に取り消される

(b) 攻撃中に初めて予告合図を示した場合、約 10 秒後に腕を下ろす

(c) 競技の中断前に予告合図を示した場合、1 回目の中断後は予告合図を継続して示さなければならない

(d) 攻撃中に防御側チームのプレーヤーに段階的罰則が適用された場合、予告合図は常に取り消される

(e) プレーヤーが明らかにボールを保持しているときに、レフェリーは予告合図を示さなければならない

7−２８　パッシブプレーに関する正しい記述はどれか。

(a) 組立て局面から最終局面に至るまで、5 秒以上は許されない

(b) レフェリーはスローオフの後、ゆっくりとした交代や遅れての交代に注意を払わなければならない

(c) レフェリーはチームが組立て局面において、攻撃のペースを上げようとしているか、あるいは有利な空間を作ろうとしているかを観察しなければならない

(d) レフェリーはチームが自陣でボールを所持したときから、パッシブプレーに気をつけなければならない

(e) 速攻を仕掛けたチームが通常の組立て局面に切り替えたとき、レフェリーは通常の交代を認めなければならない

7−２９　白チームがボールを所持しているときに、レフェリーはパッシブプレーの予告合図を示した。１回のパスの後、白チームの 5 番はゴールに向けてシュートを打ったが、黒チームの 2 番にブロックされた。ボールは白チームの 5 番のところへ戻ってきたので、それを拾い上げ、白チームの 9 番にパスをした。何回のパスが完了しているか。

(a) 3

(b) 4

(c) 5

7−３０　白チームがボールを所持しているときに、レフェリーはパッシブプレーの予告合図を示した。白チーム 9 番は白チーム 2 番にパスを試みたが、黒チーム 8 番にブロックされた。ボールは白チーム 9 番のところへ戻ってきたので、それを拾い上げ、防御側プレーヤーの間を攻めようとしたが、フリースローとなった。白チーム 8 番がフリースローを行い、白チーム 2 番がキャッチした。何回のパスが完了しているか。

(a) 1

(b) 2

(c) 3

7-３１　白チームがボールを所持しているとき、レフェリーは白チームの消極的なプレーを認識したため、パッシブプレーの予告合図を示した。それに気付いた黒チームは、フリースローを得ようとさらに積極的な防御活動を行った。白チームの 3 回のパスの後、黒チームの違反によってフリースローとなった。

(a) 白チームは、あと 4 回のパスでシュートを打たなければならない

(b) 白チームは、あと 2 回のパスでシュートを打たなければならない

(c) 白チームは、あと 1 回のパスでシュートを打たなければならない

(d) 白チームは、フリースローから直接シュートを打たなければならない

7-３２　白チームがボールを所持しているとき、レフェリーは白チームの消極的なプレーを認識したためパッシブプレーの予告合図を示した。白チームの 9 番がシュートを打つ前に、すでに 4 回のパスが行われており、シュートは黒チームの 3 番によってブロックされた。ボールはサイドラインを越え、白チームのスローインとなった。

(a) 予告合図は取り消される

(b) 白チームは、あと 4 回のパスでシュートを打たなければならない

(c) 白チームは、あと 2 回のパスでシュートを打たなければならない

(d) 白チームは、あと 1 回のパスでシュートを打たなければならない

7−３３　白チームがボールを所持しているとき、レフェリーは白チームの消極的なプレーを認識したためパッシブプレーの予告合図を示した。4 回のパスの後、白チーム 5 番はシュートを打ったが、黒チーム 3 番にブロックされ、ボールは白チーム 5 番に戻った。

(a) 黒チームのフリースロー

(b) 白チームは、あと 1 回のパスでシュートを打たなければならない

(c) 予告合図は継続となる

(d) 予告合図は取り消される

(e) 白チームは、シュートを打つ前に 1 回もパスをすることはできない

7−３４　黒チームがボールを所持している。レフェリーがパッシブプレーの予告合図を示した。黒チーム 7 番は黒チーム 11 番にパスをし、 パスを受け取った黒チーム 11 番はカットインを試みた。しかし白チーム 3 番に守られてしまったため、レフェリーは黒チームにフリースローを与えた。黒チーム 11 番は正しい位置から黒チーム 2 番にパスし、黒チーム 2 番はシュートを打った。しかし、そのシュートは白チーム 4 番によってブロックされ、黒チーム 11 番がボールを所持した。黒チーム 11 番はそのままシュートを打ったが、その際、白チーム 5 番から軽く押されてしまった。シュートは、白チームのゴールキーパー 1 番に止められた。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 黒チームのフリースローとする。また、シュート後に黒チームがボールを所持しているため、**新たな組み立て局面の機会を与える**

(b) 黒チームのフリースローとする。パッシブプレーの予告合図を継続。黒チームは、予告合図後、これまでに 2 回のパスをしている

(c) 黒チームのフリースローとする。パッシブプレーの予告合図を継続。黒チームは、予告合図後、これまでに 3 回のパスをしている

(d) 黒チームのフリースローとする。パッシブプレーの予告合図を継続。黒チームは、予告合図後、これまでに 4 回のパスをしている

7−３５　競技終了 20 秒前、得点は 27 対 27。白チームがゴールキーパー不在の状況で攻撃をしている中、レフェリーはパッシブプレーの予告合図を示した。3 回のパスの後、白チームの 8 番は味方の 7 番にパスをし、パスを受けた白チーム 7 番はシュートを打った。ボールは黒チームの 2 番にブロックされ、サイドラインの外に出た。スローインが実施された直後、白チームからチームタイムアウトが請求されたため、ジャッジーズテーブルから笛の合図があった。どのようにして競技を再開するか。

(a) 白チームのフリースロー

(b) 白チームのスローイン

(c) スローは直接のシュートとして、実施されなければならない

(d) スローは直接のシュートとして実施することもできるが、スローを行うプレーヤーから味方のプレーヤーに対して、1 回パスをすることができる

7−３６　白チームの攻撃中、レフェリーはパッシブプレーの予告合図を示した。2 回のパスの後、白チームの 7 番はシュートを打った。ボールは黒チームの 8 番にブロックされ、リバウンドを拾った白チームの 8 番はシュートを打った。ボールは再び黒チームの 8 番によってブロックされ、リバウンドを拾った白チームの 8 番は、明らかな得点チャンスを得ている味方の 6 番にパスをした。ボールを受け取った白チームの 6 番は、黒チームの 7 番に背後から引き倒されて、身体のコントロールを完全に失った。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 白チームの 7 m スロー

(b) 黒チームのフリースロー

(c) 黒チームの 7 番を、即座に 2 分間退場とする

(d) （レッドカードを示し）黒チームの 7 番を、失格とする

(e) 白チームのフリースロー

(f) タイムアウト

第 8 条　　違反、スポーツマンシップに反する行為

8-1　　白チームの速攻中、黒チーム 7 番は余計なプレーヤーとしてコートに入り、白チーム 5 番を捕まえて明らかな得点チャンスを妨害した。

(a) 黒チーム 7 番を 2 分間退場

(b) 黒チーム 7 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカード）

(c) 黒チーム 7 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）

(d) フリースロー

(e) 7 m スロー

8-2　　記録用紙に記載されていない黒チーム 8 番は遅れて到着し、ロッカールームから直接コートに走り込んだ。そして、ジャンプシュート中の白チーム 6 番を押して身体のコントロールを失わせ、明らかな得点チャンスを妨害した。

(a) 白チームに 7 m スロー

(b) 白チームにフリースロー

(c) 黒チーム 8 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカード）

(d) 黒チーム 8 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）

(e) 黒チームのチーム責任者に対して、段階的罰則を適用

8-3　休憩時間にロッカールームへ向かう途中で、白チームのチーム役員 B がスポーツマンシップに反する態度でレフェリーに抗議した。白チームは前半のうちに、すでにチーム役員 A が警告となっている。

(a) 白チームのチーム役員 B を、2 分間退場とする

(b) 白チームのチーム役員 B を、失格とする（レッドカードを示す）

(c) 白チームは後半の開始時に、コート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

(d) 罰則の必要はないが、記録用紙にその旨を特記

8-4　白チーム 6 番はすでに 2 回、2 分間退場となっていた。そして今、白チーム 6 番は不正交代をした。レフェリーが不正交代を告げた後、もしも白チーム 6 番が極めてスポーツマンシップに反する行為をしたならば、どのような判定をするか。

(a) 白チーム 6 番を、2 分間退場とする

(b) 白チーム 6 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカード）

(c) 白チーム 6 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）

(d) つまり白チームは、コート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らすことになる

(e) つまり白チームは、コート上のプレーヤーを 2 分間 2 名減らすことになる

(f) つまり白チームは、コート上のプレーヤーを 4 分間 1 名減らすことになる

8-5　白チーム 2 番は 2 分間退場となったが、1 分を経過したところでチーム役員 A は、このプレーヤーをコートへ戻した。タイムキーパーが笛を吹く前に、すでに白チーム 2 番は、黒チームの明らかな得点チャンスを妨害していた。

(a) 黒チームのフリースローとし、白チーム 2 番を、新たに 2 分間退場とする

(b) 黒チームの 7 m スローとし、白チーム 2 番を、新たに 2 分間退場とする。白チームはコート上のプレーヤーを、白チーム 2 番の残りの退場時間、さらに 1 名減らす

(c) 黒チームの 7 m スローとし、白チーム 2 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカードを示す)。白チームはコート上のプレーヤーを、白チーム 2 番の残りの退場時間、さらに 1 名減らす

(d) 黒チームの 7 m スローとし、白チーム 2 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカードを示す)。白チームはコート上のプレーヤーを、白チーム 2 番の残りの退場時間、さらに 1 名減らす

8-6　白チームの攻撃のとき、ボールを持たない白チームのピボットプレーヤー 7 番が、黒チームの 4 番の進路を胴体でブロックしている。

(a) 黒チームのフリースロー

(b) 白チームの 7 番に、段階的罰則を適用

(c) 中断することなく、そのまま競技を続行

8-7　白チームのウィングプレーヤー 4 番が、明らかな得点チャンスを得ている。黒チーム 7 番は開いた片手を使って、白チーム 4 番のボールを取ろうとした。しかしその手は、白チーム 4 番の腕に当たってしまい、白チーム 4 番はシュートを決めることができなかった。

(a) 白チームのフリースロー

(b) 白チームの 7 m スロー

(c) 黒チームの 7 番を、2 分間退場

(d) 黒チームの 7 番を、警告

(e) 黒チームの 7 番への罰則は不要

8-8　白チームの 6 番が速攻に出た。黒チームのゴールキーパー 12 番はゴールエリアから飛び出してボールを得ようとしたが、白チーム 6 番と衝突した。このとき防御側プレーヤーの一人が､白チーム 6 番を正当に止められる状況にあった。

(a) 黒チームの 12 番を、2 分間退場とする

(b) 黒チームの 12 番を、失格とする（レッドカード）

(c) 白チームの 7 m スロー

(d) 白チームのフリースロー

(e) 黒チームの 12 番を､報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）

8-9　白チーム 2 番は相手陣にいる味方のプレーヤーにパスをしようとしたが、そのプレーヤーは黒チーム 5 番に捕まえられている。黒チーム 5 番はボールを持たない相手プレーヤーにぶつかったことにより、すでに警告となっていた。

(a) 白チームのフリースロー

(b) 黒チームの 5 番を、2 分間退場とする

(c) 黒チームの 5 番を、失格とする（レッドカード）

(d) 黒チームの 5 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）

8-10　黒チームのゴールエリア際で、ノーマークの状態にある白チームのピボットプレーヤー 9 番がパスを受け取った。シュートを打とうとしている白チーム 9 番の腕を、黒チームの 2 番が背後から引っ張った。

(a) 白チームのフリースロー

(b) 白チームの 7 m スロー

(c) 黒チームの 2 番を、2 分間退場とする

(d) 黒チームの 2 番を、失格とする（レッドカード）

(e) 黒チームの 2 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）

8-11　競技開始直後、黒チーム 9 番はプッシングにより警告となった。そのすぐ後、黒チーム 7 番は、白チームのピボットプレーヤーを捕まえた。ただし白チームのピボットプレーヤーは、明らかな得点チャンスを得ているわけではなかった。

(a) 白チームのフリースロー

(b) 白チームの 7 m スロー

(c) 黒チームの 7 番を、警告

(d) 黒チームの 7 番を、2 分間退場

8-Ｉ２　白チームの 4 番が、相手陣のゴールエリアライン近くでパスを受け取った。彼の前にはゴールキーパーしかおらず、シュートを打とうとした際に、黒チームの 3 番に引き倒され、ボールを落としてしまった。

(a) 黒チームの 3 番を、警告

(b) 黒チームの 3 番を、即座に 2 分間退場

(c) 黒チームの 3 番を、失格（レッドカードを示す）

(d) 白チームのフリースロー

(e) 白チームの 7 m スロー

8-Ｉ３　プレーヤーが失格（レッドカードのみ、あるいはレッドカードとブルーカードが示される）となるのはどのような場合か。

(a) 相手に対して危害を及ぼす行為をしたとき

(b) コート内外で極めてスポーツマンシップに反する行為をしたとき

(c) コート内でスポーツマンシップに反する行為を繰り返したとき

(d) （明らかな得点チャンスではない場面で）2 分間退場中に不正交代をしたとき

★8-14　白チーム 5 番の速攻中に、黒チームのチーム役員 C がベンチから飛び出して自陣のコート、ゴールエリアの方へと走っていった。白チームの 5 番は驚いて走るのを止めたが、レフェリーは明らかな得点チャンスを得ていたと判断した。黒チームのチーム役員 C が白チーム 5 番に最も接近したときで、その距離は約 10 m であり、黒チームのチーム役員 C は、ボールを所持していた白チーム 5 番の身体には触れていない。

(a) タイムアウト

(b) 白チームのフリースロー

(c) 白チームの 7 m スロー

(d) 黒チームのチーム役員 C を、報告書を伴わない失格とする（レッドカードを示す）

(e) 黒チームのチーム役員 C を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカードを示す）

(f) 黒チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 1 名減らす

(g) TO またはレフェリーは、明らかな得点チャンスが終了するまでアドバンテージルールを適用し、その後、違反に対する笛を吹くことができる

8-I５　白チームは速攻を開始した。白チーム 5 番は、黒チームのゴールエリアライン近くでノーマークの状態になっている白チームの 7 番に、パスを出した。そのとき、黒チームのチーム役員 D がコートに走り込んできて、出されたボールをキャッチした。

(a) 白チームのフリースロー

(b) 白チームの 7 m スロー

(c) 黒チームのチーム役員 D を、2 分間退場

(d) 黒チームのチーム役員 D を、報告書を伴わない失格（レッドカード）

(e) 黒チームのチーム役員 D を、報告書を伴う失格（レッドカードとブルーカード）

(f) 黒チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 1 名減らす

8-I６　「極めてスポーツマンシップに反する行為」すなわち、報告書を伴う失格（レッドカードとブルーカードが示される）に相当する行為はどれか。

(a) コートプレーヤーが、脚の膝より下の部位で繰り返し防御する

(b) チーム役員が明らかな得点チャンスを妨害する

(c) 他者に唾を吐きかける

(d) 時間を浪費するために、繰り返し競技を遅延させる

8-17　両レフェリーが体育館に入ると、記録用紙には記載がないものの、黒チーム 4 番のユニホームを着た人物と出会った。この人物は、「今日もこの間抜けどもが担当するのか！」と叫んだ。競技開始から 12 分が経過したところで、この黒チーム 4 番が、16 番目のプレーヤーとして記録用紙に追加されていたことに両レフェリーは気付いた。

(a) 黒チームの 4 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカード）

(b) 黒チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 1 名減らす

(c) 黒チームはコート上のプレーヤーを減らさずに、競技を続行できる

(d) 黒チームの 4 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）

(e) 黒チームはプレーヤーの数を 16 名とするために、他のプレーヤーを補充することができる

8-18　白チームのフリースローの後、黒チームのチーム役員 C がコートに入ってきて「うちのチームのフリースローだろう！」と叫んだ。黒チームのチーム役員は、まだ誰も罰則を適用されていない。

(a) 黒チームのチーム責任者は、チーム役員 C を体育館外に連れ出さなければならない

(b) 黒チームのチーム役員 C を 2 分間退場とし、黒チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

(c) 黒チームのチーム役員 C を、警告とする

(d) 白チームのフリースロー

8-１９　白チームの 3 番は、コート上での違反により段階的罰則が適用された。競技再開後、ベンチに下がった白チームの 3 番は、レフェリーを侮辱した。

(a) 白チームの 3 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカードを示す)。白チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 1 名減らす

(b) 白チームの 3 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカードを示す)。白チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 1 名減らす

(c) 白チームの 3 番を 2 分間退場とする。白チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 1 名減らす

(d) タイムアウト

8-２０　速攻中、黒チーム 9 番は、白チーム 4 番にユニホームを引っ張られた（すでに白チーム 4 番は、警告となっていた)。それにもかかわらず黒チーム 9 番は、味方の 8 番にボールをパスし、黒チーム 8 番は得点を決めた。その後レフェリーは、白チーム 4 番に罰則を適用しようとしたが、白チーム 4 番はすでに交代しベンチに座っていた。

(a) 白チーム 4 番を 2 分間退場とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

(b) 白チーム 4 番を 2 分間退場とするが、白チームはコート上のプレーヤーを減らさなくてよい

(c) もはや罰則は適用できない

(d) 白チーム 4 番を失格（レッドカードを示す）とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

8-２１　プレーヤーを失格（レッドカードまたはレッドカードとブルーカードが示される）としなければならないのはどのような場合か。

(a) 著しくスポーツマンシップに反する行為をしたとき

(b) 足を使ってパスやシュートを積極的にブロックすることで、明らかな得点チャンスを妨害したとき

(c) 退場時間中に不正交代をしたとき（ただし、明らかな得点チャンスではない）

(d) 相手へのフリースローが判定されたとき、ボールを床に置かなかったとき（ただし、競技終了前 30 秒間ではない）

8-２２　黒チームの攻撃中、白チームの 11 番は相手に危害を及ぼす行為をし、黒チームの 6 番からボールを奪い取った。このとき黒チームの 6 番とゴールの間には、別の白チームのプレーヤー 2 名がいた。

(a) 白チームの 11 番を、2 分間退場

(b) 白チームの 11 番を、失格（レッドカードを示す）

(c) 黒チームの 7 m スロー

(d) 黒チームのフリースロー

8-２３　競技規則により、報告書を伴う失格となる（レッドカードとブルーカードが示される）違反はどれか。

(a) チーム役員が、レフェリーの許可なくコート内に入場する（2 回目）

(b) チーム役員が、自チームに競技を強引に放棄させようとする

(c) 7 m スローの実施の際、ボールの方向へと頭部を動かしていないゴールキーパーの頭部にボールをぶつける

(d) レフェリーの判定の後、これ見よがしにプレーヤーが観客席にボールを投げ込む

(e) コート外にいるプレーヤーが、観客に唾を吐きかける

8−２４　白チーム 3 番は違反により 2 分間退場となり、ベンチに座っていた。ベンチ近くでのスローインの際に、白チーム 3 番はレフェリーに暴言を吐いた。

(a) 白チーム 3 番を、2 分間退場とする

(b) 白チーム 3 番を、報告書を伴わない失格（レッドカードを示す）とし、白チームは直ちに、コート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

(c) 白チームはコート上のプレーヤーを 4 分間 1 名減らす

(d) 白チーム 3 番を、報告書を伴う失格（レッドカードとブルーカードを示す）とし、白チームは直ちに、コート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

8−２５　ミスに失望した白チームの 3 番は、味方のプレーヤーの顔を殴った。

(a) 味方プレーヤーのため、罰則の必要はない

(b) 白チームの 3 番を、2 分間退場とする

(c) 白チームの 3 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカード）

(d) 白チームの 3 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）

8−２６　両レフェリーが体育館に入ると、すでにユニホームを着用している黒チームの 4 番に出会った。出会ってすぐに黒チームの 4 番は、「今日もこの間抜けどもが担当するのか！？」と叫んだ。両レフェリーは、黒チームの 4 番が記録用紙に記載されていることを確認した。

(a) 競技の開始時に、黒チームの 4 番を、2 分間退場とする

(b) 黒チームの 4 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカード）。黒チームは競技の開始時からコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

(c) 黒チームの 4 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）。黒チームは 16 名のプレーヤーを登録できる

(d) 黒チームの 4 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）。黒チームは 16 名のプレーヤーを登録できるが、競技の開始時に、コート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

8−２７　競技の開始前にウォーミングアップをしていたとき、白チーム 3 番と黒チームのゴールキーパー 1 番が、偶然にも衝突した。両者は互いに腹を立て、黒チーム 1 番が白チーム 3 番を殴った。すると次に、白チーム 3 番が黒チーム 1 番を殴り返した。両者とも記録用紙に記載されていた。

(a) 黒チーム 1 番を報告書を伴う失格（レッドカードとブルーカード）、白チーム 3 番を 2 分間退場とする。両チームは 16 名のプレーヤーを登録できる

(b) 両プレーヤーを、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）。両チームは 16 名のプレーヤーを登録できるが、競技の開始時にコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名ずつ減らす

(c) 両プレーヤーを競技の開始時に 2 分間退場とし、記録用紙にその旨を特記する

(d) 両プレーヤーを、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）。両チームは 16 名のプレーヤーを登録できる

8-２８　白チーム ９ 番が、ジャンプシュートを試みている。黒チーム ５ 番は、白チーム ９ 番のシュートしようとしている腕を背後から掴み引き倒した。白チーム ９ 番と黒チームのゴールの間には、黒チームの別のプレーヤー ２ 名がいた。

(a) 白チームのフリースロー

(b) 白チームの ７ m スロー

(c) 黒チームの ５ 番を、報告書を伴わない失格（レッドカード）

(d) 黒チームの ５ 番を、２ 分間退場

(e) 黒チームの ５ 番を、報告書を伴う失格（レッドカードとブルーカード）

★8-２９　失格としなければならない（レッドカードが示される）違反はどれか。

(a) チーム役員がレフェリーの許可なくコート内に入場する（２ 回目）

(b) 速攻のとき、ボールを所持して走っているプレーヤーを引き倒す。特に危険な状況ではない

(c) ７ m スローの実施の際、ボールの方向へと移動していないゴールキーパーの顔面にボールをぶつける

(d) レフェリーの判定を不服として、ボールを観客席に投げ入れる

(e) ゴールキーパーがゴールエリアを離れ、相手チームのプレーヤーにパスされたボールをキャッチしたが、速攻で走ってきた相手プレーヤーと衝突する

8-３０　白チーム 9 番は、3 回目の 2 分間退場により失格となった。白チーム 9 番はジャージを着て、交代地域と反対側のサイドライン後方にある観客席最前列に座った。その後、白チーム 9 番のすぐ目の前で、黒チーム 3 番が白チーム 10 番に対してあまりにも危険な行為をしたため、白チーム 10 番は負傷してコート上に倒れた。レフェリーが黒チーム 3 番に罰則を適用する前に、白チーム 9 番はコート内に走り込み、黒チーム 3 番を殴った。

(a) タイムアウト

(b) 黒チームの 3 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）

(c) 白チームの 9 番は、もう競技に関与しておらず、その行動については言及できない

(d) 白チーム 9 番の行動について、報告書を作成する

(e) 黒チームの 3 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカード）

(f) 白チームの 10 番は処置を受けた後コートを出なければならず、自チームが 3 回の攻撃を終えた後、コートに戻ることができる

8-３１　警告としなければならない場合はどれか。

(a) 主に、または完全に相手の身体を狙った違反行為

(b) 相手の各種スローに対する違反

(c) ボールの所持が相手チームに移る判定があった際に、ボールを床に置かなかったとき

(d) 相手が 7ｍ スローの準備を終えたときに、ゴールキーパーが交代しようとしたとき

8-３２　スポーツマンシップに反する行為と見なされるものはどれか。

(a) ボールの方向へと移動していない防御側プレーヤーの顔面に、ボールをぶつける

(b) ゴールキーパーが露骨に 7 m スローを止めようとしない

(c) 違反の影響を誇張するなどの演技によりレフェリーの判断を欺く

(d) 防御側プレーヤーが膝から下の脚の部位で、シュートを積極的に阻止する

(e) 戦術的な理由で、繰り返しゴールエリアに侵入する

(f) 違反された後の報復行為

8-３３　報告書を伴う失格(レッドカードとブルーカード)となるのはどのような場合か。

(a) 休憩時間中のコート上での暴力行為

(b) あまりに無謀な、またはあまりに危険な行為

(c) 違反された後の報復行為

(d) 競技の状況とかけ離れた悪質な行為

★8-３４　白チーム 9 番は、スローオフを実施する準備ができている。レフェリーによるスローオフの笛の合図の後、センターラインを越えた白チーム 3 番は、黒チーム 5 番に後方から引き倒され、完全に身体のコントロールを失った。

(a) 黒チーム 5 番を、2 分間退場とする

(b) 黒チーム 5 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカード）

(c) 白チームのフリースロー

(d) 白チームの 7 m スロー

(e) 白チームのスローオフ

(f) 黒チーム 5 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）

8-３５　黒チームの 8 番は不正交代のために 2 分間退場となった。競技が再開されて 2 秒後、黒チームの 8 番はベンチに腰を下ろしたまま、レフェリーに対してスポーツマンシップに反する態度を示し文句を言った。

(a) 黒チームの 8 番に、2 分間退場を追加する

(b) 黒チームの 8 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカードを示す）

(c) 黒チームはコート上のプレーヤーを 1 分 58 秒間 2 名、その後も 2 秒間 1 名減らして競技する

(d) 黒チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 2 名減らして競技する

(e) 相手チームにフリースローを与える

(f) タイムアウト

8-３６　相手チームのゴールへと独走している白チーム 15 番に向けて、白チームのゴールキーパー 1 番はロングパスを出した。黒チームのゴーキーパー 12 番は自陣のゴールエリアを離れ、ジャンプして出されたボールをキャッチしたが、その最中、空中で白チーム 15 番と衝突してしまい、両プレーヤーは負傷し倒れた。

(a) タイムアウトを取り、白チーム 15 番を 2 分間退場

(b) タイムアウトを取り、黒チーム 12 番を 2 分間退場

(c) タイムアウトを取り、黒チーム 12 番を失格

(d) 白チームのフリースロー

(e) 黒チームのフリースロー

(f) 白チームの 7 m スロー

8-３７　黒チームがボールを所持していた。黒チームのチーム役員 A が、レフェリーの判定に抗議し椅子をコートに投げ入れたため、TO は競技を中断した。黒チームのチーム役員には、まだ何の罰則も適用されていなかった。競技が中断されたとき、黒チームの 7 番は明らかな得点チャンスを得ていた。

(a) 黒チームのチーム役員 A を、警告とする

(b) 黒チームのチーム役員 A を、2 分間退場とする

(c) 黒チームのチーム役員 A を、報告書を伴わない失格とする（レッドカードを示す）

(d) 相手チームのフリースロー

(e) 黒チームの 7 m スロー

(f) 黒チームのチーム役員 A を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカードを示す）

8-３８　白チームのチーム役員 A は、自チームへのレフェリーの判定に対して大声で「馬鹿野郎！」と抗議した。白チームはチーム役員 C が、すでに 10 分前に警告となっていた。

(a) スポーツマンシップに反する行為により、チーム役員 A を警告とする

(b) チーム役員 A を 2 分間退場とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

(c) チーム役員 A を、報告書を伴う失格（レッドカードとブルーカードを示す）とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

(d) タイムアウト

★8-39　白チームのゴールキーパー 1 番が、ゴールキーパースローを行おうとしていた。黒チーム 3 番はゴールエリアに侵入し、身体を接触させずに白チーム 1 番のスローを妨害しようとした。黒チーム 3 番のこの行為は、これで 2 回目である。

(a) 笛の合図の後に、白チームのフリースロー

(b) 笛の合図の後に、白チームのゴールキーパースロー

(c) 黒チームの 3 番を、警告

(d) 黒チームの 3 番を、2 分間退場

(e) タイムアウト

8-40　白チームの 4 番は、黒チームのゴールエリア内の床に転がっているボールに触れた。次の瞬間、白チームの 4 番は、黒チームの 6 番によって押し倒された。

(a) 黒チームの 6 番に、段階的罰則を適用

(b) 白チームのフリースロー

(c) 黒チームのゴールキーパースロー

(d) 黒チームのフリースロー

8-41　白チームの 7 番はスポーツマンシップに反する行為により、1 回目の 2 分間退場となった。ベンチに下がった白チームの 7 番は競技再開 10 秒後に、レフェリーの判定に納得できないことをジェスチャーで大げさにアピールした。

(a) 白チームの 7 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカードを示す）

(b) 白チームの 7 番を 2 分間退場とし、白チームの 7 番は 4 分間ベンチにいなければならない

(c) 白チームの 7 番に、2 分間退場を追加する。白チームはコート上のプレーヤーを 1 分 50 秒間 2 名、その後も 10 秒間 1 名減らす

(d) 交代地域内での罰則とコート上での罰則は区別して扱うため、警告とする

8-４２　白チーム 6 番は黒チーム 3 番に押された後、これ見よがしに黒チーム 3 番の目の前で床に唾を吐いた。白チーム 6 番に適用される罰則はどれか。

(a) 段階的罰則

(b) 即座に 2 分間退場

(c) 報告書を伴わない失格（レッドカードを示す）

(d) 報告書を伴う失格（レッドカードとブルーカードを示す）

8-４３　白チームのゴールキーパー 12 番は、速攻を行っている黒チームの 10 番に向かってゴールエリアから飛び出し、側方から近づいて捕まえた。しかし黒チーム 10 番は、ボールをキャッチして無人のゴールに投げ入れた。

(a) スローオフ

(b) タイムアウト

(c) 白チーム 12 番を、失格

(d) 白チーム 12 番を、2 分間退場

(e) 黒チームの 7 m スロー

8-44　速攻で走っている白チーム 4 番に向けて、白チームのゴールキーパー 12 番は、ゴールキーパースローによりロングパスを出した。白チーム 4 番がジャンプしてボールをキャッチした直後、速攻を阻止しようとゴールエリアを離れた黒チームのゴールキーパー 1 番と衝突した。衝突のとき、黒チーム 1 番はフリースローラインの前で完全に静止していた。衝突した後、白チーム 4 番は身体のコントロールを失って倒れた。

(a) **オフェンシブファール（攻撃側の違反）**により黒チームのフリースロー

(b) 白チームのフリースロー

(c) 白チームの 7 m スロー

(d) 黒チームの 1 番に、段階的罰則を適用

(e) 黒チームの 1 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカードを示す）

8-45　競技規則により、報告書を伴う失格となる**（レッドカードとブルーカードが示される）違反**はどれか。

(a) プレーヤーが、相手に唾を吐いて命中させる

(b) チーム役員が自チームに競技を強引に放棄させようとする

(c) 7 m スローの実施に際して、ボールの方向へと移動していないゴールキーパーの頭部にボールをぶつける

(d) レフェリーの判定の後、これ見よがしにプレーヤーが観客席にボールを投げ込む

(e) コート外で、プレーヤーが観客に唾を吐いて命中させる

(f) プレーヤーが意図的に相手の腹部を殴る

8-46　黒チーム 10 番は単独で速攻に出ていた。味方からパスを受け取ったときに黒チーム 10 番は、ゴールエリアを離れた白チームのゴールキーパー 1 番と衝突した（後半 29 分 26 秒）。黒チーム 10 番は倒れる前に黒チーム 7 番にパスをし、黒チーム 7 番は無人のゴールにシュートした。しかし、そのボールはゴールから外れた。レフェリーがタイムアウトを取ったのは、後半 29 分 31 秒であった。

(a) フリースロー

(b) 7 m スロー

(c) 白チームの 1 番**を、報告書を伴わない失格（レッドカード）**

(d) 白チームの 1 番**を、報告書を伴う失格（レッドカードとブルーカード）**

(e) ゴールキーパースロー

8-47　白チームは 7 人攻撃を行っていた。黒チーム 5 番はパスをインターセプトしてボールを所持し、即座に白チームのゴールに向けてシュートを試みた。このシュートを阻止しようと白チーム 2 番は、手に持っているボールに対して防御活動を試みた。しかし黒チーム 5 番の腕を叩いてしまい、ボールはゴールから外れた。白チームは既に 3 回の警告を受けていた。

(a) 白チームのゴールキーパースロー

(b) 黒チームのフリースロー

(c) 黒チームの 7 m スロー

(d) 白チームの 2 番を、2 分間退場

(e) タイムアウト

8-４８　白チームは 7 人攻撃を行っていた。黒チーム 5 番はパスをインターセプトしてボールを所持し、即座に白チームのゴールに向けてシュートを試みた。このシュートを阻止しようと白チームの 2 番は、黒チームの 5 番を引き倒した。その結果、ボールはゴールから外れた。

(a) 白チームのゴールキーパースロー

(b) 黒チームのフリースロー

(c) 黒チームの 7 m スロー

(d) 白チームの 2 番を、2 分間退場

(e) タイムアウト

8-４９　白チームは、7 人攻撃から白チーム 4 番がシュートを打った。このシュートを止めた黒チームのゴールキーパー 1 番は、黒チーム 9 番にパスをした。ちょうど白チームのゴールキーパー 12 番がゴールエリアに入ったタイミングで、黒チーム 9 番はゴールに向けてシュートを試みたが、白チーム 2 番の違反によって阻止されたため、ボールはアウターゴールラインを通過していった。

(a) 白チームのゴールキーパースロー

(b) 黒チームのフリースロー

(c) 黒チームの 7 m スロー

8-５０　白チームは、7 人攻撃から白チーム 4 番がシュートを打った。このシュートを止めた黒チームのゴールキーパー 1 番がゴールキーパースローを行おうとしていた。ちょうどそのとき、白チーム 7 番がコートを出る前に白チームのゴールキーパー 1 番がコートに入ったため、TO は試合を中断した。

(a) 笛の合図の後に、黒チームのゴールキーパースロー

(b) タイムアウト

(c) 黒チームのフリースロー

(d) 黒チームの 7 m スロー

(e) 白チームの 1 番を、2 分間退場

(f) 白チームの 7 番を、2 分間退場

8-５１　白チームは、7 人攻撃から白チーム 4 番がシュートを打った。このシュートを止めた黒チームのゴールキーパー 12 番は、黒チーム 9 番にパスをした。パスを受け取った黒チーム 9 番はシュートを打ったが、白チームのコートプレーヤー 10 番がゴールエリアに侵入し、シュートを阻止した。ボールはそのまま、アウターゴールラインを通過した。

(a) 黒チームのスローイン

(b) 黒チームのフリースロー

(c) 黒チームの 7 m スロー

(d) 白チームの 10 番に、段階的罰則を適用

(e) 白チームの 10 番を、即座に 2 分間退場

8-５２　白チームは、7 人攻撃から白チーム 6 番がシュートを打った。このシュートを止めた黒チームのゴールキーパー 1 番は、即座に無人のゴールに向かってシュートを打ったが、ゴールに入ることなくアウターゴールラインを通過した。

(a) 白チームのゴールキーパースロー

(b) 試合の流れを止めないために、コート上の白チームのプレーヤーなら誰でも、ゴールキーパースローを行ってよい

(c) 白チームは、ゴールキーパーがゴールキーパースローを行うために、交代によりゴールキーパーをコートに入れなければならない

(d) タイムアウトを必ず取らなければならない

★8-５３　黒チームは、7 人攻撃から黒チーム 5 番がシュートを打った。このシュートを止めた白チームのゴールキーパー 1 番は、無人のゴールに向かってシュートを打った。ちょうどそのとき、黒チーム 7 番がコートを出る前に黒チームのゴールキーパー 12 番はコートに走り込んだ。TO は直ちに競技中断の笛を吹いたが、その直後、ボールは黒チームのアウターゴールラインを越えた。

(a) 黒チームの 12 番を、2 分間退場

(b) 黒チームの 7 番を、2 分間退場

(c) 白チームのフリースロー

(d) 白チームの 7 m スロー

(e) 黒チームのゴールキーパースロー

(f) TO は、明らかな得点チャンスの状況が終了するまで、不正入場を知らせるための笛の合図は待つべきであった

★8-５４　黒チームは、7 人攻撃から黒チーム 6 番がシュートを打った。このシュートを止めた白チームのゴールキーパー 1 番は、無人のゴールに向かってシュートを打った。ちょうどそのとき、黒チーム 7 番がコートを出る前に黒チームのゴールキーパー 12 番はコートに走り込んだ。TO からの競技中断の笛の合図の直後、ボールは黒チームのゴールラインを越えた。

(a) 黒チームの 12 番を、2 分間退場

(b) 黒チームの 7 番を、2 分間退場

(c) 白チームのフリースロー

(d) 白チームの 7 m スロー

(e) 白チームの得点

(f) TO は、明らかな得点チャンスの状況が終了するまで、不正入場を知らせるための笛の合図は待つべきであった

8-５５　黒チームは 7 人攻撃を行っていた。白チームの 9 番はボールをインターセプトし、無人のゴールにシュートを決めた。ボールはその後、ゴールエリア内で完全に止まってしまった。

(a) 得点と黒チームのスローオフ

(b) タイムアウト

(c) ゴールエリア内のボールを取るために、ゴールキーパーが正しく交代してコート内に入らなければならない

(d) 黒チームのコートプレーヤーは誰でも、そのボールを拾い上げることができる

8-５６　競技終了 6 秒前、スコアは 27 対 27 の状況で白チームの攻撃中、白チーム 7 番は、白チームのピボットプレーヤー 3 番へのパスを試みた。黒チーム 7 番はそのボールをインターセプトしたが、その瞬間、白チーム 3 番によって引き倒された。その 1 秒後に、公示時計による終了合図があった。

(a) 競技の終了

(b) 黒チームのフリースロー

(c) 黒チームの 7 m スロー

(d) 白チームの 3 番を、2 分間退場とする

(e) 白チームの 3 番を、失格とする（レッドカード）

(f) 白チームの 3 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）

8-５７　競技終了 10 秒前、スコアは 27 対 27 の状況で白チームの攻撃中、黒チーム 5 番はパスをインターセプトして速攻に移った。その直後、黒チーム 5 番は、白チーム 11 番から危険な方法で後方から押され、身体のコントロールを失った。レフェリーが笛を吹く前に、公示時計による終了合図があった。

(a) 競技の終了

(b) 黒チームのフリースロー

(c) 黒チームの 7 m スロー

(d) 白チームの 11 番を、2 分間退場とする

(e) 白チームの 11 番を、失格とする（レッドカード）

(f) 白チームの 11 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）

8-５８　ボールを所持していた黒チーム 10 番は、後半 29 分 27 秒にジャンプシュートを打った。その際、黒チーム 10 番と白チームのゴールの間に位置を取っていた白チーム 2 番は、黒チーム 10 番の胸部を強く押した。これにより黒チーム 10 番は、完全に身体のコントロールを失い、ボールを床に落とした。レフェリーは、後半 29 分 31 秒の時点で試合を止めた。

(a) 黒チームのフリースロー

(b) 黒チームの 7 m スロー

(c) 白チームの 2 番を、2 分間退場とする

(d) 白チームの 2 番を、失格とする（レッドカード）

(e) タイムアウト

8-５９　競技終了 15 秒前、黒チームの攻撃中に、レフェリーはセンターライン付近で黒チームにフリースローを与えた。黒チームの 7 番がフリースローを実施する前に、白チームの 2 番によって妨害された。

(a) タイムアウト

(b) 位置を正し、笛の合図の後に黒チームのフリースローを再度実施

(c) 黒チームの 7 m スロー

(d) 白チームの 2 番を、2 分間退場とする

(e) 白チームの 2 番を、失格とする（レッドカード）

(f) 白チームの 2 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）

8-60　黒チームの攻撃中、レフェリーは競技終了 3 秒前にフリースローライン付近で黒チームにフリースローを与えた。黒チーム 10 番は正しい位置から直接ゴールに向けてフリースローを行ったが、黒チーム 10 番から 1 m の距離にいた白チーム 5 番がそのシュートをブロックした。その直後、自動終了合図が鳴った。

(a) 黒チームの 7 m スロー

(b) 白チームの 5 番を、2 分間退場とする

(c) 白チームの 5 番を、失格とする（レッドカードを示す）

(d) 笛の合図の後に、黒チームのフリースロー

8-61　黒チームの攻撃中、レフェリーは競技終了 3 秒前にフリースローライン付近で黒チームにフリースローを与えた。黒チーム 10 番は正しい位置から直接ゴールに向けてフリースローを行おうとしたが、白チーム 5 番が腕を動かしたりジャンプをしたりすることで 1 m の距離まで移動してきて、フリースローの実施を妨害した。

(a) 白チームの 5 番を、2 分間退場とする

(b) 白チームの 5 番を、失格とする（レッドカードを示す）

(c) 黒チームのフリースロー

(d) 黒チームの 7 m スロー

8-6 2　競技終了 19 秒前、白チーム 2 番は防御側プレーヤーの間を突破しようとしたが、レフェリーはオーバーステップを判定した。レフェリーによる笛の後、白チーム 2 番はゴールに向けてシュートを打った。そのボールを黒チームのゴールキーパー 12 番はキャッチし、すぐに速攻を仕掛けられる状況にある。

(a) そのまま競技を続行

(b) タイムアウト

(c) 白チームの 2 番を、2 分間退場とする

(d) 白チームの 2 番を、失格とする（レッドカードを示す）

(e) 黒チームのフリースロー

(f) 黒チームの 7 m スロー

8-6 3　28 対 26 で白チームが勝っている。競技終了 25 秒前、黒チームが得点を決めた。白チームのゴールキーパー 12 番が意図的にボールを蹴ったため、ボールは観客席に入った。ゴールキーパーが競技を遅らせるためにボールを蹴り、これによりスローオフが直ちにできなかったのは明らかである。

(a) タイムアウト

(b) 白チームのスローオフ

(c) 黒チームフリースロー

(d) 黒チームの 7 m スロー

(e) 白チームの 12 番を、2 分間退場とする

(f) 白チームの 12 番を、失格とする（レッドカード）

(g) 白チームの 12 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）

8-6 4　競技終了 3 秒前、得点は 25 対 25 で白チームが攻撃をしている。黒チーム 5 番が白チーム 2 番へ違反したことにより、黒チームのフリースローライン付近で白チームにフリースローが与えられた。その直後、公示時計による終了合図があった。レフェリーは、自動終了合図の後のフリースロー（最後の一投）実施のための笛を吹いた。スローを行うプレーヤーがボールを手から離す前に黒チーム 6 番は、フリースローの実施位置近くまで歩み寄り、スローの実施を妨害した。

(a) 競技の終了

(b) フリースローを再度実施

(c) 白チームの 7 m スロー

(d) 黒チームの 6 番を、2 分間退場とする

(e) 黒チームの 6 番を、失格とする（レッドカードを示す）

8-6 5　白チームはゴールキーパー不在の状況で 7 人攻撃を行っていた。黒チーム 5 番がパスをインターセプトし、ゴールキーパー不在の白チームのゴールに向かって走り始めた。白チームのゴールキーパー 12 番は正しく交代し、黒チーム 5 番と同様、自陣のゴール方向に走った。黒チーム 5 番がシュートを打とうとした際に、白チーム 12 番は、黒チーム 5 番を横から押した。そのため黒チーム 5 番は、**部分的に**身体のコントロールを失い、ボールはゴールから外れた。

(a) 黒チームのフリースロー

(b) 黒チームの 7 m スロー

(c) タイムアウト

(d) 黒チームの 12 番を、2 分間退場とする

(e) 白チームの 12 番を、失格とする（レッドカードを示す）

8-6 6　競技終了 4 秒前、得点は 26 対 26 で白チームが攻撃をしている。白チームのフリースローとなり、白チーム 4 番は、すぐにスローを実施した。しかし黒チーム 5 番が、スローが実施される位置にとても近い距離から、積極的にそのスローを妨害した。それと同時に、公示時計による終了合図があった。

(a) フリースローを再度実施

(b) 白チームの 7 m スロー

(c) 黒チームの 5 番を、2 分間退場とする

(d) 黒チームの 5 番を、失格とする（レッドカードを示す）

8-6 7　競技終了 4 秒前、得点は 26 対 26 で白チームが攻撃をしている。黒チーム 5 番が白チーム 6 番へ違反をしたことにより、白チームにフリースローが与えられた。黒チーム 5 番は、すぐに違反の起きた位置から 3 m の距離を保った。白チーム 6 番はフリースローを実施したが、ボールは黒チーム 5 番に当たった（黒チーム 5 番は、積極的な妨害はしていない)。ボールが白チーム 6 番に戻ってきたと同時に、公示時計による終了合図があった。

(a) 競技の終了（それ以上、何もしない）

(b) フリースローを再度実施

(c) 白チームの 7 m スロー

(d) 黒チームの 5 番を、2 分間退場とする

(e) 黒チームの 5 番を、失格とする

8-68　競技終了 20 秒前、得点は 29 対 29。白チームのゴールキーパー 12 番が止めたシュートは、アウターゴールラインを越えた。レフェリーは白チームのゴールキーパースローを判定し、白チーム 12 番は、直ちにゴールキーパースローを実施したかった。しかし、黒チーム 2 番がゴールエリアに走り込み、スローの実施を遅らせた。

(a) タイムアウト

(b) 笛の合図の後に、白チームのゴールキーパースロー

(c) 笛の合図の後に、白チームのフリースロー

(d) 白チームの 7 m スロー

(e) 黒チームの 2 番を、2 分間退場とする

(f) 黒チームの 2 番を、失格とする（レッドカード）

(g) 黒チームの 2 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）

8-69　競技終了 20 秒前、得点は 29 対 29。白チームのゴールキーパー 12 番が止めたシュートは、アウターゴールラインを越えた。レフェリーは白チームのゴールキーパースローを判定し、白チーム 12 番はゴールキーパースローを実施しようとしていた。ボールが白チーム 12 番の手から離れる前に、タイムキーパーから競技中断の合図があった。なぜなら、黒チーム 11 番がコートから出るよりも早く、黒チーム 3 番がコート内に入ったからである。

(a) タイムアウト

(b) 笛の合図の後に、白チームのゴールキーパースロー

(c) 黒チームの交代地域から、白チームのフリースロー

(d) 白チームの 7 m スロー

(e) 黒チームの 3 番を、2 分間退場とする

(f) 黒チームの 3 番を、失格とする（レッドカードを示す）

8-70　競技終了 20 秒前、得点は 29 対 29。白チームのゴールキーパー 12 番が止めたシュートは、アウターゴールラインを越えた。レフェリーは白チームのゴールキーパースローを判定し、白チーム 12 番は自陣のゴールエリアの外にいる白チーム 9 番にパスをした。ボールがゴールエリアラインを越える前に、タイムキーパーから競技中断の合図があった。なぜなら、黒チーム 11 番がコートから出るよりも早く、黒チーム 3 番がコート内に入ったからである。

(a) タイムアウト

(b) 黒チームの交代地域から、白チームのフリースロー

(c) 白チームの 7 m スロー

(d) 黒チームの 3 番を、2 分間退場とする

(e) 黒チームの 3 番を、失格とする（レッドカードを示す）

8-71　競技終了 10 秒前、得点は 29 対 29。白チームの速攻中に、ボールを持っている白チーム 9 番に対して黒チーム 10 番は、危害を及ぼす行為により速攻を阻止しようとした。白チーム 9 番は倒れる寸前に、白チーム 11 番にパスをした。パスを受け取った白チーム 11 番はシュートを打ったが、黒チームのゴールキーパー 12 番に止められた。

(a) 黒チーム 10 番を、2 分間退場とする

(b) 黒チーム 10 番を、失格とする（レッドカードを示す）

(c) 黒チームのゴールキーパースロー

(d) 白チームのフリースロー

(e) 白チームの 7 m スロー

(f) タイムアウト

8-7２　競技終了 10 秒前、得点は 29 対 29。白チームの速攻中に、ボールを持っている白チーム 9 番に対して黒チーム 10 番は、危害を及ぼす行為により速攻を阻止しようとした。白チーム 9 番は倒れる寸前に、白チーム 11 番にパスをした。パスを受け取った白チーム 11 番はシュートを打ち、得点を決めた。

(a) 黒チーム 10 番を、2 分間退場とする

(b) 黒チーム 10 番を、失格とする（レッドカードを示す）

(c) 白チームの得点

(d) 白チームのフリースロー

(e) 白チームの 7 m スロー

(f) タイムアウト

8-7３　競技終了 10 秒前、得点は 29 対 29。白チームの速攻中に、ボールを持っている白チーム 9 番に対して黒チーム 10 番は、危害を及ぼす行為により速攻を阻止しようとした。白チーム 9 番は倒れる寸前に、白チーム 11 番にパスをした。パスを受け取った白チーム 11 番は、白チーム 4 番にパスをした。

(a) 黒チーム 10 番を、2 分間退場とする

(b) 黒チーム 10 番を、失格とする（レッドカードを示す）

(c) レフェリーは、白チーム 11 番から白チーム 4 番にパスが出された後に、笛を吹く

(d) 白チームのフリースロー

(e) 白チームの 7 m スロー

(f) タイムアウト

8-7 4　白チームの速攻中、白チーム 7 番は明らかな得点チャンスを得て、誰にも妨害されることなくシュートを打った。ボールは黒チームのゴールキーパー 12 番の頭部に当たり、ゴールキーパーは床に倒れた。跳ね返ってきたボールを、黒チームのゴールエリアライン際で明らかな得点チャンスを得ている白チーム 9 番がキャッチした。その瞬間レフェリーは、黒チームのゴールキーパー 12 番の治療のため、笛を吹いた。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 白チーム 7 番を、2 分間退場とする

(b) 黒チームのゴールキーパースロー

(c) 白チームのフリースロー

(d) 白チームの 7 m スロー

(e) 黒チームのフリースロー

(f) 白チーム 7 番に対する罰則の適用はない

(g) 黒チームのゴールキーパー 12 番はコートから出なければならず、自チームが 3 回の攻撃を終えた後でのみ、コートに戻ることができる

(h) タイムアウト

8-7５　競技終了 7 秒前、白チームが 1 点リードしている。白チームはスローオフエリアからスローオフを実施する準備ができており、レフェリーはスローオフ実施の笛を吹いた。白チーム 7 番は、味方にパスをする代わりにスローオフエリア内の床にボールを置いてエリアを出た。味方の誰も、スローオフエリアに入ってボールを拾おうとしない。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 誤りを正し、スローオフを再度実施

(b) タイムアウト

(c) レフェリーは黒チームのフリースローとする前に、スローオフ実施の笛の合図から 3 秒、待たなければならない

(d) 白チーム 7 番を、即座に 2 分間退場

(e) 黒チームのフリースロー

8-7６　黒チーム 8 番は、白チームの防御側プレーヤーの間を突破し、白チームのゴールキーパー 1 番との間には誰もいない状況でシュートを打とうとしている。その際、白チーム 7 番に横から押され、**部分的に**身体のコントロールを失いながらも、力強いシュートを打った。ボールは白チームのゴールキーパー 1 番の頭部に当たり、方向を変えてゴールに入った。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 黒チームの得点

(b) 白チームのフリースロー

(c) 黒チーム 8 番を、即座に 2 分間退場

(d) 白チーム 7 番を、即座に 2 分間退場

(e) 黒チームの 7 m スロー

(f) タイムアウト

8-77　黒チームのピボットプレーヤー 8 番はボールを受け取り、ゴールに向かって方向を変えようとした際に、白チーム 7 番に強く捕まえられ引き倒された。しかし黒チーム 8 番は体勢を立て直し、身体を十分にコントロールしてゴールエリア上にジャンプし、ゴールキーパーと 1 対 1 の状況でシュートを打った。ボールは白チームのゴールキーパー 1 番の頭部に直撃し、方向を変えてゴールに入った。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 黒チームの得点

(b) 白チームのフリースロー

(c) 黒チームのフリースロー

(d) 黒チームの 7 m スロー

(e) 黒チーム 8 番を、即座に 2 分間退場

(f) 白チーム 7 番を、即座に 2 分間退場

(g) タイムアウト

8-78　黒チームのウィングプレーヤー 3 番は、明らかな得点チャンスを得て、シュートを打った。ボールは白チームのゴールキーパー 1 番の側頭部をかすめ、方向を変えることなくゴールに入った。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 黒チーム 3 番を、即座に 2 分間退場

(b) 白チームのゴールキーパー 1 番に、段階的罰則を適用

(c) 得点

(d) 白チームのフリースロー

8-79　黒チームのウィングプレーヤー 3 番は、明らかな得点チャンスを得て、シュートを打った。ボールは白チームのゴールキーパー 1 番の側頭部に当たり、方向を変えてゴールに入った(頭部がボールとの最初の接触点である)。白チームのゴールキーパー 1 番は床に倒れ、頭を押さえており、明らかに治療行為が必要な状態である。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) タイムアウト

(b) レフェリーはジェスチャー 15 と 16 を示し、白チームのゴールキーパー 1 番の治療行為を要請する

(c) 黒チーム 3 番を、即座に 2 分間退場

(d) 白チームのゴールキーパー 1 番に、段階的罰則を適用

(e) 得点

(f) 白チームのフリースロー

(g) 治療行為を受けた白チームのゴールキーパー 1 番はコートから出なければならず、自チームが 3 回の攻撃を終えた後でのみ、コートに戻ることができる

★8-80　競技終了 10 秒前、黒チームが攻撃中に、黒チーム 10 番は、意図的に肘を白チーム 7 番の顔にぶつけた。そのため白チーム 7 番は負傷し、床に倒れた。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 黒チーム 10 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカードを示す）

(b) 黒チーム 10 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカードを示す）

(c) タイムアウト

(d) 白チームのフリースローで競技を再開する

(e) 白チームの 7 m スローで競技を再開する

(f) レフェリーは、白チーム 7 番の治療のため、白チームから 2 名のコートへの入場許可を与えることができる

(g) コート上で治療行為を受けた白チーム 7 番はコートから出なければならず、自チームが 3 回の攻撃を終えた後でのみ、コートに戻ることができる

★8-81　白チームはゴールキーパーが不在の状況で、攻撃を行っている。黒チーム 7 番がパスをインターセプトし、無人のゴールに向けシュートを打った。これをゴールエリアのすぐ外を走る白チーム 4 番は、キャッチしたものの止まることができず、ボールを持ったまま両足でゴールエリアの中に侵入した。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 黒チームのフリースロー

(b) 黒チームの 7 m スロー

(c) 白チーム 4 番に、段階的罰則を適用

(d) 白チーム 4 番を、2 分間退場

(e) 罰則は不要

(f) タイムアウト

第 9 条　得点

9-1　白チームの 7 番は防御隊形の中央に位置を取っている。黒チームの 3 番がピボットプレーヤーにバウンドパスを試みた際、白チームの 7 番は、明らかに足を上げてボールを止めようとした。その結果、白チームの 7 番はボールを蹴り、ボールは自陣のゴールに入った。

(a) 黒チームのフリースロー

(b) 黒チームの得点

(c) 黒チームの 7 m スロー

(d) 白チームの 7 番を、2 分間退場

9-2　白チームの 5 番が打ったシュートは、黒チームのゴールポストに当たって跳ね返り、プレーイングエリアに立っている黒チームの 3 番の足に当たり、黒チームのゴールに入った。

(a) 白チームのフリースロー

(b) 白チームの得点

(c) 白チームの 7 m スロー

(d) 黒チームのゴールキーパースロー

9-3　白チームのゴールキーパー 1 番が止めたボールが、ゴールエリアの 2 m 内側に立っていた白チーム 3 番の背中に当たり、白チームのゴールに入った。

(a) 相手チームのフリースロー

(b) 相手チームの 7 m スロー

(c) 白チームの 3 番に、段階的罰則を適用

(d) 相手チームの得点

9-4　白チームのゴールキーパー 1 番は、ボール全体の 4 分の 3 がゴールラインを越えたところで 4 秒間ボールを持っていた。

(a) 相手チームの得点

(b) 相手チームのフリースロー

(c) 白チームのゴールキーパースロー

9-5　白チームの 3 番は自陣のゴールエリア内に侵入し、足でシュートを止めようとしたがボールは足に当たってゴールの中に入った。

(a) 相手チームのフリースロー

(b) 相手チームの 7 m スロー

(c) 相手チームの得点

(d) 白チームのゴールキーパースロー

9-6　黒チームのゴールキーパー 1 番がゴールのかなり手前にいたため、白チームの 11 番はループシュートを打った。ボールがゴールラインを通過する前に、ゴール後方の観客席最前列に座っていた黒チームのマネージャー(記録用紙に記載されていない) がボールを押し戻した。

(a) 白チームの 7 m スロー

(b) 白チームの得点

(c) 黒チームのマネージャーを、報告書を伴う失格とする（レフェリーはレッドカードとブルーカードを示す）

(d) 記録用紙にその旨を特記

9-7　得点は 25 対 25 であった。競技終了 2 秒前に、記録用紙に記載されていない白チームの役員が、無人となった自チームのゴールに向かっているボールをインターセプトし、黒チームの得点を妨げた。その直後、競技終了の合図があった。

(a) 25 対 25 で競技を終了

(b) 黒チームの 7 m スロー

(c) 25 対 26 で競技を終了

(d) 白チームの役員を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）

(e) 記録用紙にその旨を特記

9-8　黒チーム 9 番の 7 m スローによる得点後、すぐに白チームは、レフェリーによるスローオフの笛の合図の後にクイックスローオフを行った。2 回のパスの後、白チームの 4 番が得点を決めた。その瞬間、タイムキーパーは笛を吹き「今ベンチに戻っている黒チームの 9 番は、7 m スローを行った時点で、2 分間の退場時間がまだ 20 秒残っていた」と説明した。

(a) 黒チームは、7 m スローを再度実施しなければならない

(b) 黒チームの 9 番に、2 分間退場を追加

(c) 両チームの得点は、有効

(d) 両チームの得点は、無効

9-9　競技の終了直前、白チームが 22 対 21 でリードしているとき、競技規則に違反することなく、白チームの 5 番はスローオフを行い、ボールは白チームのゴール**方向へと出された**。白チームのゴールキーパーはゴールエリア内にいたがボールには触れず、ボールはそのままゴールに入った。白チーム 5 番のチームメイトは、スローオフの笛の合図後、ボールが出される前にセンターラインを越えて黒チームのゴールに向かって**走りこんだ**。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 黒チームの得点

(b) 黒チームのフリースロー

(c) 笛の合図の後に、スローオフを再度実施

(d) 白チームの 5 番に、段階的罰則を適用

(e) タイムアウト

9-10　白チームの 9 番は、黒チームのプレーヤーが低めに打ったシュートを、明らかに上げた足で止めようとした。その結果、白チームの 9 番はボールを蹴り、ボールは自陣のゴールに入った。白チームの 9 番のこのような行為は、これで 2 回目である。

(a) 黒チームの得点

(b) 黒チームのフリースロー

(c) 白チームの 9 番を、2 分間退場

第１０条　　スローオフ

１０−１　　白チームがコイントスに勝ち、ボール所持（スローオフ）を選択した。黒チームの代表者は、サイドの交換を求めた。

(a) サイドを交換

(b) 白チームが同意したらサイドを交換

(c) コイントスを再度実施

(d) サイドの交換は不可

１０−２　　白チームがコイントスに勝ち、サイドの交換を望んだ。黒チームは、白チームがスローオフを行うべきだと主張した。

(a) 白チームのスローオフ

(b) サイドを交換し、黒チームのスローオフ

(c) コイントスを再度実施

(d) 両チームの代表者の同意が必要

１０−３　　（スローオフエリアを採用しないコート）スローオフは、どこから実施することができるか。

(a) センターラインの後方 3 m 以内の自陣から

(b) センターラインの前方 3 m 以内の相手陣から

(c) センターライン中央（左右方向に約 1.5 m ずつの許容範囲）に片足を置き、もう片方の足は、センターライン上またはセンターライン後方の自陣に置く

10-4　（スローオフエリアを採用しないコート）競技の終了直前の得点は 15 対 15 であった。黒チームが得点して 15 対 16 となった。白チームは直ちにスローオフを行いたかった。ボールを持ったプレーヤーは、コートの中央で片足を相手陣側に、他方の足を自陣側に置き、センターラインを踏まずに立っていた。

(a) 誤った位置を正した後に、スローオフの笛を吹く

(b) 位置は正しいので、スローオフの笛を吹く

(c) タイムアウトを取り、誤った位置を正した後に、スローオフの笛を吹く

10-5　白チームがスローオフを行おうとしていた。黒チームのゴールキーパー 1 番は、まだ自陣のゴールエリア内にいない。この状況でコートレフェリーは競技開始の笛を吹き、白チームの 9 番は得点を決めた。

(a) センターラインから白チームのフリースロー

(b) スローオフを再度実施

(c) 白チームの得点

(d) 黒チームのフリースロー

１０−６　（スローオフエリアを採用しないコート）スローオフに関する正しい記述はどれか。

(a) スローオフは、レフェリーの笛の合図から 3 秒以内に、コートの中央から相手コートに向かって行われなければならない

(b) スローオフから直接シュートを狙い、得点を決めることができる

(c) 防御側チームの不正な位置は、必ず正さなければならない

(d) スローオフを実施する笛の合図の後に、スローを行うプレーヤーがドリブルをしたならば、相手チームにフリースローを与えなければならない

(e) スローオフを行うプレーヤーの味方のプレーヤーは、スローが行われる前に、センターラインを越えることは許されている

１０−７　（スローオフエリアを採用しないコート）黒チームの 6 番は、スローオフのために一方の足をセンターライン上に、もう片方の足を自陣のコート内に置いた。スローオフの笛の合図が吹かれると、スローオフを行うプレーヤーは、手からボールが離れる前にセンターラインを走り抜けた。笛が吹かれたとき、白チームのプレーヤーは黒チームのコート側にまだ残っていた。

(a) そのまま競技を続行

(b) 白チームのフリースロー

(c) 白チームのプレーヤーの位置を正し、笛の合図の後にスローオフを再度実施

(d) 黒チームの 6 番の位置を正して、笛の合図の後にスローオフを再度実施

10-8　（スローオフエリアを採用するコート）白チームの得点後、黒チーム 9 番は素早くスローオフを実施しようと、スローオフエリア内に正しく位置を取っている。レフェリーによるスローオフの笛の後、黒チーム 9 番は、スローオフエリアの中でボールを持ったまま 6 歩動き、笛の合図から 3 秒以内に、白チームの無人のゴールへとボールを投げ入れた。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 黒チームの得点

(b) 白チームのフリースロー

(c) 誤りを正し、笛の合図の後に新たなスローオフを実施

★10-9　（スローオフエリアを採用するコート）白チームの得点後、黒チームは素早くスローオフを実施しようとしている。ボールを受けた黒チーム 9 番は、ボールと片方の足を完全にスローオフエリアの中に、もう片方の足をスローオフエリアの外に置いている。レフェリーによるスローオフの笛の後、黒チーム 9 番は、エリアの外にあった足をスローオフエリアの中に移動させた後に、白チームの無人のゴールへとボールを投げ入れた。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 黒チームの得点

(b) 白チームのフリースロー

(c) 誤りを正し、笛の合図の後に黒チームは新たなスローオフを実施

(d) レフェリーはスローオフ実施のための笛を吹くことにより、スローを行うプレーヤーの位置を認めている。そのため、スローは正しく実施されている

(e) レフェリーは、ボールとスローを行うプレーヤーの身体が完全にスローオフエリアの中に入るまで、スローオフ実施のための笛を待つべきであった

★１０−１０　（スローオフエリアを採用するコート）黒チームは、スローオフエリアから素早くスローオフを実施しようとしている。黒チーム 8 番は走りながら移動し、ボールと身体が完全にスローオフエリアの中に入ると同時に、白チーム 7 番もまたスローオフエリアの中に入り、自陣ゴールの方向へと走っている。黒チーム 8 番は、白チーム 7 番の方向には味方のプレーヤーがいない状況で、白チーム 7 番の背中にボールを投げた。ボールが白チーム 7 番に当たったとき、7 番はスローオフエリアの中にいた。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 白チームのフリースロー

(b) 黒チームのフリースロー

(c) 黒チームの 7 m スロー

(d) 白チームの 7 番に、段階的罰則を適用する

(e) 黒チームの 8 番に、段階的罰則を適用する

(f) 黒チームの 8 番を、即座に 2 分間退場とする

１０−１１　（スローオフエリアを採用するコート）スローオフエリアに関する誤った記述はどれか。

（a）スローを行うプレーヤーの身体の一部がスローオフエリアの中にあるとき、スローオフ実施の笛を吹くことができる

（b）スローオフ実施の際、スローを行うプレーヤーの味方のプレーヤーの位置に関する制限はない

（c）スローオフ実施の際、スローを行うプレーヤーは、スローオフエリアの外に出ることができる

（d）スローを行うプレーヤーの手からボールが離れた後、ボールがまだスローオフエリアの中にある場合でも、防御側プレーヤーはボールをインターセプトすることができる

（e）スローを行うプレーヤーは、スローオフ実施の笛が吹かれた後、ボールをドリブルすることはできない

★１０−１２　（スローオフエリアを採用するコート）白チームはコートプレーヤー 7 人での攻撃を行い、得点を決めた。黒チームは、素早くスローオフを実施しようとしている。ボールを受け取った黒チームの 6 番は、身体全体とボールをスローオフエリアの中に置いている。レフェリーは、スローオフ実施の笛を吹いた後、白チームの 8 番は明らかにスローオフエリアの中に入り、積極的に腕を動かし、スローオフの実施を妨害している。そのような状況でも、ボールと身体全体がスローオフエリアの中にある黒チームの 6 番は、無人のゴールへとボールを投げ、スローオフを実施させた。投げたボールは、アウターゴールラインを越えて外に出た。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 白チームのゴールキーパースロー

(b) 笛の合図の後に、新たなスローオフを実施

(c) 黒チームのフリースロー

(d) 黒チームの 7 m スロー

(e) タイムアウト

(f) 白チームの 8 番に、段階的罰則を適用する

(g) 白チームの 8 番を、即座に 2 分間退場とする

(h) 白チームの 8 番を、失格とする（レッドカードを示す）

１０−１３　（スローオフエリアを採用するコート）スローオフエリアに関する正しい記述はどれか。

（a）スローオフは、レフェリーの笛の合図から 3 秒以内に、実施されなければならない

（b）スローオフから直接シュートを狙い、得点を決めることができる

（c）防御側チームの不正な位置は、必ず正さなければならない

（d）スローオフを実施する笛の合図の後に、スローを行うプレーヤーがジャンプをしたならば、相手チームにフリースローを与える

（e）スローオフを行うプレーヤーの味方のプレーヤーは、いかなる場合も、スローオフを実施する笛の合図の前に、センターラインを越えることは許されない

★１０−１４　（スローオフエリアを採用するコート）レフェリーは、いつスローオフの笛を吹くことができるか。

(a) 少なくともスローを行うプレーヤーの片足とボールがスローオフエリアの中にあり、もう片方の足が相手陣側のスローオフエリアの外にないとき

(b) 少なくともスローを行うプレーヤーの片足がスローオフエリアの中にあり、もう片方の足が相手陣側のスローオフエリアの外にないとき。ただしボールは、スローオフエリアの外にある

(c) 少なくともスローを行うプレーヤーの片足とボールがスローオフエリアの中にあり、もう片方の足が相手陣側のスローオフエリアの外にあるとき

(d) 少なくともスローを行うプレーヤーの片足とボールがスローオフエリアの中にあり、もう片方の足が相手陣側のスローオフエリアの外に**あるとき**。ただしスローを行うプレーヤーの味方のプレーヤーが、スローオフエリア内の相手陣側にいる

(e) スローを行うプレーヤーの身体全体とボールが、スローオフエリアの中にあるとき

第１１条　　スローイン

１１−１　　白チームの 3 番は、サイドラインの 2 m 外側からスローインを行なった。

(a) この行為は許されるため、そのまま競技を続行

(b) 相手チームのフリースロー

(c) 笛の合図なしに、スローインを再度実施

(d) 笛の合図の後に、スローインを再度実施

１１−２　　黒チームの 4 番は片足をサイドライン上に、もう片方の足をプレーイングエリア内に置いて立っていた。この状態で黒チームの 4 番はスローインを行い、直接シュートを決めた。

(a) 黒チームの得点

(b) 再開の笛の合図の後に、黒チームのスローインを再度実施

(c) 相手チームのフリースロー

(d) 相手チームのゴールキーパースロー

１１−３　　白チームの 6 番は片足をコート内に、もう片方の足をサイドラインの外側 1 m の所に置き立っていた。この状態で白チームの 6 番は、直接シュートを決めた。

(a) 再開の笛の合図の後に、白チームのスローインを再度実施

(b) 相手チームのフリースロー

(c) 白チームの得点

(d) 相手チームのゴールキーパースロー

ＩＩ−４　白チームの 11 番はシュートを打った。ボールは誰にも触れずにクロスバーに当たって跳ね上がり、黒チームのゴールエリア上方の付属設備に当たった。その後ボールは、黒チームのゴールキーパー 1 番の手の中に落下した。

(a) 黒チームのゴールキーパースロー

(b) 黒チームのスローイン

(c) 笛の合図の後に、黒チームのフリースロー

(d) 笛の合図の後に、黒チームのスローイン

(e) 必ずタイムアウトを取る

ＩＩ−５　競技中断後の各種スローの実施に関し、防御側チームがボールから 3 m よりも近づくことを認められているのは、どのような場合か。

(a) レフェリーが、スロー実施の合図を与えた直後

(b) フリースローを行うプレーヤーの手からボールが離れたとき

(c) フリースローやスローインの際、自陣のゴールエリアに沿って立っているとき

(d) ゴールキーパースローやスローオフの際、防御側プレーヤーがゴールエリアまたはスローオフエリアの外に立っているとき

ＩＩ−６　白チームの 5 番はキャッチミスした。そのため白チームの 5 番はボールを追いかけていき、サイドラインから出る前にボールを止めた。しかし自分自身は止まることができず、サイドラインを越えてしまった。

(a) そのまま競技を続行

(b) 相手チームのフリースロー

(c) 相手チームのスローイン

第１２条　　ゴールキーパースロー

１２−１　　白チームのゴールキーパー １ 番がゴールキーパースローを行う際に、ゴールエリアラインに片足が触れた。

(a) 笛の合図の後に、ゴールキーパースローを再度実施

(b) 相手チームのフリースロー

(c) そのまま競技を続行

１２−２　　７ ｍ スロー実施の笛の後、白チームのゴールキーパー 12 番は、ゴールキーパーラインを片方の足で踏んでいる。投げられたボールは、クロスバーの上を越えていった。

(a) 笛の合図の後に、７ ｍ スローを再度実施

(b) 得点ではないので、ゴールキーパースローにより競技を続行する

(c) ゴールキーパーの立ち位置は正しい

１２−３　　白チームのゴールキーパー １ 番が止めたボールは、ゴールエリア内をプレーイングエリアの方向へと転がっていった。黒チームの ７ 番は、周りに誰もいない状況でボールを取る準備をしていた。黒チーム ７ 番がボールを取る寸前に、白チーム １ 番はそのボールを手で叩き、アウターゴールラインの外へ出した。

(a) 黒チームのフリースロー

(b) 黒チームのスローイン

(c) 白チームのゴールキーパースロー

(d) 白チームのフリースロー

12-4　白チームのゴールキーパー 12 番がゴールキーパースローを実施する際、ボールを手から落として足に当ててしまった。ボールはそのまま、ゴールエリアラインを越えてプレーイングエリアに出た。白チーム 12 番は追いかけてボールを拾い上げ、ゴールキーパースローを再度実施するためゴールエリアに戻った。

(a) 相手チームの 7 m スロー

(b) 相手チームのフリースロー

(c) タイムアウト

(d) （スローを正しくさせるため）笛の合図の後に、ゴールキーパースローを実施

12-5　ゴールキーパースローが行われたと見なされ、コートプレーヤーがボールに触れることができるのはいつか。

(a) ボールがまだゴールエリア上の空中にあるとき

(b) ゴールキーパーが手から離したボールがゴールエリアラインを越え、プレーイングエリアに出たとき

(c) ゴールキーパーがボールを手から離したとき

(d) ゴールキーパーの味方のプレーヤーが、ボールに触れたとき

12-6　白チームのゴールキーパー 12 番が、ゴールキーパースローを行おうとしていた。黒チームの 10 番はゴールエリアラインの外側に立ち、違反することなくボールを得ようとしていた。ボールを得ることに成功した黒チームの 10 番は、シュートを決めた。

(a) 白チームのフリースロー

(b) 黒チームの得点

(c) 白チームのゴールキーパースロー

(d) 黒チームの 10 番に、段階的罰則を適用

I 2-7　白チームのゴールキーパー 12 番は、シュートを止めた。そのボールは、ゴール横のアウターゴールラインを越えていった。ゴールレフェリーのジェスチャーが必要な場合、どのジェスチャーを示したらよいか。

(a) ジェスチャー 8（ゴールキーパースロー）

(b) ジェスチャー 9（フリースローの方向指示）

(c) 初めにジェスチャー 9（フリースローの方向指示）を示してから、ジェスチャー 8（ゴールキーパースロー）

(e) 初めにジェスチャー 8（ゴールキーパースロー）を示してから、ジェスチャー 9（フリースローの方向指示）

I 2-8　白チームのゴールキーパー 1 番は、ゴールキーパースローを実施しようとしてボールを落としてしまった。ボールは、プレーイングエリアで待ち構えている黒チームの 6 番に向かって弾んでいった。そのため白チームの 2 番は、ゴールエリアに向かって飛び込み空中でボールを押し出して、サイドラインからボールを出した。

(a) 笛の合図の後に、白チームのゴールキーパースローを実施

(b) 黒チームのスローイン

(c) 黒チームのフリースロー

(d) 黒チームの 7 m スロー

12-9　ゴールキーパースローに関する正しい記述はどれか。

(a) ゴールキーパースローは、ゴールキーパーの手からボールが離れたときに実施したと見なす

(b) 相手チームのプレーヤーは、必ず 3 m 離れなければならない

(c) ゴールキーパースローは、ゴールキーパーの手からボールが離れ、ゴールエリアラインをボールが通過したときに実施したと見なす

(d) 相手チームのプレーヤーは、ゴールエリアラインのすぐ外に立つことができる

12-10　黒チームのゴールキーパー 1 番は、白チームにリードされているため、急いでゴールキーパースローを行おうとしていた。しかしその最中にボールが手から滑り落ち、ゴールエリア内にまだ残っていた黒チームの 6 番の方へと転がっていった。黒チームの 6 番は足でボールを転がし、黒チームの 1 番に戻した。

(a) 笛の合図の後に、黒チームのゴールキーパースローを実施

(b) 白チームのフリースロー

(c) 白チームの 7 m スロー

12-11　ゴールキーパースローに関する正しい記述はどれか。

(a) 相手チームのプレーヤーは、ゴールキーパースローが完了し競技中（インプレー）となるまで、フリースローラインの外側にいなければならない

(b) 相手チームのプレーヤーは、ゴールキーパーがゴールキーパースローを行う場所から3 m 離れたゴールエリアラインの外側にいなければならない

(c) 相手チームのプレーヤーは、ボールがゴールエリアラインを越える前に、ボールに触れることができる

(d) ゴールキーパーがゴールキーパースローを行うとき、オウンゴール（得点）はありえない

(e) ゴールキーパーは、ゴールキーパースローから直接シュートを決めることはできない

(f) ゴールキーパースローを行うとき、ゴールキーパーはゴールエリアラインに触れることはできない

第１３条　　フリースロー

１３−１　　白チームにフリースローが与えられた。白チームの 5 番がボールを拾い上げる前に黒チームの 6 番が拾い上げ、そのまま抱え込みながら自陣のゴールに向かって走り出した。数歩走った後、白チームの 5 番に対してボールを転がした。

(a) 黒チームの 6 番を、2 分間の退場

(b) 笛の合図の後に、白チームのフリースロー

(c) 黒チームの 6 番を、警告

(d) そのまま競技を続行

(e) タイムアウト

１３−２　　黒チームの 7 番はボールを所持し速攻をしようとしたが、白チームの 17 番に捕まえられた。アドバンテージを見ていたレフェリーがまさに笛を吹こうとしたとき、黒チームの 8 番がボールを受け取って、白チームのゴールにシュートを打った。白チームのゴールキーパー 12 番はシュートを止めて、速攻を開始しようとした。すでに両チームとも、3 回ずつの警告が適用されていた。

(a) そのまま競技を続行

(b) 白チームの 17 番を、2 分間の退場

(c) 白チームのゴールキーパースロー

(d) タイムアウト

(e) 黒チームのフリースロー

I 3-3　白チームにフリースローが判定された。ボールを持っていた黒チームの 6 番は、フリースローが行われるべき位置から 4 m 離れたところまでボールを運んだ。

(a) 黒チームの 6 番を、警告

(b) 黒チームの 6 番を、2 分間退場

(c) 黒チームの 6 番を、失格（レッドカードを示す）

(d) 違反の起こった位置から、白チームのフリースロー

(e) 現在、ボールがある位置から、白チームのフリースロー

I 3-4　白チームの 4 番の違反に対してフリースローが判定された。ボールを持っていた白チームの 4 番は、ゴールエリアを横切り、それからボールを床に置いた。

(a) 白チームの 4 番を、2 分間退場

(b) 白チームの 4 番を、警告

(c) 相手チームの 7 m スロー

(d) 相手チームのフリースロー

I 3-5　白チームの 5 番がボールを所持しているときに、白チームのチーム役員 B は、レフェリーに対して抗議をした。レフェリーはタイムアウトを取り、白チームのチーム役員 B を警告とした。どのようにして競技を再開するか。

(a) 笛の合図の後に、白チームの交代地域から相手チームのフリースロー

(b) 笛の合図の後に、白チームの交代地域から白チームのフリースロー

(c) 笛の合図の後に、試合が中断したときにボールがあった位置から、白チームのフリースロー

(d) 白チームの交代地域から相手チームのスローイン

13-6　両チームに、規則違反もチームタイムアウトの請求を知らせる笛の合図もなかったが、コートレフェリーは競技を中断した。競技を中断する笛が鳴る直前に、すでに黒チームの 13 番は白チームのゴールに向けてボールを投げていた。笛の後、ボールは白チームのゴールキーパー 1 番に止められることなく、ゴールに入った。どのようにして競技を再開するか。

(a) 黒チームのフリースロー

(b) 白チームのフリースロー

(c) 黒チームの 7 m スロー

(d) 黒チームの得点

13-7　白チームの速攻での攻撃で、黒チームの選手が 1 名、黒チームのゴールキーパー 12 番との間にいる状況で白チーム 7 番が打ったシュートが、黒チーム 12 番の頭部に当たったため、黒チーム 12 番は倒れた。ボールは、ゴールエリアライン近くに一人で立っていた白チーム 9 番のところに跳ね返り、白チームの 9 番は、無人のゴールにボールを投げ入れた。黒チーム 12 番は、コート上での治療行為が必要であったため、レフェリーはボールがゴールラインを越える直前に、笛を吹き競技を中断した。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 白チームの得点

(b) 白チームの 7 m スロー

(c) 笛の合図の後に、白チームのフリースロー

(d) タイムアウト

(e) 黒チーム 12 番はコートから出なければならない。そして、自チームの 3 回の攻撃が終了したときのみ、コートに再び入ることができる

I 3-8　黒チーム 9 番にフリースローが判定された。しかし白チーム 5 番は、ボールを持ったままレフェリーの方へと近づいていき、丁寧にボールを渡した。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 白チーム 5 番を 2 分間退場とし、現在ボールがある位置から黒チームのフリースロー

(b) 白チーム 5 番を警告とし、現在ボールがある位置から黒チームのフリースロー

(c) 白チーム 5 番を 2 分間退場とし、違反の起こった位置から黒チームのフリースロー

(d) 白チーム 5 番を警告とし、違反の起こった位置から黒チームのフリースロー

I 3-9　レフェリーが白チームに 7 m スローを判定した直後に、白チームの 5 番は、不正交代をした。

(a) 相手チームのフリースロー

(b) 白チームの 7 m スロー

(c) 白チームの 5 番を、2 分間退場

(d) 白チームのチーム責任者を、警告

I３−I０　フリースローの実施位置に関する正しい記述はどれか。

(a) 相手チームへのフリースローが判定されたときに直ちにボールを床に置かなかった場合、相手チームは、現在ボールのある位置からスローを行ってもよい

(b) 不正交代の場合、交代地域前よりも（スローを行うチームにとって）有利な位置にボールがあるならば、ボールのあった位置からフリースローを行う

(c) パッシブプレーと見なしフリースローが判定された場合、常に、パッシブプレーが判定されたときにボールがあった位置からフリースローを行う

(d) センターラインからフリースローを行う際は、横方向の許容範囲は、スローオフ実施の場合と同じである

I３−I I　ボールを持つ黒チーム II 番と白チーム 2 番の I 対 I の攻防の最中に、客席から笛の合図が聞こえた。そのため白チームの 2 番は、防御行為を止めた。これにより黒チームの II 番は、フリーの状態となりシュートを打った。

(a) 黒チームの 7 m スロー

(b) タイムアウトを取り、タイムキーパーに確認する

(c) 白チームのフリースロー

(d) 黒チームのフリースロー

I３−I２　白チームは、黒チームのフリースローライン近くでボールを所持していた。黒チームのチーム役員 A がレフェリーの判定に対して強く抗議したため、レフェリーは競技を中断した。

(a) 黒チームのチーム役員 A を、警告

(b) 黒チームの交代地域前から、白チームのフリースロー

(c) 黒チームのフリースローラインから、白チームのフリースロー

１３−１３　黒チームの 6 番が、警告となった。白チームのフリースローにより競技を再開するためコートレフェリーは笛を吹いたが、ゴールエリアラインとフリースローラインの間にいた白チームの 11 番を見逃してしまった。白チームの 11 番はボールをキャッチし、明らかな得点チャンスを得た。ゴールレフェリーは、この状況を観察していた。

(a) そのまま競技を続行

(b) 位置を正し、笛の合図の後にフリースローを再度実施

(c) ゴールレフェリーは、黒チームへのフリースローを判定する

(d) ゴールレフェリーは、白チームの 11 番を、警告とする

(e) タイムアウト

１３−１４　白チームがボールを所持している。黒チームが防御隊形を整え終えている状況で白チーム 4 番は、サイドライン沿いを走っている白チーム 8 番にパスを出した。しかし白チーム 8 番は、観客席とコートの間をサイドラインに触れながら歩いているカメラマンと衝突してしまった。そのため白チーム 8 番は身体のコントロールを失い、ボールをキャッチできなかった。ボールは、レフェリーが競技を中断する前に、サイドラインから出てしまった。

(a) 黒チームのスローインにより競技を再開

(b) 白チームのフリースローにより競技を再開

(c) タイムアウト

(d) 連盟や大会の規定に従い、記録用紙にその旨を特記

I 3-I 5　黒チームが攻撃中、レフェリーは黒チームにフリースローを与えた。黒チームの 2 番がフリースローを実施する前に、黒チームの 11 番は、白チームの 8 番を引き倒した。

(a) 笛の合図の後に、黒チームのフリースローを実施

(b) 笛の合図の後に、白チームのフリースローを実施

(c) タイムアウト

(d) 黒チームの 11 番に、段階的罰則を適用する

(e) 黒チームの 11 番を、即座に 2 分間退場とする

(f) 黒チームの 11 番を、失格とする（レッドカードを示す）

第１４条　　7m スロー

１４−１　　得点が 20 対 20 の場面で、黒チーム 7 番は白チームのパスをインターセプトし、速攻に移った。白チームのプレーヤーは誰も、黒チーム 7 番を止めることができなかった。そのとき観客の一人がコート内に乱入し、黒チーム 7 番を引き倒した。このため他の観客もコートに入り、大騒ぎとなった。黒チームのチーム役員 A は、黒チーム 7 番のプレーを妨害した観客を殴った。

(a) 競技を中止する

(b) タイムアウトを取り黒チームの 7ｍ スローとし、黒チームのチーム役員 A を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカードを示す)。黒チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 1 名減らす

(c) タイムアウトを取り黒チームの 7ｍ スローとし、黒チームのチーム役員 A を、失格とする（レッドカードを示す)。黒チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 1 名減らす

(d) タイムアウトを取り黒チームの 7ｍ スローとし、黒チームのチーム役員 A を、2 分間退場とする。黒チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 1 名減らす

14-2　黒チームのスローインで、黒チーム 7 番がスローインを行うため正しい位置についたとき、白チームのゴールキーパー 12 番がゴールエリアの外に立っていることに気づき、無人のゴールをめがけて直接シュートを狙った。白チームのコートプレーヤー 3 番はゴールエリア内に侵入し、このボールを止めた。

(a) 得点

(b) 黒チームのフリースロー

(c) 黒チームの 7 m スロー

(d) 白チームの 3 番に、段階的罰則を適用する

(e) 白チームの 3 番を、即座に 2 分間退場とする

14-3　白チームの 4 番は 7 m スローを行ったが、ボールはゴールポストに当たり、他の誰にも触れられることなく、白チームの 4 番のところに戻ってきた。白チームの 4 番はボールをキャッチし、シュートを決めた。

(a) 相手チームのフリースロー

(b) 相手チームのゴールキーパースロー

(c) 白チームの得点

I 4-4　黒チームのフリースローライン付近で、ボールを持った白チーム 3 番は、黒チーム 4 番をかわした。白チーム 3 番は、3 歩進んだところでシュートを打とうとした。しかし黒チーム 4 番に押されてしまい、4 歩目の足が床に着いた直後に打ったシュートが、ゴールに入った。このとき黒チームの他のプレーヤーは誰も、白チーム 3 番のプレーを防御できない状況にあった。

(a) アドバンテージの適用により、白チームの得点

(b) 黒チーム 4 番に、段階的罰則を適用

(c) 白チームのフリースロー

(d) 白チームの 7 m スロー

I 4-5　白チームの 9 番は 7 m スローを行い、シュートを決めた。しかし、白チームの 9 番がボールを手から離す前に、白チームの 4 番がフリースローラインを踏み越した。

(a) 白チームの得点

(b) 7 m スローを再度実施

(c) 相手チームのフリースロー

(d) 白チームの 4 番を警告とし、7 m スローを再度実施

I 4-6　レフェリーの笛の合図に続いて、黒チーム 2 番が 7 m スローを行おうとしたとき、白チーム 5 番がフリースローラインを踏み越した。白チーム 5 番のこの行為にもかかわらず、黒チーム 2 番はシュートを決めた。

(a) 黒チームの得点とし、白チームの 5 番を失格（レッドカードを示す）

(b) 黒チームの得点とし、白チームの 5 番を 2 分間の退場

(c) 黒チームの得点

(d) 白チームの 5 番を失格とし、7 m スローを再度実施

I 4-7　白チームの 6 番は、ボールを持って正しい位置に立ち、7ｍ スローの準備をしている。その際、黒チームのチーム役員 A は、黒チームのゴールキーパー 12 番に交代するよう指示を出した。そのため黒チームのゴールキーパー 12 番は、その指示に従おうとした。

(a) 交代を認める

(b) 黒チームのチーム役員 A を、警告とする

(c) 黒チームのチーム役員 A と黒チームの 12 番を、警告とする

(d) 黒チームの 12 番を、警告とする

I 4-8　白チームの 4 番は黒チームのゴールへシュートを打ったが、ボールはゴールポストに当たり、プレーイングエリアの方へと転がっていった。白チームの 6 番はノーマークの状態でゴールエリアラインに沿って立ち、このボールを取ろうと待ち構えていた。そのため黒チームの 4 番は、明らかにゴールエリアに侵入し、ボールを自陣のアウターゴールラインの外へと、はたき出した。

(a) 白チームの 7ｍ スロー

(b) 白チームのスローイン

(c) 白チームのフリースロー

(d) 黒チームのゴールキーパースロー

I 4-9　白チーム 3 番の 7ｍ スローで、レフェリーの笛の合図の後、白チーム 3 番がボールを手から離す前に、白チーム 5 番はフリースローラインを踏み越えた。

(a) 7ｍ スローを再度実施

(b) 相手チームのフリースロー

(c) 相手チームのゴールキーパースロー

(d) 白チームの 5 番に、段階的罰則を適用

14-10　白チームの 9 番は、完全にノーマークの状態で黒チームのゴールエリアラインに沿って立ち、パスを待っていた。このチャンスに気付いた白チームの 10 番は、白チームの 9 番に向けゴールエリアを横切るバウンドパスを出した。これを見た黒チームの 3 番は、完全に両足ともゴールエリア内に踏み込んだ状態で、パスを妨害した。黒チームの 3 番のこの行為は、この試合 2 回目である。

(a) 白チームのフリースロー

(b) 白チームの 7 m スロー

(c) 黒チームの 3 番に、段階的罰則を適用

14-11　黒チームのピボット 10 番は、白チーム 2 番に正当に守られていた。黒チーム 10 番が移動できる状態になったとき、黒チーム 4 番は黒チーム 10 番が入り込めるスペースにバウンドパスを出した。黒チーム 10 番が移動しボールをキャッチしようとしたとき、白チーム 2 番は、黒チーム 10 番のユニホームを背後から掴んだ。

(a) 黒チームのフリースロー

(b) 白チームのプレーヤーの位置に関係なく、黒チームの 7 m スロー

(c) 黒チーム 10 番のシュートを正当に阻止できる白チームのプレーヤーが他にいなかった場合、黒チームの 7 m スロー

(d) 白チームの 2 番に、段階的罰則を適用

(e) 白チームの 2 番を、直接の失格（レッドカードを示す）

I 4-I 2　ボールを持った白チームの 3 番は、黒チームのゴールに向かって速攻を仕掛け、明らかな得点チャンスを得ている。白チームの 3 番がジャンプシュートを打とうとしたとき、観客席から笛が鳴った。そのため白チームの 3 番は、シュートを打たずにゴールエリア内でボールを持ったまま立ち止まった。

(a) 笛の合図の後に、黒チームのフリースロー

(b) 白チームの 7 m スロー

(c) 白チームのフリースロー

(d) 笛の合図の後に、黒チームのゴールキーパースロー

(e) 連盟や大会の規定に従い、記録用紙にその旨を特記

I 4-I 3　得点は 26 対 26 の状況で、白チームが速攻を仕掛けていた。白チームの 5 番が、黒チームのゴールエリアラインの近くからシュートを打とうとした瞬間、タイムキーパーが競技の終了合図の笛を吹いた。しかしレフェリーは、競技時間がまだ 20 秒残っていると判断した。

(a) ジャッジーズテーブルの前から白チームのフリースロー

(b) 白チームの 7 m スロー

(c) 連盟や大会の規定に従い、記録用紙にその旨を特記

(d) 笛の合図がなされた際にボールのあった位置から、白チームのフリースロー

I 4-I 4　7 m スローの実施に関する正しい記述はどれか。

(a) スローを行うプレーヤーは、7 m ラインの後方 I m 以内に立つことが許される

(b) 防御側チームがゴールキーパーを交代する場合、レフェリーはタイムアウトを取らなければならない

(c) ゴールキーパーが繰り返しゴールキーパーラインを踏み越えた場合、段階的罰則を適用する

(d) 防御側プレーヤーは、スローを行うプレーヤーから 3 m 以上離れなければならない

I 4-I 5　白チーム 5 番はボールを持って右サイドから黒チームのゴールエリア上に飛び込むと、ゴールエリアラインから約 50 cm 内側で両腕を上げて立っていた黒チーム II 番と衝突した。黒チーム II 番のこの行為は、この試合 3 回目である。

(a) 白チームの 7 m スロー

(b) 白チーム 5 番のオフェンシブファール（攻撃側の違反）

(c) 黒チーム II 番を、2 分間退場

(d) 黒チーム II 番を、警告

I 4-I 6　白チームの 6 番が速攻を仕掛け、明らかな得点チャンスとなったタイミングで、会場の照明が消えた。

(a) レフェリーは、明らかな得点チャンスの結果を待つ

(b) レフェリーは直ちにタイムアウトを取って、競技を中断する

(c) 照明が復旧した後、白チームのフリースローにより競技を再開する

(d) 照明が復旧した後、白チームの 7 m スローにより競技を再開する

(e) 連盟や大会の規定に従い、記録用紙にその旨を特記

I 4-I 7　白チーム 3 番の 7 m スローで、レフェリーの笛の合図の後、白チーム 3 番がボールを手から離す前に、白チーム 5 番はフリースローラインを踏み越えた。打ったシュートは、黒チームのゴールキーパー 1 番に止められた。

(a) 白チームは 7 m スローを再度実施

(b) 黒チームのフリースロー

(c) 黒チームのゴールキーパースロー

I 4-I 8　白チームの 2 番は、7 m スローを行おうとしていた。コートレフェリーが笛を吹いた後、白チームの 2 番はボールを床に落としてしまった。黒チームの 3 番はすぐにボールを拾い上げ、黒チームの 2 番にパスをし、速攻を仕掛けた黒チームの 2 番はシュートを決めた。

(a) 黒チームの得点

(b) 7 m スローを再度実施

(c) 黒チームのフリースロー

(d) タイムアウト

I 4-I 9　白チームの 6 番は相手のフリースローライン付近でボールを持っていたが、黒チームの 5 番の危害を及ぼすような行為により倒された。このとき白チームの 6 番と黒チームのゴールとの間には、黒チームの 8 番がゴールエリアライン際で立っていた。

(a) 白チームのフリースロー

(b) 黒チームの 5 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカードを示す）

(c) 黒チームの 5 番を、2 分間退場とする

(d) 白チームの 7 m スロー

１４−２０　白チームの 7 人攻撃中（ゴールキーパー不在の状況）に、黒チーム 8 番がパスをインターセプトした。黒チーム 8 番はドリブルし、無人のゴールに向けシュートを打つための体勢を取る前に白チーム 3 番に妨害され、動きを止められた。その間に白チームのゴールキーパー 12 番は、白チーム 7 番と正しく交代し、ゴールエリアの中に戻った。

(a) 黒チームのフリースロー

(b) 黒チームの 7 m スロー

(c) タイムアウト

(d) 白チームの 3 番を、2 分間退場

１４−２１　白チームの 7 人攻撃中（ゴールキーパー不在の状況）に、黒チーム 5 番がパスをインターセプトし、そのまま、明らかに無人のゴールに向かって直接シュートを打とうとした。その瞬間、白チーム 6 番に背後から押されたため、黒チーム 5 番は部分的に身体のコントロールを失い、ボールはゴールから外れた。

(a) 黒チームのフリースロー

(b) 黒チームの 7 m スロー

(c) タイムアウト

(d) 白チーム 6 番を、2 分間退場

(e) 白チーム 6 番を、失格（レッドカードを示す）

１４−２２　白チームの 7 人攻撃中（ゴールキーパー不在の状況）に、白チーム 11 番のパスミスにより、ボールはサイドラインを越え黒チームのスローインとなった。黒チーム 9 番はボールを拾い上げ、無人のゴールに向かってスローインから直接シュートを打った。しかしボールは、スローを行うプレーヤーからとても近い距離に立っていた白チームの 4 番によってブロックされた。

(a) 白チームの 4 番の位置を修正

(b) 白チームの 4 番に、段階的罰則を適用する

(c) 笛の合図の後に、黒チームのスローインを再度実施

(d) 黒チームのフリースロー

(e) 黒チームの 7 m スロー

(f) 白チームの 4 番を、即座に 2 分間退場とする

Ｉ４−２３　白チームの 7 人攻撃中（ゴールキーパー不在の状況）に、レフェリーは白チーム 7 番に対し、**攻撃側の違反を判定**した。黒チーム 8 番はボールを取り、フリースローの実施によって明らかに無人のゴールに向かって直接シュートを打とうとした。ボールが手から離れる直前に、白チーム 7 番によって後ろから捕まえられ引き倒された。これにより黒チーム 8 番は、部分的に身体のコントロールを失った。その直後、白チームのゴールキーパー 16 番は、白チーム 2 番と正しく交代し、ゴールエリアの中に戻った。

(a) 白チーム 7 番に、段階的罰則を適用

(b) 白チーム 7 番を、2 分間退場

(c) 白チーム 7 番を、失格（レッドカードを示す）

(d) タイムアウト

(e) 笛の合図の後に、黒チームのフリースローを再度実施

(f) 黒チームの 7 m スロー

★Ｉ４−２４　白チームはゴールキーパー不在の状況で、攻撃を行っている。黒チーム 9 番がパスをインターセプトし、白チームの無人のゴールへとボールを投げ入れた。白チーム 4 番はゴールエリアの外からジャンプし、ゴールエリア上の空中にある間にボールをキャッチし、そのままボールを手にしてゴールエリアの中に着地した。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 黒チームのフリースロー

(b) 黒チームの 7 m スロー

(c) 白チームの 4 番への罰則は不要

(d) 白チームの 4 番を、警告とする

(e) 白チームの 4 番を、2 分間退場とする

第１５条　　スローの実施に関する一般的な指示
（スローオフ、スローイン、ゴールキーパースロー、
フリースロー、７ｍ スロー）

１５−１　　白チームのゴールキーパー　13　番が、ゴールキーパースローを行うためボールを後方に引いたとき、ボールはゴールラインを越えゴールに入っていた。

(a) そのまま競技を続行

(b) 笛の合図の後に、白チームのゴールキーパースロー

(c) 相手チームの得点

(d) 相手チームのフリースロー

１５−２　　競技終了 20 秒前、20 対 19 で白チームがリードしていた。白チームのゴールキーパー　12　番は、ドリブルしながらゴールエリア内を行ったり来たりし、ゴールキーパースローの実施に時間をかけていた。

(a) タイムアウト

(b) 白チームのフリースロー

(c) ゴールキーパースロー実施の笛の合図

(d) 白チームの 12 番を、2 分間退場

(e) パッシブプレーの予告合図

I 5-3　レフェリーは、白チームのフリースローライン近くで黒チームにフリースローを与えた。両チームのプレーヤーが正しい位置についた後、レフェリーは競技再開の笛を吹いた。スローを行うプレーヤーがボールを手から離す前に、スローを行うプレーヤーの味方のプレーヤー 2 名が、フリースローラインを踏み越えた。

(a) 再度、黒チームのフリースローを実施

(b) 白チームのフリースロー

(c) 笛の合図の後に

(d) 笛の合図なしに

★I 5-4　白チームのゴールキーパー 12 番はゴールキーパースローを行おうと、片手でボールを持ってゴールエリア内に立っていた。黒チームの 6 番は、開いた片手でゴールキーパーの手からボールを払い落とした。

(a) 笛の合図なしに、白チームのゴールキーパースロー

(b) 笛の合図の後に、白チームのフリースロー

(c) 笛の合図の後に、白チームのゴールキーパースロー

(d) 黒チームの 6 番を、即座に 2 分間退場とする

I 5-5　白チームにスローインが与えられた。白チームの 8 番は、スローインから直接ゴールを狙った。ボールはゴールポストに当たり跳ね返ってきたので、白チームの 8 番はボールをキャッチしシュートを決めた。

(a) 相手チームのゴールキーパースロー

(b) 白チームの得点

(c) 笛の合図の後に、スローインを再度実施

(d) 相手チームのフリースロー

15-6　黒チームのゴールキーパー 12 番は、シュートを止めた。黒チームのゴールキーパー 12 番はすぐに速攻を開始させようとしたが、ボールは手からこぼれ落ち、自チームのゴールに入った。

(a) 相手チームの得点

(b) 笛の合図の後に、ゴールキーパースローを再度実施

(c) 相手チームのスローイン

(d) 相手チームのフリースロー

15-7　白チームの 6 番は、味方ゴールキーパーに向かってスローインを実施した。白チームのゴールキーパー 1 番はボールに気づくのが遅れ、ボールはゴールラインを越えゴールに入った。

(a) 相手チームのフリースロー

(b) 相手チームの得点

(c) 白チームのゴールキーパースロー

(d) 笛の合図の後に、白チームのスローインを再度実施

15-8　白チームの 7 番はスローインを実施したが、ボールはレフェリーに当たってしまった。白チームの 7 番はそのボールを再び拾い上げ、黒チームのゴールにシュートを決めた。

(a) 黒チームのゴールキーパースロー

(b) 白チームの得点

(c) 黒チームのフリースロー

(d) 笛の合図の後に、スローインを再度実施

(e) 白チームのフリースロー

15-9　白チームがフリースローを行おうとしており、すべてのプレーヤーは正しい位置にいた。白チーム 10 番は指示を出すため、持っていたボールを床に置いた。黒チーム 7 番はこの状況をすぐに把握し、ボールを拾い上げて速攻を開始した。

(a) そのまま競技を続行

(b) 笛の合図の後に、白チームのフリースローを再度実施

(c) 黒チームの 7 番を警告とし、白チームのフリースロー

(d) 黒チームの 7 番を 2 分間退場とし、白チームのフリースロー

15-10　黒チーム 9 番はフリースローを行いたかったが、白チーム 11 番がボールからわずか 2 m しか離れていない場所から、スローの実施を遅らせようとしていた。

(a) 白チーム 11 番に段階的罰則を適用し、笛の合図の後に黒チームのフリースロー

(b) 笛の合図の後に、白チームのフリースロー

(c) 白チーム 11 番を、即座に 2 分間退場

(d) 白チーム 11 番の位置を正し、笛の合図の後にフリースロー（罰則は不要）

15-11　白チームのフリースローライン近くで黒チームのフリースローとなった。レフェリーは、フリースローラインとゴールエリアラインの間に黒チームの 8 番がいるのを見落としていたため、黒チームの 8 番はボールを受け取り、シュートを決めた。

(a) 笛の合図の後に、黒チームのフリースローを再度実施

(b) 白チームのフリースロー

(c) 黒チームの得点

(d) 黒チームの 8 番を、警告

15-12　黒チームのゴールキーパー 12 番は、白チームのゴールに向けてゴールキーパースローを実施した。ボールは両チームの誰にも触れることなく、白チームのゴールに入った。

(a) 白チームのゴールキーパースロー

(b) 白チームのスローイン

(c) 黒チームの得点

(d) スポーツマンシップに反する行為で、黒チームの 12 番を警告

15-13　白チームの 5 番は、すでに警告と 2 回の 2 分間退場が与えられていた。黒チームがフリースローを行うとき、白チームの 5 番は、適切な距離を保たずにフリースローの実施を妨げた。白チームの 5 番のこの行為は、この試合で初めてであった。

(a) 白チームの 5 番を、警告

(b) 罰則は不要

(c) 白チームの 5 番を 3 回目の 2 分間退場とし、失格（レッドカードを示す）

15-14　競技終了の直前、24 対 23 で白チームがリードしていた。黒チームのフリースローラインから約 1 m 離れた位置で、白チームにフリースローが与えられた。すべてのプレーヤーは正しい位置につき、レフェリーは競技再開の笛を吹いた。白チームの 10 番は、ボールを手から離す前に 1 歩踏み出しながらフリースローを行った。

(a) 白チームのフリースロー

(b) タイムアウト

(c) 白チームの 10 番を、2 分間退場

(d) 黒チームのフリースロー

15-15　白チームの 14 番は、笛の合図なしに黒チームのフリースローラインに沿ってフリースローを実施しようとしている。白チームの 14 番も、その味方プレーヤーもそれぞれ正しい位置に立っている。白チームの 14 番がボールを手から離す前に、白チームの 13 番と 15 番は、ゴールエリアラインに向かって走り、フリースローラインを踏み越えた。

(a) 誤った位置を修正

(b) 笛の合図の後に、白チームのフリースロー

(c) そのまま競技を続行

(d) 黒チームのフリースロー

15-16　黒チームのゴールキーパー 1 番は、ゴールキーパースローを実施した。ボールはレフェリーに当たり跳ね返り、その間にゴールエリアの外に出た黒チームの 1 番は、そのボールをキャッチした。

(a) そのまま競技を続行

(b) 笛の合図の後に、ゴールキーパースローを再度実施

(c) 相手チームのフリースロー

(d) 笛の合図の後に、黒チームのフリースロー

15-17　黒チームの 11 番がフリースローを行うために腕を後方に引いたとき、ボールは完全にコートの外に出た。

(a) そのまま競技を続行

(b) 相手チームのフリースロー

(c) 相手チームのスローイン

(d) 黒チームの 11 番に口頭で注意し、相手チームのフリースロー

１５−１８　白チームのゴールキーパー １ 番は、ゴールラインの直前でボールを止めた。その後、白チームの ４ 番にパスをしようとしたが、ボールは手からこぼれ落ち、自チームのゴールに入った。

(a) 相手チームの得点

(b) 相手チームのフリースロー

(c) 相手チームの ７ m スロー

(d) 笛の合図の後に、白チームのゴールキーパースローを再度実施

１５−１９　白チームがスローオフを行おうとしていた。コートレフェリーがスローオフの笛を吹くと白チーム 13 番は、白チーム ７ 番と ３ 番が黒チームのコートの半ばまで走り込み、有利な位置にいることに気付いたため、スローオフしようとしていた白チーム ９ 番の手からボールを奪い取り、白チーム ７ 番にボールを投げた。ボールをキャッチした白チーム ７ 番は、シュートを決めた。

(a) 白チームの得点

(b) 誤りを正し、白チームはスローオフを再度実施

(c) 黒チームのフリースロー

(d) 白チームの 13 番を、口頭で注意

(e) 白チームの ７ 番と 13 番を、口頭で注意

１５−２０　（スローオフエリアを採用しないコート）競技終了 4 秒前、30 対 30 から白チームが得点を決めて 31 対 30 とリードした。素早くスローオフを行おうとした黒チームの 10 番は、片足をセンターラインの手前（自陣側）に、他方の足をセンターラインの向こう側（相手陣内）に置いた。そしてレフェリーの笛の合図なしに、黒チームの 10 番は白チームのゴールの中にボールを投げ入れた。そこで、自動終了合図があった。

(a) 黒チームの得点

(b) 黒チームはスローオフを再度実施

(c) スローの結果を待つ

(d) タイムアウト

(e) 黒チームの得点を認めず、競技の終了

１５−２１　黒チームのフリースローラインから、白チームにフリースローが与えられた。スローを行う白チームの 7 番も、その味方プレーヤーもそれぞれフリースローラインの外側に正しく立っていた。笛の合図なしにフリースローは素早く行われたが、白チームの 7 番がボールを手から離す前に、白チームの 9 番と 18 番は、フリースローラインを越えて侵入した。

(a) 黒チームのフリースロー

(b) 誤った位置を修正

(c) 笛の合図の後に、白チームのフリースローを実施

(d) 黒チームにフリースローとし、白チームの 9 番と 18 番に、警告

Ｉ５−２２　オウンゴール（得点）となりえないスローはどれか。

(a) ゴールキーパースロー

(b) フリースロー

(c) スローイン

(d) スローオフ

Ｉ５−２３　黒チームの 4 番は、正しい位置についてスローインを行おうとしていた。しかし、パスをする味方のプレーヤーが見つからなかったため、黒チームの 4 番は、サイドラインの内側でボールを一度はずませた。

(a) 笛の合図なしに、相手チームのフリースロー

(b) 笛の合図の後に、相手チームのスローイン

(c) 笛の合図の後に、再度、黒チームのスローイン

(d) 笛の合図の後に、黒チームのフリースロー

Ｉ５−２４　白チームのフリースローとなった。白チームの 9 番は、レフェリーの笛の合図なしにジャンプをしながら素早くフリースローを行い、ボールは黒チームのゴール前で完全にノーマークの状態になっている白チームの 4 番に渡った。

(a) そのまま競技を続行

(b) 黒チームのフリースロー

(c) 笛の合図の後に、白チームのフリースローを再度実施

I 5−2 5　白チームのフリースローとなった。白チーム 5 番は、レフェリーの笛の合図なしに全力で走りながら素早くフリースローを行い、白チーム 4 番にパスをした。しかしボールは、黒チーム 3 番によってインターセプトされ、黒チーム 3 番は、白チームのゴール前でノーマークの状態となった。

(a) そのまま競技を続行

(b) 笛の合図の後に、フリースローを再度実施

(c) 黒チームの 3 番に段階的罰則を適用し、フリースローを再度実施

I 5−2 6　**黒チームは、レフェリーの笛の合図なしにフリースローを実施しようとしている。**黒チーム 8 番は、両足と左手を床につけた状態で、スローを実施し、ボールを受け取った黒チーム 6 番は、シュートを決めた。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) 黒チームの得点

(b) 誤りを正し、笛の合図の後にフリースローを再度実施

(c) 白チームのフリースロー

★Ｉ５−２７　黒チームの得点後、レフェリーはスローオフ実施のための笛を吹いた。スローを行うプレーヤーの手からボールが離れる前に、タイムキーパーから、白チームの 6 番がコートから出る前に、白チームの 5 番はコートに入ったことによる笛の合図があった。レフェリーの正しい判定はどれか。

(a) タイムアウト

(b) 白チームの 5 番を、2 分間退場とする

(c) 白チームの 6 番を、2 分間退場とする

(d) 笛の合図があったとき、競技は中断中であったため、白チームのスローオフで競技を再開する

(e) 黒チームのフリースローで競技を再開する

(f) 白チームのフリースローで競技を再開する

第１６条　　罰則

１６−１　　白チームのチーム役員 B は、抗議をしたため 2 分間退場となった。競技が再開される前にチーム役員 B は、再度抗議をしたので失格となった。

(a) 白チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 2 名減らす

(b) 白チームはコート上のプレーヤーを、4 分間 1 名減らす

(c) 白チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 1 名減らす

１６−２　　白チームの 8 番は、プッシングにより 2 分間退場となった。白チームの 8 番はレフェリーに近寄り、「この間抜け！馬鹿野郎！お前は何も分かっていない！」などと罵った。さらにコートから出る前に、レフェリーの顔に唾をかけた。

(a) 白チームの 8 番を失格（レッドカードを示す）とし、白チームはコート上のプレーヤーを 4 分間 1 名減らす

(b) 白チームの 8 番を失格（レッドカードを示す）とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 2 名減らす

(c) 白チームの 8 番を、報告書を伴う失格（レッドカードとブルーカードを示す）とし、白チームはコート上のプレーヤーを 4 分間 1 名減らす

(d) 白チームの 8 番を、報告書を伴う失格（レッドカードとブルーカードを示す）とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 2 名減らす

１６−３　　競技中、チーム役員に対して各チーム最大何回まで警告とすることができるか。

(a) 制限なし

(b) 1 回

(c) 2 回

(d) 3 回

16-4　プレーヤーの退場時間は、いつ計測し始めるか。

(a) レフェリーが、退場のジェスチャーをしたとき

(b) 退場となったプレーヤーが、サイドラインを越えたとき

(c) レフェリーが、競技再開の笛を吹いたとき

(d) タイムキーパーが、ストップウォッチを始動させたとき

16-5　プレーヤーを退場としたとき、この退場は誰に示さなければならないか。

(a) 退場としたプレーヤー、タイムキーパー、スコアキーパー

(b) チーム責任者、タイムキーパー

(c) タイムキーパー、スコアキーパー

(d) 退場としたプレーヤー、チーム責任者、スコアキーパー

16-6　黒チームの 5 番は、競技序盤で 2 回の 2 分間退場となっていた。一つは段階的罰則によるもので、もう一つは相手チームのボールとなった際にボールを投げたことによるものだった。そして今、黒チームの 5 番は、チームとして 2 回目となる不正交代をした。競技が再開される前に、黒チームの 5 番は極めてスポーツマンシップに反する行為をした。

(a) 黒チームの 5 番を、2 分間退場とする

(b) 黒チームの 5 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカードを示す）。黒チームはコート上のプレーヤーを、4 分間 1 名減らす

(c) 黒チームの 5 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカードを示す）。黒チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 2 名減らす

16-7　白チームの 5 番は、違反により 2 分間退場となった。白チームの 5 番は、コートを出て行く途中でレフェリーを侮辱したため、失格となった。白チームの 5 番は激怒し、レフェリーを殴った。

(a) 報告書を作成する（ブルーカードを示す）

(b) 白チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 1 名減らす

(c) 白チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 2 名減らす

(d) 白チームはコート上のプレーヤーを、4 分間 1 名減らす

16-8　白チームの 7 番は、スポーツマンシップに反する行為で 2 分間退場となった。白チームの 7 番は競技が再開される前に、レフェリーに対し「何も見えていないじゃないか。馬鹿野郎！」と言った。

(a) 白チームの 7 番に、2 分間退場を追加する

(b) 白チームの 7 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカード）

(c) 白チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 2 名減らす

(d) 白チームはコート上のプレーヤーを、4 分間 1 名減らす

(e) 白チームの 7 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）

16-9　白チームの 3 番は 2 分間退場となった。白チームの 3 番はコートから出た後、競技が再開される前に、交代地域で黒チームのチーム役員 B に対して著しくスポーツマンシップに反する行為をした。その直前に黒チームのチーム役員 B は、許可が与えられていないにも関わらずコート内に走り込んできた。この試合、黒チームのチーム役員に対して、まだ罰則は適用されていない。

(a) 白チームの 3 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカードを示す）

(b) 黒チームのチーム役員 B を、警告とする

(c) 白チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 2 名減らす

(d) 白チームはコート上のプレーヤーを、4 分間 1 名減らす

16-10　プレーヤーが失格となったとき、そのチームはコート上のプレーヤーの数を 1 名減らされることになるが、例外となるのはどのような失格の場合か。

(a) 休憩時間中に、著しくスポーツマンシップに反する行為をしたとき

(b) コート外で違反をしたとき

(c) 競技の開始前に違反をしたとき

(d) レフェリーを侮辱したとき

16-11　前後半の間の休憩時間中、まだコートにとどまっていた白チームの 7 番は、黒チームのゴールキーパー 12 番に暴力行為をした。

(a) 白チームの 7 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）。白チームは後半の開始時に、コート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

(b) 白チームの 7 番を、警告とする

(c) 競技は中断されているため、白チームの 7 番に口頭で注意する

16-12　前後半の間の休憩時間中、レフェリーが控室に戻る途中で、黒チーム 7 番から侮辱された。

(a) 黒チーム 7 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカード）

(b) 黒チーム 7 番を、2 分間退場とする

(c) 黒チームは後半の開始時に、コート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

(d) 黒チーム 7 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）

16-13　前後半の間の休憩時間に入った後、黒チーム 5 番と白チーム 9 番はコート上で衝突し、お互いに大声を出し始めた。そのとき白チーム 9 番が黒チーム 5 番の胸を両手で突き飛ばしたため、黒チーム 5 番はよろめいた。

(a) 後半の開始時、白チーム 9 番を、2 分間退場とする

(b) 白チーム 9 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカードを示す)。白チームは後半の開始時、コート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

(c) 白チーム 9 番を失格とするが、白チームはコート上のプレーヤーを減らさずに後半の競技を開始する

(d) 白チーム 9 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカードを示す)。白チームは後半の開始時に、コート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

16-14　競技終了後、白チーム 10 番はレフェリーに向かって「この間抜け！お前たちが俺たちの試合を台無しにした！」と叫んだ。

(a) 白チーム 10 番を、警告とする

(b) 白チーム 10 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）

(c) 報告書を作成する

(d) 白チーム 10 番を警告とし、報告書を作成する

16-15　前後半の間の休憩時間中、まだコートにとどまっていた白チーム 9 番は、黒チームのチーム役員 B に対して暴力行為をした。続けて黒チームのチーム役員 B が、白チーム 9 番を侮辱した。

(a) 白チーム 9 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカードを示す)。白チームは後半の開始時に、コート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

(b) 黒チームのチーム役員 B を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカードを示す)。黒チームは後半の開始時に、コート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

(c) 白チーム 9 番を、失格とする（レッドカードを示す)。白チームはコート上のプレーヤーを減らさずに、後半の競技を開始する

(d) 黒チームのチーム役員 B を、失格とする（レッドカードを示す)。黒チームはコート上のプレーヤーを減らさずに、後半の競技を開始する

16-16　白チームの 7 番は 3 回目の 2 分間退場により失格となった。その直後、白チームの 7 番はレフェリーに異議を唱えて、コートを去らなかった。

(a) 罰則は追加しない

(b) 白チームはコート上のプレーヤーを、4 分間 1 名減らす

(c) 白チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 2 名減らす

16-17　前半に警告を受けていた白チーム 11 番は、休憩時間中にスポーツマンシップに反する行為をした。白チームは、前半終了時に退場者はいなかった。

(a) 白チーム 11 番を、警告とする

(b) 白チーム 11 番を、2 分間退場とする

(c) 白チーム 11 番を、失格とする

(d) 白チームは後半の開始時に、コート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

(e) 白チームはコート上のプレーヤーを減らさずに、後半の競技を開始する

16-18　白チームの 4 番がケガをしたため、レフェリーはタイムアウトを取り、白チームに対して治療のための入場許可のジェスチャーを示した。白チームのチーム役員 A と B だけでなく黒チームのチーム役員 A もコートに入ってきた。黒チームのチーム役員 A はすでに警告を受けていた。

(a) 罰則は不要

(b) 競技再開時に、黒チームはコート上のプレーヤーを減らさなくてよい

(c) 黒チームのチーム役員 A を、2 分間退場とする

(d) 黒チームのチーム役員 A を、失格とする（レッドカードを示す）

(e) 競技再開時に、黒チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 1 名減らす

(f) コート上で治療を受けた後、白チームの 4 番はコートから出なければならず、自チームが 3 回の攻撃を終えた後、コートに戻ることができる

16-19　黒チームの 9 番は、白チームの 9 番に対する重大な違反により失格となった。競技の再開前に黒チームの 9 番は、白チームのチーム役員 A の顔を殴った。

(a) 黒チームの 9 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカードを示す)。黒チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 2 名減らす

(b) 黒チームの 9 番を、報告書を伴わない失格とする（レッドカードを示す)。黒チームはコート上のプレーヤーを、4 分間 1 名減らす

(c) 罰則の追加は不要

(d) 黒チームの 9 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカードを示す)。黒チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 2 名減らす

(e) 黒チームの 9 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカードを示す)。黒チームはコート上のプレーヤーを、4 分間 1 名減らす

16-20　競技は中断され、黒チームの 8 番は 1 回目の 2 分間退場となった。競技再開前、黒チームの 8 番はコートから去る際、レフェリーにスポーツマンシップに反する態度で話しかけた。

(a) 黒チームの 8 番に、2 分間退場を追加する。黒チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 2 名減らす

(b) 黒チームの 8 番に、2 分間退場を追加する。黒チームはコート上のプレーヤーを、4 分間 1 名減らす

(c) 黒チームの 8 番を、失格とする（レッドカードを示す)。黒チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 2 名減らす

(d) 黒チームの 8 番を、失格とする（レッドカードを示す)。黒チームはコート上のプレーヤーを、4 分間 1 名減らす

16-21　チームがコート上のプレーヤーを、4 分間 1 名減らさなければならない状況は、次のうちどれか。

(a) 失格となったプレーヤーがコートから出るとき、2 分間退場に相当する態度で抗議した

(b) 2 分間退場となったプレーヤーがコートから出るとき、レフェリーを侮辱し、失格となった

(c) 相手に対するスポーツマンシップに反する行為により 2 分間退場となったプレーヤーが、まだコート内にいる間に、相手の顔を殴り失格となった

(d) スポーツマンシップに反する行為により 2 分間退場となったプレーヤーが、一旦、サイドラインを越えてコートを出た後、再びコートに戻って抗議した。そのためレフェリーは、2 分間退場を追加した

(e) 相手に唾を吐いて失格となったプレーヤーが、コートから出るとき、レフェリーを押した

(f) 重大な違反により失格となったプレーヤーが、コートから出た後、競技の再開後、観客席からレフェリーを侮辱した

16-22　白チーム 5 番は、前半 7 分 00 秒に 2 分間退場となった。白チーム 5 番は、競技が再開される前に抗議をしたため、2 分間の退場が追加された。ちょうど 1 分後、白チーム 5 番はコート内に走り込んできたため、タイムキーパーは笛を吹いた。白チーム 5 番は不正入場により、(3 回目の 2 分間退場により）失格となった。この判定を受け白チーム 5 番は、レフェリーを侮辱した。

(a) 白チームはコート上のプレーヤーを 7 分 00 秒から 8 分 00 秒まで 1 名減らし、8 分 00 秒から 10 分 00 秒まで 2 名減らす。そして、10 分 00 秒から 11 分 00 秒まで 1 名減らす

(b) 白チームはコート上のプレーヤーを 7 分 00 秒から 8 分 00 秒まで 1 名減らし、8 分 00 秒から 11 分 00 秒まで 2 名減らす。そして、11 分 00 秒から 12 分 00 秒まで 1 名減らす

(c) 白チームはコート上のプレーヤーを 7 分 00 秒から 8 分 00 秒まで 2 名減らし、8 分 00 秒から 10 分 00 秒まで 3 名減らす。そして、10 分 00 秒から 11 分 00 秒まで 2 名減らす

(d) 白チームはコート上のプレーヤーを 7 分 00 秒から 8 分 00 秒まで 2 名減らし、8 分 00 秒から 10 分 00 秒まで 4 名減らす。そして、10 分 00 秒から 11 分 00 秒まで 2 名減らす

(e) 白チーム 5 番を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）

I 6-２３　白チームのチーム役員 C は、前半にスポーツマンシップに反する行為により警告を受けていた。後半 5 分 50 秒に白チームのチーム役員 B が、レフェリーの判定に納得できないことをジェスチャーで大げさにアピールをしたため、2 分間退場となった。そして今、試合終了 3 分前に、白チームのチーム役員 A が、レフェリーの許可なくコートに入場した。

(a) 白チームのチーム役員 A を、警告とする

(b) 白チームのチーム役員 A を 2 分間退場とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 I 名減らす。チーム役員 A は、交代地域にいることができる

(c) 白チームのチーム役員 A を 2 分間退場とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 I 名減らす。チーム役員 A は、交代地域を去らなければならない

(d) 白チームのチーム役員 A を、報告書を伴わない失格（レッドカードを示す）とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 I 名減らす

(e) 白チームのチーム役員 A を、報告書を伴う失格（レッドカードとブルーカードを示す）とし、白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間 I 名減らす

★16-24　黒チーム 11 番は、シュートを打つ際に白チーム 10 番によって横から押され、部分的に身体のコントロールを失いながらも、シュートを決めた。この白チーム 10 番の行為に対して、レフェリーは 2 分間退場とした。白チーム 10 番がコートから出た後、レフェリーはスローオフの笛を吹いた。スローが実施される前に、白チーム 9 番が余計なプレーヤーとしてコートに入ったため、TO は笛を吹き、公示時計は止められた。このとき公示時計に表示されている白チーム 10 番の退場時間は、残り 1 分 58 秒を示していた。正しい判定はどれか。

(a) 白チームの 9 番を、2 分間退場とする

(b) 白チームはコート上のプレーヤーを 2 分間、2 名減らす

(c) 1 分 58 秒間、白チームはコート上のプレーヤーを 2 名減らす。1 分 58 秒後に最初の退場は満了となり、その後 2 秒間、白チームはコート上のプレーヤーを 1 名減らす

(d) 白チームのスローオフで競技を再開する

(e) 黒チームのフリースローで競技を再開する

(f) タイムアウト

★１６−２５　白チームのボールで競技中、白チームのチーム役員 B は、黒チームのプレーは 2 分間退場だと抗議をした。そのため TO は競技を中断し、白チームのチーム役員 B を警告とした。試合が再開される前にチーム役員 B は再度抗議をしたので、レフェリーは 2 分間退場とした。するとチーム役員 B は、レフェリーに対し「馬鹿野郎」と言った。正しい判定はどれか。

(a) 白チームはコート上のプレーヤーを、4 分間 1 名減らす

(b) 白チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 2 名減らす

(c) 白チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 1 名減らす

(d) チーム役員 B を、報告書を伴わない失格とする（レッドカード）

(e) チーム役員 B を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカード）

(f) これ以降、別の白チームのチーム役員に対して、警告や 2 分間退場を適用することができる

(g) 警告、2 分間退場、失格を記録用紙に記載する

(h) 白チームのフリースローで再開する

(i) 黒チームのフリースローで再開する

第１７条　　レフェリー

Ｉ７−Ｉ　　どちらのチームがスローインを行うかについて、両レフェリーの見解が異なった場合、どのように対処したらよいか。

(a) コートレフェリーが決定

(b) ゴールレフェリーが決定

(c) 両レフェリーが協議し、合意した判定を採用

(d) タイムアウト

(e) タイムアウトは取らないが、スローインは笛の合図の後に実施する

Ｉ７−２　　競技時間がすでに終了しているにもかかわらず、公示時計の自動終了合図が作動しなかった。タイムキーパーはトラブルに気づいておらず、この事態に反応していなかった。この場合、誰が競技終了の合図をするか。

(a) スコアキーパーのみ

(b) コートレフェリーのみ

(c) TO のみ

(d) どちらか一方のレフェリーのみ

(e) タイムキーパーのみ

(f) タイムキーパー、TO、レフェリーのどちらか

★Ｉ７−３　　黒チームの ２ 番が違反をした。コートレフェリーは、黒チームの ２ 番を失格（レッドカードを示す）とし、フリースローだと判断した。ゴールレフェリーは黒チームの ２ 番に対し、２ 分間退場と ７ ｍ スローだと判断した。黒チームの ２ 番への罰則と再開方法はどれか。

(a) **協議が合意に至らなかった場合、**黒チームの ２ 番を、２ 分間退場

(b) **協議が合意に至らなかった場合、**黒チームの ２ 番を、失格（レッドカード）

(c) **協議が合意に至らなかった場合、**フリースロー

(d) **協議が合意に至らなかった場合、**７ ｍ スロー

(e) 両レフェリーは、協議が合意となるよう努めなければならない

Ｉ７−４　　計時が疑わしいとき、誰が正確な時間を決定するか。

(a) タイムキーパーとスコアキーパー

(b) 両レフェリーが協議して決定

(c) タイムキーパーが決定

(d) 両レフェリーとタイムキーパーが協議して決定

I 7-5　報告書の作成が必要となるのは、どの罰則か。

(a) 3 回目の 2 分間退場を判定したことに伴う失格を除くすべての失格

(b) 注意を除くすべての罰則

(c) すべての 2 分間退場と失格

(d) 競技終了前 30 秒間に、相手が明らかな得点チャンスを得ることを妨害する目的で行った危害を及ぼす行為や、著しくスポーツマンシップに反する行為に対する失格

(e) 極めてスポーツマンシップに反する行為による失格

(f) 競技終了前 30 秒間に、相手が明らかな得点チャンスを得ることを妨害する目的で行ったすべての段階的罰則

I 7-6　競技中、レフェリーに話しかけることが許されるのは誰か。

(a) すべてのプレーヤー

(b) すべてのチーム役員

(c) チーム責任者

(d) チームキャプテン

I 7-7　競技の残り時間について、両レフェリーの見解が異なった。最初に指摘したゴールレフェリーはまだ 50 秒残っていると言い、コートレフェリーは 42 秒だと言った。

(a) 長い方を採用する（つまり 50 秒）

(b) 最初に指摘をしたゴールレフェリーの判断を採用する（つまり 50 秒）

(c) コートレフェリーの判断を採用する（つまり 42 秒）

(d) 両レフェリーが協議して決定

I 7-8　競技開始時、どちらのレフェリーがコートレフェリーになり、ゴールレフェリーになるのか。

(a) 第一レフェリーが、コートレフェリーになる

(b) 第一レフェリーが、ゴールレフェリーになる

(c) 両レフェリーでコイントスを行い、誰がどこから始めるのかを決定する

(d) レフェリーは自由に決めることができる

I 7-9　両チームのプレーヤーが衝突し、両レフェリーが笛を吹いた。コートレフェリーは攻撃側の違反を判定したが、ゴールレフェリーは防御側の違反を判定した。このようなとき、どのように判定すればよいか。

(a) ゴールレフェリーの判定を採用する

(b) コートレフェリーの判定を採用する

(c) 両レフェリーが協議した末に、合意した判定を採用する

(d) 必ずタイムアウトを取る

(e) 合意した判定が攻撃側の違反であった場合のみ、タイムアウトが必要となる

(f) 両レフェリーが通信機器により会話ができる場合、必ずしもタイムアウトを取る必要はない

第１８条　　タイムキーパー、スコアキーパー

１８−１　　競技規則にはタイムキーパーとスコアキーパーの役割分担について、どのように示されているか。

(a) 交代プレーヤーの出入場の管理は、タイムキーパーのみが行う

(b) 必要が生じたとき、通常タイムキーパーが競技を中断すべきである

(c) もしも交代のためのプレーヤーが不正入場したならば、スコアキーパーは笛を吹いて合図しなければならない

(d) もし公示時計がなければ、タイムキーパーはどれだけ競技時間が経過したか、または、競技時間がどれだけ残っているかを両チームに知らせる

(e) プレーヤーがコート上で治療を受けた後、再入場までの攻撃回数の管理（3 回カウント）は、タイムキーパーとスコアキーパーの共通の任務である

１８−２　　白チームの 5 番が明らかな得点チャンスを得たちょうどそのとき、白チームのチーム役員 A がタイムキーパーを侮辱した。白チームの 5 番がシュートを打とうとした瞬間に、タイムキーパーは笛を吹いた。このチーム役員 A の行為は、タイムキーパーしか気づいていなかった。

(a) 相手チームのフリースロー

(b) 白チームのチーム役員 A を、警告

(c) 白チームのフリースロー

(d) 白チームの 7 m スロー

(e) 報告書を作成

I 8-3　白チームのチーム責任者は、両レフェリーと TO に気づかれないようにスコアキーパーを侮辱した。次の競技の中断時に、スコアキーパーはこの件をレフェリーに伝えた。

(a) 白チームのチーム責任者を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカードを示す）

(b) 白チームのチーム責任者を、2 分間退場とする

(c) 報告書を作成

(d) 白チームのチーム責任者を、警告とする

(e) 罰則は不要

I 8-4　黒チームのフリースローライン付近で、白チームがボールを所持していた。TO は競技を中断し、黒チームのチーム役員 A から侮辱されたとレフェリーに説明した。

(a) 黒チームのチーム役員 A を注意し、報告書を作成する

(b) 黒チームのチーム役員 A を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカードを示す）

(c) 黒チームの交代地域の前から、白チームのフリースローで競技を再開する

(d) 黒チームのフリースローラインから、白チームのフリースローで競技を再開する

I 8-5　黒チームのフリースローライン付近で、白チームがボールを所持していた。タイムキーパーは競技を中断し、白チームのチーム役員 A から侮辱されたとレフェリーに説明した。このチーム役員 A の行為は、タイムキーパーしか気づいていない。

(a) 報告書を作成

(b) 白チームのチーム役員 A を 2 分間退場とし、報告書を作成する

(c) 白チームの交代地域の前から、黒チームのフリースローで競技を再開する

(d) 黒チームのフリースローラインから、白チームのフリースローで競技を再開する

I 8-6　競技中、白チームのチーム役員 A はジャッジーズテーブルのすぐ傍まで繰り返し近づき、指示を出していた。そうこうするうち白チームのチーム役員 A は、そこからレフェリーの判定に抗議したが、場内の騒音でレフェリーは抗議に気づかなかった。

(a) タイムキーパーは直ちに競技を中断し、チーム役員 A の違反行為をレフェリーに知らせる

(b) タイムキーパーは次の競技の中断まで待ち、チーム役員 A の違反行為をレフェリーに知らせる

(c) 白チームのチーム役員 A に、段階的罰則を適用する

(d) 罰則は不要

I 8-7　タイムキーパーやスコアキーパーは、レフェリーが交代地域規定に反する行為に気づかなかった場合、いつレフェリーに伝えるべきか。

(a) 直ちに違反を知らせる

(b) 次に競技が中断したときに、違反を知らせる

Ｉ８−８　　競技中に白チームに違反があり TO が競技を中断した場合、黒チームのボールの所持で競技再開となるか。

(a) はい

(b) いいえ

交代地域規定

1　センターラインから、チームベンチの始端までの距離はどれだけか。

(a) 1 m

(b) 2 m

(c) 3 m

(d) 3.5 m

2　白チームのチーム役員 A はベンチにいるとき、すでに警告となっていた。その後、白チームのチーム役員 A は交代地域を離れ観客席に移動し、そこからレフェリーの判定に抗議し続けた。

(a) 何もできない

(b) 白チームのチーム役員 A を、2 分間退場

(c) 白チームのチーム役員 A を、失格とする（レッドカードを示す）

(d) 白チームのチーム役員 A を、報告書を伴う失格とする（レッドカードとブルーカードを示す）

(e) 白チームはコート上のプレーヤーを、2 分間 1 名減らす

解答および関連条文

第 1 条

1-1. a (1:1)

1-2. b (1:2)

1-3. c (1:3)

1-4. b, c, d (1:9)

第 2 条

2-1. a, d (2:7, 12:1, 15:5b)

2-2. d (2:7)

2-3. b, d (2:7, 12:1, 15:5b)

2-4. a, c, e (2:5, 4:5, 16:3a)

2-5. c (2:4, 15:5)

2-6. c (2:4, 14:1a)

2-7. b (2:4)

2-8. b (2:4)

2-9. d (2:3)

2-10. c (2:2 注)

2-11. a, b, e (2:5, 4:5, 16:3a)

2-12. c, d
(2:4, 8:10a, 14:1a, 16:6b)

2-13. a, c (2:9 注, 9:2)

2-14. b, c, d (2:9, 解釈 3)

2-15. b, d (2:8, 解釈 2)

2-16. b, d (2:7, 15:5b)

2-17. b, c (2:2)

2-18. a, d (2:8, 4:5)

2-19. a, c, d
(2:2 注, 4:11, 16:5, 16:6b, 16:10)

2-20. c (2:3, 2:4, 11:1)

2-21. b, e (2:8, 8:7a, 16:3d)

2-22. b, c (2:2 注, 16:5)

2-23. a, e
(2:4, 2:5, 2:9 注, 4:5, 9:1 第 3 段落)

2-24. b (2:2 注, 16:3d)

2-25. a, b, c, d, e (2:8)

2-26. c, e, f
(2:4, 8:6, 14:1a, 16:6a)

2-27. d, e (2:5)

2-28. a, c, d (2:5, 13:8)

2-29. b, c, e, f
(2:9, 2:9 注, 13:4a, 15:5b, 解釈 3 第 10 段落)

2-30. b, f (2:7, 13:4b)

2-31. b, e (2:7, 13:4a)

2-32. b, e (2:7, 13:4b)

2-33. a, b, e
(2:8, 8:8g, 15:9, 16:1b, 解釈 2c)

2-34. a, c, e (2:8, 解釈 2)

2-35. a (解釈 3)

2-36. b, d, e (2:10, 解釈 3)

2-37. c (2:10, 解釈 3)

2-38. b, d (6:5, 解釈 3)

2-39. d (解釈 3)

2-40. a (2:8, 2:10, 解釈 3)

2-41. a, d (2:8, 2:9 注, 解釈 3)

2-42. a (2:2 注)

2-43. b (2:10, 解釈 3)

2-44. a, d, e, f (2:10, 解釈 3)

2-45. b, d (解釈 3, 2:10)

2-46. b, e (2:10, 13:4, 解釈 3)

2-47. a, c, f (2:10, 6:5, 解釈 3)

2-48. b, e (2:10, 13:4, 解釈 3)

2-49. a, c, d
(2:10, 解釈 3, 2:4 に関連して)

2-50. b, c, e
(2:10, 解釈 3, チームタイムアウト電子申請システム規定)

2-51. a, c, d
(2:10, 解釈 3, チームタイムアウト電子申請システム規定)

2-52. a, c, h, i
(2:10, 解釈 3, チームタイムアウト電子申請システム規定)

2-53. a, b, d, f
(2:9 注, 2:10, 解釈 3 および 4)

2-54. a, c (2:10, 解釈 3)

2-55. b, c, h, j
(2:10, 解釈 3, チームタイムアウト電子申請システム規定)

2-56. a, c, d, f, k
(2:8, 2:9, 解釈 3, 17:13, チームタイムアウト電子申請システム規定)

第 3 条

3-1. d (3:1)

3-2. c (3:2)

3-3. d (3:2, 表 1)

3-4. c (3:4)

第 4 条

4-1. c (4:1, 4:3)

4-2. a (4:1)

4-3. d, e (4:2)

4-4. a (4:1)

4-5. a (4:3)

4-6. c, d (4:3, 16:1b)

4-7. a, d
(4:5, 13:3, 16:3a, 解釈 7)

4-8. c, d (4:3, 13:3, 13:4)

4-9. b (4:11)

4-10. d, e (4:2, 16:3e)

4-11. d (4:4, 4:6, 16:3a)

4-12. d, e (4:2, 4:11)

4-13. a (4:1)

4-14. a, c (4:4, 4:5, 13:6, 16:3a)

4-15. b, d (4:5, 13:3, 16:3a)

4-16. b, d (4:5, 13:3, 16:3a)

4-17. a, c (4:5, 13:3, 16:3a)

4-18. b (4:1, 4:8)

4-19. c, e (4:5, 13:3, 16:3a)

4-20. b, d (4:1, 4:5, 13:3, 16:3a)

4-21. d
(4:5, 13:2, ガイドライン 13：2, 14:2, 16:3a)

4-22. a, c, e (4:6, 13:1a, 16:3a)

4-23. a, c (4:6, 13:1a, 16:3a)

4-24. c (4:6, 16:3a)

4-25. c, d (4:1, 4:5, 13:1, 16:3a)

4-26. a, e (4:10, 8:7, 16:1b)

4-27. a, d
(4:5, 14:1a, 16:3a, 解釈 7)

4-28. a (4:4 注)

4-29. c (4:2, 8:7, 16:3e)

4-30. a, b, f
(4:11, 8:6b, 13:3, 16:6a, 16:8)

4-31. a, b, d (4:2, 13:1)

4-32. a (4:7, 4:8, 4:9)

4-33. a, d (4:6, 16:3d)

4-34. b, d, e, f (4:2, 4:3)

4-35. c (4:11)

4-36. d (4:2, 16:3e)

4-37. b, c (4:4, 4:11)

4-38. b
(4:9, 服装や保護を目的とした装具に関する規定)

4-39. b, c (4:6)

4-40. b, c, e, f (4:3, 9:1, 9:2)

4-41. b, d, e, f (4:11, 解釈 8)

4-42. b (4:11, 解釈 8)

4-43. b, c, d, f, h
(2:8, 4:5, 4:11, 13:2, 14:1, 解釈 8)

4-44. c (4:11, 解釈 8)

4-45. b, c, d, f
(2:8, 4:11, 8:4, 16:3c, 解釈 8)

4-46. b, c, e, f
(2:8, 4:11, 8:4, 16:3c, 解釈 8)

4-47. b, c
(4:11, 8:7, 16:1b, 解釈 8)

4-48. a (4:11, 解釈 8)

4-49. a, c (4:11, 解釈 8)

4-50. c (4:11 第 3 段落)

4-51. c (4:11, 解釈 8)

4-52. b (4:11, 解釈 8)

4-53. b (4:11, 解釈 8)

4-54. b (4:11, 解釈 8)

4-55. b (4:11, 解釈 8)

4-56. b (4:11, 解釈 8)

4-57. c, e, g
(4:9, ガイドライン 4:9, 服装や保護を目的とした装具に関する規定)

4-58. a, d
(4:7, 4:9, ガイドライン 4:7)

4-59. a, d, e
(4:3, 4:7, 4:8, ガイドライン 4:8)

4-60. a, b, d (2:8, 4:5, 13:1a)

4-61. a, c, d, f
(2:8, 4:5, 14:1, ガイドライン 13:2)

4-62. a, b, c, g, h
(2:8, 4:4-6, 14:1, 16:3a, 17:13, ガイドライン 13:2, ビデオ判定システム規定)

第 5 条

5-1. c (1:3, 5:6, 12:1, 12:2, 15:5b)

5-2. c (1:3, 5:3, 5:9, 6:2b, 13:1a)

5-3. b (5:4)

5-4. b (5:10, 13:1a)

5-5. b (5:10, 13:1a)

5-6. c (5:10, 13:1a)

5-7. a (5:10, 12:1)

5-8. b (5:3, 5:4)

5-9. d (5:9, 6:1, 13:1a)

5-10. a (5:3)

5-11. a (5:3, 15:1 注)

5-12. c (5:9, 13:1a)

5-13. a (5:7, 5:8)

第 6 条

6-1. d (1:3, 6:5, 12:1)

6-2. b (6:5, 12:1)

6-3. a (6:5)

6-4. a (6:5)

6-5. d (6:7b, 13:1a)

6-6. c (6:7b, 13:1a)

6-7. c (6:7b, 13:1a)

6-8. a, d (6:2c, 8:7f, 14:1a, 16:1b)

6-9. b (6:2c, 14:1a, 解釈 6a)

6-10. c (5:3, 5:6, 6:7b)

6-11. c (5:3, 5:6, 6:7b)

6-12. b (6:2a, 12:1)

6-13. a, b
(4:5, 6:5 第 2 段落, 13:3, 16:3a)

6-14. a, b, c (6:2a, 12:1)

6-15. b (6:7b)

6-16. b, c, d
(2:8a, 4:5, 6:4, 12:1, 13:3)

6-17. b (5:3, 6:7c)

6-18. c (6:5, 13:4)

6-19. b, c
(4:5, 6:5 第 1 段落, 16:3a)

6-20. b (6:7b, 13:1b)

6-21. a (6:1, 1:3)

6-22. b (6:2a)

6-23. d (6:3, 11:1)

6-24. b, c
(6:2, 8:8i, 14:1a, 解釈 6c)

6-25. b, d, e, f, g
(4:11, 解釈 8, ガイドライン 6:8)

第 7 条

7-1. b (7:10, 11:1)

7-2. a (7:1)

7-3. b (7:3a)

7-4. a (7:3d, 7:3 注)

7-5. b (7:3)

7-6. b (7:3, 7:4, 7:7)

7-7. c (7:4b)

7-8. b (7:6)

7-9. b (7:7, 13:1a)

7-10. b (7:7, 13:1a)

7-11. c (7:7, 13:1a)

7-12. b (7:9, 11:1)

7-13. d (7:9, 15:2)

7-14. a (7:4, 8:1a)

7-15. c (7:10, 8:1c, 13:1a)

7-16. a (7:1)

7-17. b (7:10)

7-18. b (7:12)

7-19. b (7:1, 7:6)

7-20. b (7:8)

7-21. a (7:1, 7:3 注)

7-22. b (7:11, 解釈 4)

7-23. a (7:11, 7:12, **解釈 4.B.3**)

7-24. a, b (解釈 4.C)

7-25. b, c, d (解釈 4)

7-26. d (7:11, 7:12, **解釈 4.B.2**)

7-27. a, d, e (解釈 4)

7-28. b, c, d, e (7:11, 解釈 4)

7-29. a (7:11-12, 解釈 4, 付録 1)

7-30. b (7:11-12, 解釈 4, 付録 1)

7-31. c (7:11-12, 解釈 4)

7-32. d (7:11-12, **解釈 4**, 付録 1)

7-33. b, c (7:11-12, **解釈 4**, 付録 1)

7-34. c (7:11, 7:12, **解釈 4**, 付録 1)

7-35. a, d
(7:11, 7:12, 解釈 4, 付録 1)

7-36. b, d, f
(2:8, 7:11, 7:12, 解釈 4,
付録 1)

第 8 条

8-1. c, e (4:6, 8:10b, 14:1a, 16:6b)

8-2. a, d, e
(4:3, 8:10b, 14:1a, 16:1b, 16:6a, 16:6b)

8-3. a, c (8:7a, 16:3e, 16:10)

8-4. a, c, f
(4:5, 8:10a, 16:3a, 16:6d, 16:8, 16:9c)

8-5. d
(4:6, 8:10b, 14:1a, 16:6b, 16:8)

8-6. c (8:1c)

8-7. b, e (8:2a, 14:1a)

8-8. b, c
(8:5 注, 14:1a, 16:6a, 解釈 6b)

8-9. a, b (8:3, 13:1b, 16:3b)

8-10. b, d (8:5, 14:1a, 16:6a)

8-11. a, c (8:3, 13:1b, 16:1a)

8-12. b, e (8:4b, 14:1a, 16:3c)

8-13. a, b (8:5, 8:6, 16:6a)

8-14. a, c, e, f
(2:8a, 8:10b, 14:1a, 16:6b)

8-15. b, e, f (8:10b, 14:1a, 16:6b)

8-16. b, c (8:10a, 8:10b, 16:6b)

8-17. c, d
(8:10a, 16:6b, 16:8, 16:11b)

8-18. c, d (8:7a, 16:1b)

8-19. b, d (8:10a, 16:6b)

8-20. a (8:3, 16:3b)

8-21. a (4:6, 8:8b, 8;8f, 8:9, 16:6b)

8-22. b, d
(8:5, 13:1b, 16:6a, 解釈 6)

8-23. b, e (8:10, 16:6b)

8-24. d (8:10a, 16:8)

8-25. d (8:6b, 16:6a)

8-26. c (8:10a, 16:6b, 16:11b, 17:10)

8-27. d (8:10a, 16:6a, 16:11b, 17:10)

8-28. a, c (8:5, 13:1b, 16:6a)

8-29. b, d, e
(8:5, 8:9a, 8:9d, 16:6a, 16:6b)

8-30. a, b, d
(2:8a, 4:11, 8:6a, 16:6a, 17:2, 17:10)

8-31. a, b, d
(8:3, 8:7c, 8:8b, 14:10, 16:1b, 16:3c)

8-32. c, d, e (8:7)

8-33. a, b, d (8:5, 8:6, 8:9f)

8-34. b, c (8:5, 13:1b, 16:6a)

8-35. a, c, e, f (2:8a, 8:7a, 16:3d)

8-36. c, f (8:5 注, 14:1a, 16:6a)

8-37. d, f (8:10, 16:6b)

8-38. c, d
(2:8, 8:7a, 8:10a, 16:6b,
16:8, 交代地域規定 5)

8-39. a, d, e
(8:7c, 12:2, 15:4, 15:9,
16:1b, 16:3d)

8-40. a, c (6:5, 8:2, 8:3, 12:1)

8-41. c (8:8a, 16:3f)

8-42. c (8:9, 16:6b)

8-43. a, b, d
(2:8, 8:4b, 9:1, 10:2, 16:3c)

8-44. c, e
(8:5 注, 14:1a, 16:6a, 解釈 6c)

8-45. a, b, e, f (8:8d, 8:9a, 8:10a)

8-46. c, e
(8:5 注 第 2 段落, 14:1, 14:2,
ガイドライン 8:5 注)

8-47. c
(4:1, 8:1, 8:2, 14:1a, 解釈 6c)

8-48. c, d, e
(2:8, 4:1, 8:4b, 14:1a, 16:3c,
解釈 6c)

8-49. b (4:1, 8:2, 13:1b)

8-50. a, b, e
(2:8, 4:1, 4:4-6, 12:1b)

8-51. c, e
(4:1, 8:8i, 14:1a, 16:3f)

8-52. a, c (2:8, 4:1, 12:1, 12:2)

8-53. a, c, f
(4:1, 4:4-5, 13:1b,
ガイドライン 13:2)

8-54. a, d, f
(4:1, 4:4-5, 14:1,
ガイドライン 13:2)

8-55. a, d (4:1)

8-56. b, d (8:4b, 13:1b, 16:3c)

8-57. c, e (2:4, 8:5a, 8:11b, 16:6a)

8-58. a, d, e
(2:8, 8:5a, 13:1b, 16:6a)

8-59. a, c, e (2:8, 8:11a)

8-60. a, c
(2:8, 8:7c, 8:11a, 15:7,
15:9, 16:3d)

8-61. b, d
(2:8, 8:11a,
ガイドライン 8:11a)

8-62. b, d, f (2:8, 8:11a)

8-63. a, b, f (2:8, 8:9, 10:2)

8-64. b, d
(2:4, 2:5, 2:6, 15:2, 15:9, 16:3, ガイドライン 2:6)

8-65. b, c, d
(2:8, 8:5 注および ガイドライン 8:5 注, 14:1a)

8-66. b, d (8:11a, ガイドライン 8:11a)

8-67. a (2:3, 2:4, ガイドライン 8:11a)

8-68. a, d, f
(2:8, 8:11a, ガイドライン 8:11a)

8-69. a, d, f
(2:8, 8:11a, ガイドライン 8:11a)

8-70. a, c, e
(2:8, 8:11a, ガイドライン 8:11a)

8-71. b, e, f
(2:8, 8:5, 8:11b, 14:2, ガイドライン 8:11b)

8-72. b, c, f
(2:8, 8:5, 8:11b, 14:2, ガイドライン 8:11b)

8-73. b, c, e, f
(2:8, 8:11b, ガイドライン 8:11b, 14:2)

8-74. a, e, h
(2:8, 4:11, 13:1a, 解釈 8)

8-75. b, d, e (2:8, 8:8, 13:1a)

8-76. a, d, f (2:8, 8:4, 8:8d, 13:2)

8-77. b, e, f, g
(2:8, 8:4, 8:8d, 13:1a)

8-78. c (2:8, 4:11, 解釈 8, 8:8d)

8-79. a, b, c, f
(2:8, 4:11, 解釈 8, 13:1a)

8-80. b, c, d, f
(2:8, 4:11, 8:6, 13:1a, 解釈 8)

8-81. a, e (8:8i, 14:1)

第 9 条

9-1. b, d
(7:8, 8:8f, 9:1, 13:2, 16:1b)

9-2. b (7:8, 9:1, 13:2)

9-3. d (6:3b, 9:1, 13:2)

9-4. c (6:4, 9:1, 12:1)

9-5. c (9:1, 14:2)

9-6. b, d (9:1 注)

9-7. c, e (9:1 注)

9-8. b, c (4:6, 9:1, 9:2, 16:3a)

9-9. a (9:1, 15:2)

9-10. a, c
(7:8, 8:8f, 9:1, 16:1b)

第 10 条

10-1. a (10:1)

10-2. b (10:1)

10-3. c (10:3a)

10-4. a (10:3a, 15:1, 15:6)

10-5. c (9:1, 10:4, 15:2)

10-6. b, d, e
(10:3a, 15:2, 15:3, 15:4)

10-7. b (10:3a, 15:7)

10-8. a (10:3b, 15:5b)

10-9. a, d, e (10:3b, 15:5)

10-10. a, f (8:8, 10:3b, 13:1a)

10-11. a, b, c, d (10:3b)

10-12. d, e, g
(2:8, 8:8g, 10:3b, 14:1a, 解釈 6)

10-13. a, b, d (10:3b, 15:2)

10-14. e (10:3b)

第 11 条

11-1. d (11:4, 15:1, 15:5)

11-2. a (11:4, 15:2)

11-3. a (11:4, 15:1, 15:5)

11-4. b (11:1)

11-5. b, c, d
(10:3b, 11:5, 12:2, 13:8, 15:4)

11-6. a (11:1)

第 12 条

12-1. c (1:3, 12:2)

12-2. b, c (1:3, 12:1, 14:9)

12-3. c (12:1)

12-4. d (12:2, 15:5b)

12-5. b (12:2)

12-6. b (12:2)

12-7. a (12:1, ジェスチャー)

12-8. a (12:2)

12-9. c, d (12:2)

12-10. a (12:2)

12-11. d (9:1, 12:2, 15:2)

第 13 条

13-1. a, b, e (8:8b, 13:5, 15:5b, 16:3f)

13-2. b, c, d
(2:8a, 8:3, 13:2, 16:3b)

13-3. b, d
(8:8b, 13:5, 13:6 注, 16:3f)

13-4. a, d (8:8b, 13:5, 16:3f)

13-5. a
(8:7a, 13:1a, 13:6, 16:1b)

13-6. a (13:4a)

13-7. c, d
(4:11, 8:8d, 8:8 注, 13:4b,
解釈 2 および 8,
ガイドライン 6:8)

13-8. c (8:8b, 13:5, 13:6 注, 16:3f)

13-9. b, c (4:5, 13:3, 16:3a)

13-10. b, c, d (7:11, 13:6, 13:6 注)

13-11. b, d (13:4a)

13-12. a, c
(8:7, 13:6,
交代地域規定 5 および 6)

13-13. b (13:7, 15:3, 15:5b)

13-14. b, c, d (13:4)

13-15. a, c, e (8:3, 8:4, 13:3)

第 14 条

14-1. b (2:8a, 8:10a, 14:1c, 16:6b)

14-2. c, e (8:8i, 14:1a, 15:2)

14-3. c (14:6)

14-4. b, d (8:3c, 14:1a, 16:1a)

14-5. c (13:1a, 14:7, 15:7)

14-6. c (14:8)

14-7. d (14:10, 16:1b)

14-8. a (6:2c, 14:1a, 解釈 6)

14-9. b (13:1a, 14:7, 15:7)

14-10. b, c
(8:7f, 14:1a, 16:1b, 解釈 6a)

14-11. c, d (8:2c, 14:1a, 解釈 6a)

14-12. b, e (14:1c)

14-13. b, c (2:3, 14:1b, 解釈 6a)

14-14. a (14:3, 14:5, 14:8, 14:9)

14-15. a, c (6:2c, 8:7f, 14:1a, 16:3a)

14-16. b, d, e (14:1c, 解釈 2a)

14-17. c (6:4, 12:1, 13:2, 14:7)

14-18. a (13:2, 14:4, 15:2)

14-19. a, b (8:5, 13:1b, 解釈 6)

14-20. a
(8:2, 8:3, 解釈 6c,
ガイドライン 14:1)

14-21. b, c, d
(2:8, 8:4e, 14:1, 解釈 6c,
ガイドライン 14:1)

14-22. e, f
(8:8g, 14:1, 解釈 6c,
ガイドライン 14:1)

14-23. b, d, f
(2:8, 8:4b, 14:1, 解釈 6c,
ガイドライン 14:1)

14-24. b, e (8:8i, 14:1)

第 15 条

15-1. a (12:2, 15:2)

15-2. c (5:2, 12:2, 15:5b)

15-3. b, d (13:1a, 13:7, 15:7)

15-4. b, d
(8:8g, 12:1, 12:2, 15:5, 15:9)

15-5. b (15:2)

15-6. b (12:1, 12:2, 15:2)

15-7. b (9:1, 15:2)

15-8. c (7:9, 13:1a, 15:2)

15-9. a (15:2)

15-10. a (15:5b, 15:9, 16:1a, 16:3b)

15-11. a (13:7, 15:5b, 15:7)

15-12. c (15:2)

15-13. c
(8:7c, 15:4, 15:9, 16:3d,
16:5, 16:6d)

15-14. d (13:7, 15:7)

15-15. a, b (13:3, 15:1, 15:7)

15-16. c (7:9, 12:2, 13:1a, 15:2)

15-17. a (15:1, 15:2)

15-18. d (6:4, 12:1, 12:2, 15:2)

15-19. c (15:2, 15:3, 15:7)

15-20. e (2:3, 2:4, 10:3a, 15:5a)

15-21. b, c
(13:7, 15:1, 15:5, 15:6,
15:7 第 2 段落)

15-22. a (12:2, 15:2)

15-23. a (15:2, 15:7, 15:8)

15-24. c (15:1, 15:5b, 15:7)

15-25. a (13:2, 15:7 第 2 段落)

15-26. b (15:1 注)

15-27. a, b, e
(2:8, 4:4-6, 15:7, 16:3a)

第 16 条

16-1. c (16:9)

16-2. c (8:10a, 16:6b, 16:9c)

16-3. b (16:1 注)

16-4. c (16:5)

16-5. a (16:4)

16-6. a, b
(4:5, 8:10a, 16:3a, 16:6b,
16:6d, 16:9b)

16-7. a, d
(8:10a, 16:6b, 16:9c)

16-8. d, e (8:10a, 16:6b, 16:9c)

16-9. a, b, d
(4:2, 8:9, 16:1b, 16:6b, 16:9c)

16-10. c (16:11b)

16-11. a (8:6, 16:6a, 16:10, 17:10)

16-12. c, d
(8:10a, 16:6b, 16:10, 17:10)

16-13. b (8:9, 16:10, 16:6b)

16-14. c (16:11c)

16-15. a, b (8:10a, 16:6, 16:10)

16-16. b (16:9b)

16-17. b, d (16:3d, 16:5, 16:10)

16-18. c, e, f
(4:11, 16:3e, 16:3 注,
解釈 8c)

16-19. e (8:10a, 16:9d)

16-20. b (8:7a, 16:3d, 16:9a)

16-21. a, b, c, d, e (16:9)

16-22. b, e
(8:10a, 16:3a, 16:6d, 16:9d)

16-23. d (16:6c)

16-24. a, c, e, f
(2:8, 4:4-6, 15:7, 16:3a)

16-25. c, e, f, i
(8:7-10, 13:1a, 16:6, 16:8, 16:9)

第 17 条

17-1. c, d (2:8d, 17:7)

17-2. f (2:3, 17:9)

17-3. b, d, e (17:6)

17-4. b (17:9)

17-5. e (8:5, 8:10a-d, 16:6, 17:10)

17-6. c (4:2, 17:11)

17-7. d (17:9)

17-8. d (17:1)

17-9. c, d (17:7)

第 18 条

18-1. b, d, e (18:1, 18:2)

18-2. c, e (解釈 7.B.a)

18-3. c, e (18:1, 解釈 7.B.a)

18-4. b, d
(8:10a, 13:6, 16:6b,
解釈 7.B.b, 交代地域規定 5)

18-5. a, d (13:4a, 解釈 7.B.a)

18-6. b, d
(解釈 7.B, 交代地域規定 5)

18-7. b (解釈 7.B.a)

18-8. a (解釈 7.B.b)

交代地域規定

1. d (交代地域規定 1)

2. b, e (8:7a, 16:3e, 交代地域規定 5 および 6)

原書）　Catalogue of Rules Questions

Questions about the IHF Rules of the Game

valid as of the 1st of July 2025

翻訳）　（公財）日本ハンドボール協会

競技・審判本部

発行）　第一版　2026（令和8）　年　1 月　7 日

第二版　2026（令和8）　年　6 月　1 日